

**「第2期 瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の
令和6年度における各施策に対する評価・検証について**

主な取組における具体的な施策

基本目標 1. 瀬戸内町における安定した雇用を創出する

具体的な施策	実施主体
1-1 地域経済の主たる担い手である人材の確保	
1-1-1 様々なシーンに応じて雇用機会を創出する取組	
1 ○地域おこし協力隊員として着任した隊員の起業を助成	町(企画課)
2 ○町づくりの応援隊としてシルバー人材を活用	社会福祉協議会
3 ○本町事業所が若者を新規雇用する際の必要経費を助成	町(企画課)
4 ○在宅オペレーター育成のための研修会	民間、町(企画課)
5 ○新規就業者の漁船漁具等の初期投資を支援	国、県、町(水産観光課)
6 ○大島紬技能者養成所による織工育成	瀬戸内町大島紬協同組合
7 ○奄美群島における地域通訳案内士の育成事業	奄美群島広域事務組合
8 ○奄美群島における認定エコツアーガイドの育成事業	奄美群島広域事務組合
1-1-2 古仁屋高校生の人材育成に対する取組	
9 ○各種助成（検定試験・スポーツ文化活動・通学・修学旅行）	町(企画課)
10 ○古仁屋高校のPRや高校生の学校活動に対し地域として応援	町(企画課)
11 ○プログラミングを授業の一環として総合の授業へ取入を推進	古仁屋高校、町(企画課)
12 ○地域の職場を体験学習することで将来の地元就職に寄与	古仁屋高校
1-2 農林水産業の振興・発展	
1-2-1 農業（農村）の振興の取組 →「農村振興基本計画」及び「農業経営基盤強化促進基本構想」に基づく	
13 ○農業経営を目指す人材の育成	町(農林課)、瀬戸内町営農支援センター
14 ○農業次世代人材投資事業で就農直後の経営を安定化	県、町(農林課)
15 ○地域ぐるみでの農地環境の保全（多面的機能活動推進事業）	国、県、町(農林課)
16 ○農地の集約を図り農地の貸借を実施（農地中間管理事業）	県、町(農林課、農業委員会)
17 ○高齢化や後継者不足、耕作放棄地の増加などを解消	県、町(農林課)
18 ○中山間地域の立地条件等に沿った農業生産基盤等の各種整備	県、町(農林課)
19 ○たんかん等の苗木購入を助成し、農家の所得向上を促進	農協、町(農林課)

20	○営農用ハウス整備及び営農技術研修（農業創出緊急支援事業）	生産者、町(農林課)
21	○果樹支援対策事業	町(農林課)
22	○農業農村活性化推進施設等整備事業	町(農林課)
23 1~2	○農林物の輸送コスト支援により島外出荷の費用を支援	県、町(農林課)
24	○農林水産物直売所を活用した地産地消の推進	町(農林課)、地域公社
25	○パッションなど瀬戸内町産ブランドの確立	生産組合、町(農林課)

1-2-2 畜産業の振興の取組

26	○繁殖雌牛を導入した農家に対し交配時期までの育成費用を支援	町(農林課)
27	○飼料基盤の開発整備や農業用施設等の整備を支援	県、町(農林課)

1-2-3 林業の振興の取組

	○林業振興資金貸付金	町(農林課)
28	○森林に適切な保育・除伐施業を実施（水源林造成事業）	国立研究開発法人森林研究・整備機構、町(農林課)
29	○木材利用・普及啓発（森林環境譲与税）	町(農林課)
30	○里山林総合対策事業	県、町(農林課)

1-2-4 水産業の振興の取組

31	○水産物を沖縄本島まで出荷する際の輸送費を支援	国、県、町(水産観光課)
32	○漁協が養殖業者からマグロを購入する費用を助成	漁協、町(水産観光課)
33	○水産物の出荷における一時保管施設整備（冷凍冷蔵施設整備）	国、漁協、町(水産観光課)
34	○種苗放流や漁場の管理・改善を実施（離島漁業再生支援）	国、県、町(水産観光課)
35	○漁船漁業者の操業を支援（漁船漁業燃油緊急対策事業）	町(水産観光課)
36	○水産物の輸送コスト支援により島外出荷の費用を支援	国、県、町(水産観光課)

1-2-5 大学等との連携による産業振興への取組

37	○新たな産業の振興及び開発の拠点となる施設の整備	町(企画課)
38	○大学等との包括連携をととした商品開発及び人材育成	町(企画課・農林課)、大学等

1-3 様々な機関における起業・第二創業・企業経営に対する支援及び取組

1-3-1 起業・第二創業及び企業経営を支援する取組

39	○しごと部会において就労を希望する人材と事業所を支援	町(商工交通課)、社会福祉協議会
40	○町内で新たに創業する起業家を支援するための助成	町(企画課)
41	○安定的・持続的な企業経営を可能にするために給付金等を支給	商工会、町(商工交通課)
42	○起業・事業拡大などにチャレンジする民間事業者を助成	奄美群島広域事務組合
43	○商品開発やマーケティングなど起業家を育成する研修を実施	奄美群島広域事務組合
44	○奄美群島振興開発基金による事業資金の供給	奄美群島振興開発基金

1-3-2 企業の本社機能等の移転に向けた取組

45 ○町内で新設・増設する企業を企業立地促進補助金で支援	町(企画課)
46 ○町内へ企業誘致を実現するため職場環境のスペースを提供	民間
47 ○町内で起業するための拠点施設として廃校を活用	民間、町(企画課、財産管理課)
48 ○町内全域の光ファイバ整備	電気通信業者

基本目標2. 瀬戸内町への新しいひとの流れをつくる

具体的な施策

実施主体

2-1 関係人口の創出及び拡大

2-1-1 観光業を活用した産業活性化のための取組 →「観光振興計画」に基づく

49 ○観光業の振興を図るための組織体制等の充実	奄美せとうち観光協会、町(水産観光課)
50 ○大型客船の誘致など宣伝誘致活動の推進	奄美せとうち観光協会、町(水産観光課)
51 ○観光ネットワーク（琉球弧の島々とのタイアップ等）の形成	町(企画課・水産観光課)
52 ○受入体制（人材育成・観光案内版等）の整備	町(水産観光課)

2-1-2 様々な機関等との連携による情報発信の取組

53 ○本町の観光スポットやおすすめコースを情報発信	奄美せとうち観光協会
54 ○奄美群島の魅力を全国に向けて情報発信	奄美群島観光物産協会
55 ○持続可能な『シマ』づくりにつながる戦略拠点の整備	町（建設課）
56 ○奄美群島と本島間の割高な運賃を軽減（航路航空運賃軽減）	鹿児島県
57 ○人が集い交流する場所の整備（加計呂麻体験交流館カフェ）	民間
58 ○本町の魅力を町公式ウェブサイト及び町公式SNSなどで発信	町(企画課)
59 ○シェアサイクル事業により加計呂麻島の豊かな自然を発信	町(水産観光課)
60 ○祭りやイベント（シーカヤック、ハーフマラソン等）での交流促進	町(水産観光課)、実行委員会
61 ○観光大使が全国で活動を展開することによる本町の魅力発信	各観光大使

2-1-3 地域みらい留学生等の受入の取組

62 ○高校と町の連絡体制づくり（古仁屋高校コーディネーター）	町(企画課)
⁶³ _{1~2} ○町外や町内遠隔地からの生徒のための学生寮を整備	町(企画課)
64 ○町外から古仁屋高校へ通う留学生の経済的負担を軽減	国、町(教委総務課、企画課)
65 ○本町での充実した高校生活を提供（地域みらい留学生）	古仁屋高校、町(企画課)

2-1-4 次世代を担う若い世代との連携・交流の取組

66 ○町外の若者とともに地域課題に取り組む（地域おこし協力隊）	町(企画課)
67 ○地域おこしに取り組む町と就業体験を望む学生をマッチング	民間、大学等、町(企画課)

2-1-5 働き方の変容をとらえた長期滞在者等の受入の取組

- | | | |
|----|---------------------------------|------|
| 68 | 〇テレワーク・ワーケーション対応として受入体制の整備 | 町 |
| 69 | 〇観光業や農業などの副業（体験）の場としての長期滞在者受入支援 | 民間 |
| 70 | 〇ボランティア活動希望者等の受入支援 | 民間、町 |

2-2 本町をより知るための情報発信及び移住体験の促進

2-2-1 本町をより知るための情報発信の取組

- | | | |
|----|--------------------------------|------------|
| 71 | 〇Wi-Fi環境の整備による入込客等の利便性の向上 | 町(企画課) |
| 72 | 〇「あまみシマ博覧会」による島の自然・文化等の発信 | あまみシマ博覧会 |
| 73 | 〇都市圏での移住フェア等へ参加し移住相談を実施 | 奄美群島広域事務組合 |
| 74 | 〇住居・生活・仕事をサポート（UIOターン支援情報提供事業） | 民間 |

2-2-2 本町の暮らしを体験した移住の取組

- | | | |
|-----------|---------------------------------|----------------|
| 75 | 〇本町でしか味わえない体験をとoshした着地型滞在型観光 | 観光協会、町(水産観光課) |
| 76 | 〇本町に移住を希望する者に住宅を提供（移住体験住宅） | 町(企画課) |
| 77 | 〇請島の豊かな自然環境の中で自然体験学習を行う機会を提供 | 町(企画課) |
| 78
1~2 | 〇戦跡や白糖工場跡などを活用した文化・歴史の発信 | 町(社会教育課、水産観光課) |
| 79 | 〇農泊や農業体験をとoshしたインバウンド（農山漁村整備事業） | 民間 |

2-2-3 外国人人材の受入の取組

- | | | |
|----|--------------------------------|-----------|
| 80 | 〇多言語による情報提供やコミュニケーションの向上 | 鹿児島県、町 |
| 81 | 〇外国人を受け入れるための仕事や住居を関係機関と連携して支援 | 民間、鹿児島県、町 |

2-3 本格的定住のための住宅確保の取組

2-3-1 定住促進と集落活性化に向けた取組

- | | | |
|----|--|-------------|
| 82 | 〇空き家情報の登録（空き家バンク制度） | 町(企画課) |
| 83 | 〇定住促進事業により将来にわたり本町での生活基盤を提供 | 町(企画課) |
| 84 | 〇集落にある空き家を集落主体で改修するための経費を助成 | 町(企画課) |
| 85 | 〇定住促進と切れ目ない子育て支援
（出産祝金・入学祝金「小学校・古仁屋高校」） | 町(町民生活課) |
| 86 | 〇本町内の快適な住宅環境を保つため住宅リフォームを助成 | 町(建設課) |
| 87 | 〇地方移住を望む高齢者の希望実現（日本版CCRC） | 民間、町(保健福祉課) |

基本目標3. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

具体的な施策

実施主体

3-1 子ども・子育て支援の充実 →「子ども・子育て支援事業計画」に基づく

3-1-1 安心して生み育てられる環境づくりの取組

88	○不妊治療の際に要した治療費及び交通費等を支援	県、町(保健福祉課)
89	○安心した出産と乳幼児健康のため妊婦・乳幼児の健康を診査	町(保健福祉課)
90	○加計呂麻島・与路島・請島に居住する妊婦の健康診査を支援	県、町(保健福祉課)
91	○妊婦が健康診査を受けるため必要な交通費等を支援	町(保健福祉課)
92	○妊産婦の孤立感を解消するため産前・産後をサポート	町(保健福祉課)
93	○母子の居宅を訪問し、母体・乳児のケアを実施(産後ケア)	町(保健福祉課)
94	○子どもの疾病の早期発見・治療を支援(子ども医療助成)	町(町民生活課)
95	○養育支援が特に必要な家庭に訪問し養育指導助言を実施	町(保健福祉課)
96	○かごしま子育て支援パスポートで子育て家庭を応援	協賛店、町(町民生活課)
97	○上記、取組に対応するため「子育て世代包括支援センター」を開設	町(保健福祉課)

3-1-2 子どもの心身の健やかな成長を目指した教育環境整備の取組

98	○就学前の子どもをもつ保護者に子育て学習講座を実施	町(社会教育課)
99	○未就学児の運動能力を向上(プレゴールデンエイジ事業)	町(社会教育課)、スポーツ指導者
100	○基本的な生活習慣リズムを定着(ラジオ体操せとうち選手権)	町(社会教育課)
101 1~2	○「新・放課後子ども総合プラン」により安全で安心な居場所を提供	町(社会教育課・町民生活課)
102	○スポーツをとおして健康な体と心を養う(スポーツ少年団)	町(社会教育課)
103	○学校教育やしつけに関わる講和・人権教育(家庭教育研修)	町(社会教育課)

3-1-3 様々な環境で育つ子どもの健やかな成長のための取組

104	○島外での治療を必要とする障害児に療育旅費を助成	町(保健福祉課)
105	○ひとり親家庭が安心して子育てを行うことができるよう支援	県、町(町民生活課)
106	○特別支援学級に就学する児童生徒の就学費用に係る支援	町(教委総務課)
107	○各関係機関と連携し児童虐待問題に迅速に対応	協議会、町(教委総務課、保健福祉課、町民生活課)

3-1-4 子育てを応援する環境づくりの取組

108	○定住促進と切れ目ない子育て支援 (出産祝金・入学祝金「小学校・古仁屋高校」)【再掲】	町(町民生活課)
109	○児童生徒の疾病の早期発見・治療を支援(児童生徒医療費助成)	町(教委総務課)
110	○児童生徒に対する就学支援・通学支援	町(教委総務課)
111	○児童生徒に対しての各種助成(検定試験・留学旅行等)	町(教委総務課)
112	○子どもの交通事故防止を図るため交通安全教室の実施	町(総務課)
113	○児童生徒の通学路等、交通安全対策のため防護柵を設置	町(総務課)
114 1~2	○夜間の防犯対策と青少年の健全育成(防犯灯設置事業)	町(総務課・社会教育課)
115 1~2	○結婚新生活支援により新婚世帯の経済的負担を軽減	町(企画課)

3-1-5 質の高い教育・保育、地域の子育て支援の取組

116 ○地域で抱える保育ニーズにきめ細かく対応（地域型保育） 保育施設、町(町民生活課)

117 ○急な用事に対応する子どもの一時預かり事業 町(町民生活課)

3-2 「知・徳・体」の調和のとれた子どもの育成

3-2-1 未来に生きる確かな学力の取組

118 ○子ども会育成連絡協議会の活動をととした家庭学習の充実 協議会、町(社会教育課)

119 ○小規模校の学習支援（高度へき地学校児童生徒修学旅行費） 町(教委総務課)

120 ○ICTによる学びの質や深まりを向上（電子黒板・タブレット） 町(教委総務課)

121 ○AIロボットプログラミング教室で簡単なICT技術を習得 町(教委総務課)

122 ○ALTの活用による国際理解教育と英語教育の推進 町(教委総務課)

123 ○加計呂麻島における児童生徒のためスクールバスを運行 町(教委総務課)

3-2-2 生きる喜びを育む生涯学習の取組

124 ○自然体験、ボランティア活動、世代間交流活動の促進 集落等、町(社会教育課)

125 ○地域の人々や団体が学校支援のため様々な支援活動を実施 集落等、町(社会教育課)

3-2-3 郷土の心を伝える文化活動の取組

126 ○島口や八月踊りなど伝統文化を発表会等をととして伝承 保存会、町(社会教育課)

127 ○埋蔵文化財を把握し内容・価値に応じて適切に保存・活用 町(社会教育課)

128 ○大島紬着付け体験をととした伝統文化の継承 本場奄美大島紬協同組合

3-3 男女共同参画社会の実現 →「男女共同参画基本計画」に基づく

3-3-1 固定的な役割分担意識の解消の取組

129 ○職場や学校、地域において男女共同参画意識を浸透 地域

3-3-2 DV対策の取組 →「配偶者等からの暴力の防止及び被害者支援計画」に基づく

130 ○配偶者等からの暴力の防止及び被害者を支援 町(保健福祉課)

131 ○配偶者等からの暴力対策庁内連絡会議を実施し情報を共有 町(企画課)

3-3-3 女性活躍社会の実現に向けた取組 →「女性活躍推進計画」に基づく

132 ○管理職へ女性を登用し施策や方針の決定過程に参画を推進 町(総務課)

3-3-4 ワークライフバランスがとれる生活に向けた取組

133 ○長時間労働の改善や育児・介護・年休の取得を推進 町(総務課)

基本目標4. 時代にあった地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

具体的な施策	実施主体
4-1 共生・協働による持続可能なまちづくり	
4-1-1 様々なコミュニティと連携した取組	
134 ○地域提案型事業を活用し住民参画と協働によるまちづくり	集落等
135 ○コミュニティFM放送による防災行政情報等の発信	民間
136 ○小さな拠点の形成を推進し利便性の高い地域づくりを構築	集落等
137 ○災害時に備え自衛隊と総合防災訓練などをとおして連携	自衛隊、町(総務課)
138 ○本町の発展に寄与する全国の各郷友会との相互の連携	各郷友会
139 ○多世代交流を図り文化継承・発展に寄与（瀬戸内町文化祭）	町(社会教育課)、実行委員会
140 ○様々なイベントをとおして地域を活性化（商工会まつり）	商工会
141 ○若い力で地域に活力を与える青年団との連携	瀬戸内町連合青年団
142 ○イベントやボランティアに協力くださる地女連との連携	地域女性連絡協議会
143 ○ふるさと応援寄付金を活用して地域振興を実施	奄美せとうち地域公社
144 ○コミュニティ助成事業による地域コミュニティ形成を支援	協議会等
4-1-2 世界自然遺産に関する取組	
145 1～3 ○希少種や自然を保全する（サンゴ礁、ノネコ・外来種駆除）	国、県、町(水産観光課・町民生活課・社会教育課)
146 ○こども世界自然遺産博士講座による環境保全の啓発	町(社会教育課)
147 ○奄美ならではの自然や文化に触れあえる奄美トレイルの整備	町(社会教育課、水産観光課)
148 ○環境や文化に配慮したサステナブルツーリズムの実現	町(社会教育課、水産観光課)
4-1-3 SDGs (持続可能な開発目標)に関する取組	
149 ○世界の一員としての役割と責任（第5次長期振興計画の指針）	町(企画課)
150 ○大学生等が持続可能な町づくりを提案（アクションアワード）	日本航空、町(企画課)
4-2 高齢者や障がい者の健康及び福祉の増進、必要な給付等サービスの提供 →「老人福祉計画及び介護保険計画、障害福祉計画、地域福祉計画、地域福祉活動計画」に基づく	
4-2-1 地域包括ケアシステム構築の取組	
151 ○多機関が連携し我が事・丸ごとで取り組む共生社会の実現	地域
152 ○加計呂麻島での相談支援体制の整備（島の保健室）	町(保健福祉課)
153 ○高齢者の健康づくりに対して商品券等に交換できるポイントを付与	町(保健福祉課)
154 ○医療福祉等の分野で助言や提案を行う地域政策顧問を設置	町(保健福祉課)
155 ○高齢者に敬老の意を表し長寿を祝福するため敬老祝金を支給	町(保健福祉課)

156 ○大学等との包括連携をととした地域保健医療への貢献 町(保健福祉課)、大学等

4-2-2 地域活動及び社会参加の促進の取組

157 ○自立した生活が出来るよう介護予防福祉用具と住宅改修を助成 町(保健福祉課)

158 ○高齢者無料乗車乗船券交付により高齢者の移動機会を促進 町(保健福祉課)

159 ○ひとり暮らしの高齢者など地域の見守りネットワークで支援 町(保健福祉課)

160 ○高齢者の健康と生きがいづくりを支援(老人クラブ育成事業) 町(保健福祉課)

161 ○シニア元気生き生き活動体制づくりで健康を支援 町(保健福祉課)

162 ○高齢者の健康状態や相談事の支援を実施(高齢者地域自立生活支援事業) 介護事業所

163 ○一人暮らしや家の中で過ごしがちな高齢者を支援(サロン) 住民主体

4-2-3 障がい者福祉等の取組

164 ○重度心身障害者医療費の助成による早期治療を徹底 町(保健福祉課)

165 ○居住の場の確保や日常生活の援護等を図り自立した生活を支援 町(保健福祉課)

166 ○住み慣れた地域で生活を営めるよう在宅福祉を支援 町(保健福祉課)

4-3 Society5.0の実現に向けた技術の活用

4-3-1 未来技術の活用による地域の発展に向けた取組

167 ○Society5.0実現のための整備 電気通信事業者、町(企画課)

168 ○ドローン技術を活用した農業や物流等の分野への展開 民間、町(企画課)

169 ○医療や教育の分野における遠隔地からの最先端技術の習得 民間、町(保健福祉課・教委総務課)

170 ○世界自然遺産を契機とした外国人観光客に対する多言語対応 民間

4-4 公共施設等の効果的活用の促進

4-4-1 公共施設等の活用促進の取組

171 ○空家等対策計画策定による危険空き家等除去の促進 所有者、町(企画課)

172 ○空家等対策計画策定による地域内空き家の利活用の促進 集落等、町(企画課)

173 ○公共施設等の再編と財政健全化を両立させた整備計画の実施 町(財産管理課)

4-4-2 陸上交通・海上交通の運行の取組

174 ○加計呂麻島・請島・与路島と本島側を結ぶ海上交通の運行 町(商工交通課)

175 ○本町内の集落をくまなく結ぶ生活路線としての路線バスの役割促進 民間、町(商工交通課)

4-4-3 民間資金の地域への還流の取組

176 ○本町の地方創生に応援する企業と連携(企業版ふるさと納税) 民間

177 ○公共施設等の建設から資金調達まで民間が提案(PPP/PFI) 民間

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画課	係名	企画振興係	担当者名	十倉
----	-----	----	-------	------	----

基本目標	1	項目	1-1-1
事業概要	○地域おこし協力隊員として着任した隊員の起業を助成		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	地域おこし協力隊起業支援事業		
施策の目的	都市圏などから本町へ移住し、地域おこし協力隊として活動した隊員が、本町に定住・定着できるように起業資金を補助し、本町の活性化を図ることを目的とする。		
具体的な施策内容	補助金の交付		

【経費内訳】

款		項		目		事業			(単位:千円)	款		項		目		節			(単位:千円)
歳出内訳										歳入内訳									
節	細節	費目名				金額				細節	費目名				金額				
		実績無し																	
計						0				計						0			

重要業績評価指標 (KPI) R2～R6							
KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
協力隊の受入れ人数	目標	2	2	2	2	2	B
	実績	4	3	0	1	2	
協力隊の卒業後の定住率	目標	60%	60%	60%	60%	60%	A
	実績	87.5%	87.5%	87.5%	81.8%	81.8%	
卒業隊員の起業支援活用実績	目標	50%	50%	50%	50%	50%	D
	実績	50%	0%	66.6%	0%	0%	

【評価】

●R6年度は対象者がいないため企業支援補助金の活用は無かった。

本町の卒業隊員の動向として、11名中9名が本町在住であり定着率は81.8%(全国平均65% 総務省発表)となっている。

卒業後の定住・定着率向上や地域活性化を図っていく為にも、協力隊の卒業前から起業についてのフォローが出来るように体制作りを行っていき、卒業後の起業及び定住・定着へ繋げている。

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	保健福祉課	係名	介護福祉係	担当者名	津留 美智子
----	-------	----	-------	------	--------

基本目標	1	項目	1-1-1
事業概要	○町づくりの応援隊としてシルバー人材を活用		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	瀬戸内町シルバー人材センター運営費補助事業		
施策の目的	高齢者の就業を促進することにより、高齢者自身の活動的な生活能力を生み出すとともに、その家族や地域社会に活力を生み出し、ひいては地域社会の活性化につながる。		
具体的な施策内容	地域社会に密着した「臨時的かつ短期的」な仕事を家庭、事業所、官公庁等から引き受け、これを加入している会員へ、その希望や能力に応じて斡旋するシルバー人材センターに対し、運営費を補助する。		

【経費内訳】

款	3	項	1	目	3	事業	1	(単位:千円)	款	21	項	1	目	2	節	1	(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額			細節	費目名				金額			
18	2	補助金				3,200			4	(過疎債ソフト分)シルバー人材センター運営費補助事業				3,200			
計						3,200			計						3,200		

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
シルバー人材センター会員数	目標	100人	100人	100人	100人	100人	B
	実績	59人	62人	71人	68人	66人	

【評価】

会員数66名で、合計132件23,531,762円を受託。延べ269名の方が従事され、配分金として総額19,218,772円を支出。
 高齢者自身の活動的な生活能力を生み出すとともに、地域社会の活性化につながった。
 会員数については、目標値に届いていないが、登録メンバーの増減を繰り返しながら、事業受託に必要な人材確保に努めている。

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画課	係名	産業立地係	担当者名	早川
----	-----	----	-------	------	----

基本目標	1	項目	1-1-1
事業概要	○本町事業所が若者を新規雇用する際の必要経費を助成		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	瀬戸内町起業家支援補助金交付事業(若者新規雇用)		
施策の目的	本町の地域経済の活性化及び雇用機会の拡大を図ることを目的として、町内で新たに起業する者に対し、起業する際に必要な経費の一部を助成する。		
具体的な施策内容	補助対象経費(補助率は50%、補助限度額50万円、雇用者1名につき+20万円※最大3名まで) ・店舗、工場等の建設費、取得費及び改修費 ・店舗、駐車場等の賃借料(最高6か月分) ・広告宣伝費(ホームページ作成費含む。) ・起業に必要な設備費等		

【経費内訳】

款	2	項	1	目	18	事業	1	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額			細節	費目名				金額			
18		新規雇用者助成				800				(一般財源)				800			
計						800			計						800		

重要業績評価指標(KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
若者新規雇用者数(人)	目標	3	3	3	3	3	A
	実績	4	0	0	4	4	

【評価】

令和6年度は起業家支援として2件助成し、雇用者も4名分助成した。今後も瀬戸内町商工会と協議し、よりよい補助金となるよう取り組む。起業を目指す者が新たに事業を起こしやすいよう、また、既存の事業所が事業を拡大しやすいよう、瀬戸内町起業家支援補助金交付要綱の見直しを図り、よりよい補助金となるよう取り組んでいく。

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画課	係名	産業立地係	担当者名	渡邊
----	-----	----	-------	------	----

基本目標	1	項目	1-1-1
事業概要	○在宅オペレーター育成のための研修会		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	在宅オペレーター育成事業		
施策の目的	文字入力や採点作業、コールセンター業務など、好きな時間に自宅のパソコンで仕事を行うことができる在宅オペレーターの育成を目指す。		
具体的な施策内容	・自宅にパソコンを所有し、インターネットを使える環境にある方 ・在宅オペレーターの研修を受け、必要なスキルを身に付けることにより、好きな時間に仕事を行うことができる。		

【経費内訳】

款	項	目	事業	(単位:千円)	款	項	目	節	(単位:千円)
歳出内訳					歳入内訳				
節	細節	費目名	金額		細節	費目名	金額		
		経費無し							
計			0		計			0	

重要業績評価指標 (KPI) R2～R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
1人あたりの町民所得(千円) ※数値の公表は調査から3年かかる	目標	2,080	2,100	2,120	2,140	2,160	B
	実績	2,391	2,506	2,609	-	-	
県民所得との対比(%) ※数値の公表は調査から3年かかる	目標	86.2	87.2	88.1	89.1	90	B
	実績	96.8	94.5	95.8	-	-	

【評価】

R6年度に在宅オペレーター育成の具体的な取組はなかった。在宅勤務の形態が拡大しているので、すこやか福祉センターHUBとも連携し、在宅でも仕事ができる環境を整備していきたい。

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	水産観光課	係名	水産振興係	担当者名	禧久 幸太
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	1	項目	1-1-1
事業概要	○新規就業者の漁船漁具等の初期投資を支援		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	新規水産業就業者特別対策事業		
施策の目的	離島漁業の維持、発展のためには新規就業者の定着が重要であるが、新規就業者は自ら漁船、漁具等を取得する必要がある。そのために初期投資負担を軽減し新規就業者の定着を図る。		
具体的な施策内容	離島の新規就業者に対する漁船、漁具等のリースの取組を支援する。 ※支援期間は原則1年（最長3年）		

【経費内訳】

款		項		目		事業		(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額			細節	費目名				金額			
		実績なし															
計						0			計						0		

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
新規漁業就業者数	目標	1	1	1	1	1	D
	実績	0	0	0	0	0	

【評価】

R6年度も新規漁業者特別対策交付金を実施しましたが、申請がありませんでした。
漁業従事者に周知を徹底し、漁業に従事する意欲がある新規就業者を支援していきたい。

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	商工交通課	係名	商工交通係	担当者名	竹畑 知世
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	1	項目	1-1-1
事業概要	○大島紬技能者養成所による織工育成		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	瀬戸内町大島紬技能者養成所等維持管理運営委託費		
施策の目的	大島紬産業び振興及び大島紬産業の活性化を目的とし、養成所等の管理及び織工育成を図る。		
具体的な施策内容	委託料 3,878,000円(一年間)		

【経費内訳】

款	7	項	1	目	4	事業	4	(単位:千円)	款	21	項	1	目	5	節	1	(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額			細節	費目名				金額			
12	1	委託料				3,878			1	過疎債ソフト				3,700			
										(一般財源)				178			
計						3,878			計						3,878		

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
製織反数	目標	4	5	6	7	8	B
	実績	4	6	7	4	5	

【評価】

指導員1名、令和6年度新規入所生1名、研修生1名、OB4名が在籍し、製織技術向上に努めている。
 SNSを活用し、紬組合の日常業務や大島紬の魅力などを紹介。
 今年度も各学校や観光客の方々の養成所見学や機織り体験などの来所や職場体験の受け入れなど、大島紬伝統継承に貢献した。
 今後も大島紬の魅力を発信し、その担い手の育成と大島紬産業の振興、活性化に努める。

【製織実績】

令和5年度 4反 (9マルキ3反、7マルキ1反)
 令和6年度 5反 (7マルキ2反、9マルキ3反)

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画課	係名	企画振興係	担当者名	渡邊
----	-----	----	-------	------	----

基本目標	1	項目	1-1-1
事業概要	○奄美群島における地域通訳案内士の育成事業		

会計区分	一般会計	会計名															
事業名	奄美群島広域事務組合負担金(地域通訳案内士事業)																
施策の目的	観光人材のインバウンド対応能力(接客能力、業務改善能力など)を高め、観光サービスの質を向上させることにより、訪日外国人旅行者等の地域への誘客・長期滞在や消費拡大へ繋げる。																
具体的な施策内容	①奄美群島広域事務組合主催の研修を実施。(通訳案内士、語学、ホスピタリティ、地元学、旅程管理、実地研修、救命研修) ②研修修了試験の実施 ③地域通訳案内士の登録 ④地域通訳案内士登録後も定期的なスキルアップ研修を実施																
【経費内訳】																	
款	2	項	1	目	12	事業	1	(単位:千円)	款	21	項	1	目	1	節	1	(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額			細節	費目名				金額			
18		負担金				5,598			2	(過疎債ソフト分)奄美群島成長戦略ビジョン				5,500			
										一般財源				98			
計						5,598			計						5,598		

重要業績評価指標 (KPI) R2～R6							
KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
就業者数 ※基準値 H 2 8→2,911人	目標	2,960	2,970	2,980	2,990	3,000	B
	実績		2,858				
事業所数 ※基準値 H 2 8→537事業所	目標	539	540	542	546	550	B
	実績		526				
【評価】							
当事業は奄美群島広域事務組合が群島内各市町村からの負担金によって行う奄美群島成長戦略ビジョン実現推進事業の一部である。平成28年に事業が開始されて以降、令和4年10月時点で地域通訳案内士登録者数は132名。 世界自然遺産となり奄美群島の豊かな自然と人々の生活で育まれた文化に関心が高まっている中、国際空港である成田空港及び関西国際空港からの直行便を活用した外国人観光客の増加が予想されている。この好機を着実に捉えるべく、外国人観光客に奄美群島の魅力を正しく伝えるスキルをもった奄美群島地域通訳案内士の活用など、受入体制の強化を広域事務組合と協力して行っていく。 ※KPI設定は、総合戦略におけるR6の目標値を設定。実績数値は「令和3年度経済センサス-活動調査」を参考。(5年に一度の調査で、次回は令和10年度に令和8年度分を調査)							

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	水産観光課	係名	観光振興係	担当者名	山元 萌
----	-------	----	-------	------	------

基本目標	1	項目	1-1-1
事業概要	○奄美群島における認定エコツアーガイドの育成事業		

会計区分		会計名	
事業名	奄美群島エコツーリズム推進事業		
施策の目的	奄美群島の貴重な自然環境や歴史・文化の魅力を伝えるエコツアーガイドの育成・確保など、奄美群島の国立公園指定や世界自然遺産登録による観光客増に対応し、将来にわたって素晴らしい自然環境を残していくための活用方法についての取り組みを進めることを目的とする。		
具体的な施策内容	①エコツーリズム推進協議会 ②エコツアーガイド初期段階育成事業 ③奄美群島エコツアーガイド認定制度の運用		

【経費内訳】

款	項	目	事業	(単位:千円)	款	項	目	節	(単位:千円)
歳出内訳					歳入内訳				
節	細節	費目名	金額		細節	費目名	金額		
		経費なし							
計			0		計			0	

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
エコツアーガイド認定者数	目標	5	10	12	14	15	B
	実績	5	6	12	19	1	

世界自然遺産登録を受け、観光ガイドの資質向上が必要である。今年度エコツアーガイド認定者は1名で本町の認定登録者は20名となった。引き続き、奄美大島島内の各市町村と連携しながら、事業目的達成のためのガイド育成を図りたい。

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画課	係名	企画振興係	担当者名	森
----	-----	----	-------	------	---

基本目標	1	項目	1-1-2
事業概要	○各種助成(検定試験・スポーツ文化活動・通学・修学旅行)		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	古仁屋高校各種補助金		
施策の目的	本町の最高学府である古仁屋高校の生徒を対象に、各種補助金をとおして、保護者の負担軽減や生徒の学力向上を目指すことで活性化、存続につなげることを目的とする。		
具体的な施策内容	各種検定試験料半額補助・部活動活動補助・遠距離通学費補助・修学旅行費補助		

【経費内訳】

款	10	項	1	目	4	事業	1	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額			細節	費目名				金額			
18	1	スポーツ・文化活動補助				500				(一般財源)				4,383			
	2	修学旅行補助				660											
	3	生徒通学費補助				2,727											
	4	各種検定試験等受検補助				496											
計						4,383			計						4,383		

重要業績評価指標(KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
古仁屋高校への支援	目標	100%	100%	100%	100%	100%	A
	実績	100%	100%	100%	100%	100%	

【評価】

古仁屋高校に対しての各種補助金は、生徒数の減少に伴い、年々少なくなっているが、継続して古仁屋高校の存続や活性化につなげたい。

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画課	係名	企画振興係	担当者名	森
----	-----	----	-------	------	---

基本目標	1	項目	1-1-2
事業概要	○古仁屋高校のPRや高校生の学校活動に対し地域として応援		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	古仁屋高校各種補助金		
施策の目的	古仁屋高校生徒が、学校生活以外でも活躍し、地域住民と交流することによって、地域住民に古仁屋高校の必要性を再確認していただき、町内小中学生及び町外に対してもアピールし、生徒数の増加及び維持を図る目的である。		
具体的な施策内容	学校PRポスターやパンフレット作成を行い町内や近隣の中学校や関係機関へ配布。また、地域貢献を積極的に参加していただくことで、振興対策をはかっている。 学校生活以外の活動に対しても一部補助をしている。		

【経費内訳】

款	10	項	1	目	4	事業	1	(単位:千円)	款	15	項	2	目	7	節	1	(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額			細節	費目名				金額			
18	13	補助金				500			2	(奄振)留学支援事業及び補助金				300			
										(一般財源)				200			
計						500			計						500		

重要業績評価指標 (KPI) R2～R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
地域応援団補助 ※執行率	目標	150%	55%	60%	100%	100%	B
	実績	38%	44%	95%	100%	100%	

【評価】

PR用のポスターやパンフレットは、例年通り作成できPRに繋がった。
また、古高生の活躍を地域の方や、学校を訪れた中学生に知ってもらうための横断幕を作成し、学校全体の士気が高められ活性化につながった。

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画課	係名	企画振興係	担当者名	森
----	-----	----	-------	------	---

基本目標	1	項目	1-1-2
事業概要	○プログラミングを授業の一環として総合の授業へ取入を推進		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	古仁屋高校各種補助金		
施策の目的	日本において、各学校でプログラミング事業を導入している中、その先駆けとして取組むことで、日本だけでなく世界で活躍できる人材を瀬戸内町から育成していき、古仁屋高校の活性化及び生徒の確保、そして町の活性化につなげていく目的である。		
具体的な施策内容	古仁屋高校のカリキュラムとして、「総合的な探求の時間」があり、1年生をターゲットに導入から基礎知識を指導していただく。		

【経費内訳】

款	10	項	1	目	4	事業	1	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額			細節	費目名				金額			
7	1	講師謝金				110			2	一般財源				110			
計						110			計						110		

重要業績評価指標 (KPI) R2～R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
プログラミング満足度 ※アンケートが実施できていない	目標	50%	50%	50%	50%	500%	C
	実績						

【評価】

R2年度より実施しているが、今年度はプログラミングに加え、動画制作についても実施した。今後ma+chiiiとも連携を図り事業を進めていきたい。

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画課	係名	企画振興係	担当者名	森
----	-----	----	-------	------	---

基本目標	1	項目	1-1-2
事業概要	〇地域の職場を体験学習することで将来の地元就職に寄与		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	インターンシップ事業		
施策の目的	インターンシップをおこなうことで、働く事や創造することの喜びを体得し、それにより自主性・積極性・責任感・言葉遣いやマナーなどを身につけてもらう。また、職場の人々との協力や協調性の大切さを体得させ、望ましい勤労感・職場観を養い、自己の特性と将来への進路意識を高める目的とする。		
具体的な施策内容	古仁屋高校2年生を対象に、それぞれの希望をとり、面接を行い企業へとつなぐ。年3回に分けて以前よりも関りを強化し、自己の将来に繋げていく。		

【経費内訳】

款	項	目	事業	(単位:千円)	款	項	目	節	(単位:千円)
歳出内訳					歳入内訳				
節	細節	費目名	金額		細節	費目名	金額		
		経費なし							
計			0		計			0	

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
インターンシップ満足度	目標	未実施	80%	80%	90%	100%	B
	実績		80%	80%	90%	90%	

【評価】

R6年度は、受入企業の職種を充実させ、観光産業や地域活性化に取り組む団体等にも参画いただき、地域に密着した体験学習や実習が実施でき、生徒の将来について視野が広がる取組となった。

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	農林課	係名	農業振興係	担当者名	泊 広明
----	-----	----	-------	------	------

基本目標	1	項目	1-2-1
事業概要	○農業経営を目指す人材の育成		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	新規就農者育成総合対策事業		
施策の目的	次世代を担う農業者となることを意向する者に対し、経営開始資金を交付することで就農直後の経営の安定を就農意欲の喚起を図る。		
具体的な施策内容	●経営開始資金給付実績 令和6年度 対象者 3名×1,500千円 4名×750千円 合計7,500千円		

【経費内訳】

款	6	項	1	目	4	事業	12	(単位:千円)	款	15	項	2	目	4	節	1	(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額			細節	費目名							
10		需用費				223			17	新規就農者育成総合対策補助金							7,747
13		使用料及び賃借料				24											
18		負担金, 補助及び交付金				7,500											
計						7,747			計						7,747		

重要業績評価指標 (KPI) R2～R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
新規就農者数	目標	4	4	4	4	4	B
	実績	2	0	1	2	4	
認定新規就農者数	目標	3	3	3	3	3	A
	実績	1	1	1	2	4	

【評価】

●経営が不安定な就農直後(5年以内)の所得を確保する経営開始型給付金を給付することで、青年の就農意欲の喚起と就農後の定着促進が図られた。

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	農林課	係名	農業振興係	担当者名	泊 広明
----	-----	----	-------	------	------

基本目標	1	項目	1-2-1
事業概要	○農業次世代人材投資事業で就農直後の経営を安定化		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	農業次世代人材投資事業		
施策の目的	次世代を担う農業者となることを意向する者に対し、農業次世代人材投資資金を交付することで就農直後の経営の安定を就農意欲の喚起を図る。		
具体的な施策内容	●経営開始型給付実績 令和6年度 対象者 1名×1,500千円=1,500千円 合計1,500千円		

【経費内訳】

款	6	項	1	目	4	事業	4	(単位:千円)	款	15	項	2	目	4	節	1	(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額			細節	費目名							
10		需用費				107			17	農業次世代人材投資事業補助金						1,545	
18		負担金, 補助及び交付金				1,500				(一般財源)						62	
計						1,607			計						1,607		

重要業績評価指標(KPI) R2～R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
新規就農者数	目標	4	4	4	4	4	B
	実績	2	0	1	2	4	
認定新規就農者数	目標	3	3	3	3	3	A
	実績	1	1	1	2	4	

【評価】

●経営が不安定な就農直後(5年以内)の所得を確保する経営開始型給付金を給付することで、青年の就農意欲の喚起と就農後の定着促進が図られた。

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	農林課	係名	農林整備係	担当者名	納 大吾
----	-----	----	-------	------	------

基本目標	1	項目	1-2-1
事業概要	〇地域ぐるみでの農地環境の保全(多面的機能活動推進事業)		

会計区分	一般会計	会計名															
事業名	多面的機能支払事業(その他)																
施策の目的	農業と地域住民等の多様な主体が共同で行う、農業・農村の有する多面的機能を支える活動や、地域資源(農地・水路・農道等)の資質向上又は維持管理を図る活動を支援することを目的とした事業。																
具体的な施策内容	補助率は国50%、県25%、町25% 農業者および地域住民等は、活動組織を設立し町に認定の申請を行う。 認定された活動組織は活動計画書に沿って年間の共同作業を行った。 市町村は、活動の実施状況の確認等を行った。																
【経費内訳】																	
款	6	項	1	目	13	事業	2	(単位:千円)	款	15	項	2	目	4	節	1	(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額			細節	費目名							
18	2	多面的活動推進事業				3,441			9	多面的機能支払い交付金(本体)						2,581	
										(一般財源)						860	
計						3,441			計						3,441		

重要業績評価指標 (KPI) R2～R6							
KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
活動組織数	目標	9	9	9	10	10	C
	実績	9	9	8	8	8	
活動面積 (ha)	目標	126	126	126	140	140	B
	実績	126.1	126.1	120.4	120.4	112	
【評価】							
●平成19年度から行っている事業であるが、活動を担うリーダー及び事務を行う人材が確保できないために、活動組織の増加がない状態になっている。 ピーク時には10組織(143.3ha)あったが、令和6年度は1組織増、1組織減となり、8組織(111.87ha)となった。 HPや広報誌等へ掲載し、地域住民に周知することで、活動組織の増加を図りたい。							

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	農林課	係名	農業振興係	担当者名	川畑 金徳
----	-----	----	-------	------	-------

基本目標	1	項目	1-2-1
事業概要	○農地の集約を図り農地の貸借を実施(農地中間管理事業)		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	農地中間管理事業		
施策の目的	農地中間管理事業を通じて、農地の貸借をおこない、農地の集積・集約化、農業経営の規模拡大、新規参入等による農用地等の効率的利用を促進し、農業の生産性の向上を図る。		
具体的な施策内容	(1)農地の貸し借りに関する相談等窓口 (2)農用地等の借受・貸付等の推進 (3)農用地利用配分計画案の作成 (4)農用地等の利用状況の把握、契約等の解除、農用地等の一時貸付		

【経費内訳】

款	6	項	1	目	4	事業	5	(単位:千円)	款	20	項	4	目	2	節	1	(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額			細節	費目名							
1		報酬				2,137			1	農地中間管理受託事業収入							2,085
4		共済費				803											
8		旅費				225				(一般財源)							1,208
10		需用費				116											
11		役務費				13											
計						3,294			計						3,293		

重要業績評価指標(KPI) R2～R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
農地転貸面積	目標	4ha	4.2ha	4.4ha	4.6ha	4.8ha	B
	実績	4.3ha	2.2ha	4.7	2.7	3.6	

【評価】

●集積面積 阿木名228a 嘉鉄56a 久慈9a 手安7a 諸鈍16a 清水16a 西古見3a 節子10a 蘇刈10a 合計355a

●高齢化や様々な理由によって農地の維持管理が出来なくなり、利用されない農地が存在している。そのような農地を必要としている方や有効利用してくれる方に向けての情報提供や農家の方々への聞き取り等によって、農地中間管理事業を通して活用してもらう。

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	農林課	係名	農業振興係	担当者名	川畑 金徳
----	-----	----	-------	------	-------

基本目標	1	項目	1-2-1
事業概要	○高齢化や後継者不足、耕作放棄地の増加などを解消		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	農業・農村対策事業(荒廃農地開拓事業)		
施策の目的	荒廃農地を作物生産可能な農地へ復旧するため、町が再生作業(重機による伐根、整地、耕耘)を行い		
具体的な施策内容	荒廃農地を作物生産可能な農地へ復旧するため、町が再生作業(重機による伐根、整地、耕耘)を行う。(農業者は3万円/10aを負担する)		

【経費内訳】

款	6	項	1	目	6	事業	1	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額			細節	費目名							
1		報酬				5,150				(一般財源)						9,110	
3		職員手当等				1,940											
8		旅費				48											
10		需用費				1,684											
11		役務費				90											
13		使用料及び賃借料他				198											
計						9,110			計						9,110		

重要業績評価指標(KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
荒廃農地の解消面積(a)	目標	400	300	300	300	300	C
	実績	251	242	231	247	174	

【評価】

荒廃農地の解消作業については、農家個人が行う場合多大な労力と経費が必要とされることから、今後においても町単独事業として継続していきたい。
また引き続き、災害時における対応処理や各課からの緊急的な依頼等に協力していきたい。

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	農林課	係名	農林整備	担当者名	納 大吾
----	-----	----	------	------	------

基本目標	1	項目	1-2-1
事業概要	○中山間地域の立地条件等に沿った農業生産基盤等の各種整備		

会計区分	一般会計	会計名															
事業名	(奄振)県営中山間地域総合整備事業																
施策の目的	農山漁村地域において、農業農村施設の整備に係る県営事業の負担金。																
具体的な施策内容	中山間地域総合整備事業により、県営事業において農業用排水施設、農道、ほ場整備、農業集落道路、農業配水管施設等を整備する。																
【経費内訳】																	
款	6	項	1	目	12	事業	1	(単位:千円)	款	21	項	1	目	4	節	1	(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額			細節	費目名							
18	1	負担金				18,704			12	地方債						14,800	
										(一般財源)						3,904	
計						18,704			計								18,704

重要業績評価指標 (KPI) R2～R6							
KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
瀬戸内東部地区 ※進捗率	目標	26	32	42	52	64	B
	実績	26	33	41	46	49	
加計呂麻(通作保全・計画策定) ※進捗率	目標	47	100	－	－	－	B
	実績	47	100				
加計呂麻(通作保全・対策) ※進捗率	目標	－	－	－	17	44	B
	実績	－	－	－	22	40	
【評価】							
●瀬戸内東部地区は、令和6年度(繰越含む)に嘉鉄1団地, 2団地の取水施設の更新が完成し、令和7年度以降は勝浦地区のは場整備、阿木名地区の農業用排水路と農業集落道路の予定。							
●加計呂麻(通作保全)の令和6年度(繰越含む)までに舗装補修が完成し、令和7年度よりトンネル補修工事及び交通安全施設を実施予定。							

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	農林課	係名	農業振興係	担当者名	泊 広明
----	-----	----	-------	------	------

基本目標	1	項目	1-2-1
事業概要	〇たんかん等の苗木購入を助成し、農家の所得向上を促進		

会計区分	一般会計	会計名															
事業名	果樹産地育成支援事業																
施策の目的	有望な熱帯果樹品種(たんかん, 津之輝, アボカド)の苗木購入費の一部助成を行うことで, 農家の生産意欲の向上とコスト削減を図り, 果樹産地の拡大を図る。																
具体的な施策内容	●果樹苗木の購入費の1/2助成 ・たんかん苗木 1,494本(助成額807,700円) ・津之輝苗木 465本(助成額302,000円) ・すもも苗木 77本(助成額61,600円) ・その他カンキツ 155本(助成額120,600円) ・アボカド苗木 35本(助成額145,000円)																
【経費内訳】																	
款	6	項	1	目	7	事業	1	(単位:千円)	款	15	項	2	目	4	節	4	(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額			細節	費目名							
18		補助金				1,437				ふるさと応援基金充当				1,000			
										(一般財源)				437			
計						1,437			計						1,437		

重要業績評価指標(KPI) R2～R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
たんかんの新規植栽面積(a)	目標	333	400	300	300	300	A
	実績	538	342	359	313	257	
津之輝の新規植栽面積(a)	目標	60	60	60	60	60	A
	実績	87	117	84	85	70	
アボカドの新規植栽面積(a)	目標	50	50	50	50	50	B
	実績	23	33	30	30	22	

【評価】

●苗木購入費の一部助成を行うことで果樹生産農家の生産意欲の向上と苗木導入コストの低減が図れた。また、果樹の栽培面積の拡大が図られることによって、将来的な果樹生産額の増大と産地化の推進、農家所得の向上が期待される。

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	農林課	係名	農業振興係	担当者名	池山 太郎
----	-----	----	-------	------	-------

基本目標	1	項目	1-2-1
事業概要	○営農用ハウス整備及び営農技術研修(農業創出緊急支援事業)		

会計区分		一般会計			会計名												
事業名		農業創出緊急支援事業(推進事業・条件整備事業)															
施策の目的		収益性の高い園芸品目を中心とした農業の振興を図るため、災害に強い施設等の整備や付加価値の高い農業生産の推進を図る。															
具体的な施策内容		・宮農技術の普及、定着のための取組 78回、553人 ・新品種・新技術の導入及び実証 14回、281人 ・流通、販売業者との連携による流通体制の合理化の検討 1回、1人 ・消費者、実需者への情報提供及びニーズ把握 3回、10人 ・生産者へのGAP手法の技術指導、生産者、消費者への周知 2回、67人															
【経費内訳】																	
款	6	項	1	目	14	事業	5	(単位:千円)	款	15	項	2	目	4	節	1	(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節		細節	費目名			金額		細節		費目名							
8			旅費			1,098		4		農業創出緊急支援事業補助金				1,058			
10			需用費			193											
11			役務費			27											
13			使用料及び賃借料			124				(一般財源)				533			
15			原材料費			149											
計						1,591		計					1,591				

重要業績評価指標 (KPI) R2～R6							
KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
園芸品目の産出額の増加(千円)	目標	220,000	220,000	240,000	250,000	270,000	B
	実績	225,900	230,000	289,881	293,488	263788	
園芸品目栽培面積の増加(ha)	目標	200	205	207	210	213	A
	実績	209	210	213	215	224	
営農用ハウスの整備(a)	目標	33	20	20	20	20	D
	実績	33	25				
【評価】							
新規就農者などの農業担い手の確保や育成、園芸品目の栽培技術等の向上が図られており、園芸施設の整備や機械導入などのハード面と併せて一体的な農業施策が展開されてきている。 しかし、近年の気象変動等の影響による生産面の課題や消費者ニーズの多様化による販売戦略の見直し、コロナ禍の影響など今後の農業振興に係る不安要素は多々あるのが現状である。 このことから、これらの課題等に対応した新たな施策を立案し事業化に取組み、農家所得の向上に繋げていきたい。							

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	農林課	係名	農業振興係	担当者名	太原 佳文
----	-----	----	-------	------	-------

基本目標	1	項目	1-2-1
事業概要	○農業農村活性化推進施設等整備事業		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	農業・農村活性化推進施設等整備事業		
施策の目的	本町の食、農業及び農村の振興に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、農業生産基盤の安定化、生産施設の整備、農産物の付加価値化の向上などを一体的に支援する。		
具体的な施策内容	●蒸気ボイラー(EQS-502KM)一式 (せとうち物産館加工室へ設置)		

【経費内訳】

款	項	目	事業	(単位:千円)	款	項	目	節	(単位:千円)
歳出内訳					歳入内訳				
節	細節	費目名	金額		細節	費目名			
		必要経費なし							
計			0		計			0	

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
農産加工室利用者数の増加(人)	目標	2,000	2,500	3,000	3,500	4,000	B
	実績	2,000	2,000	1,697	1,931	1,599	

【評価】

●蒸気ボイラーを導入することで、農産加工に係る作業性の向上とスピード化など生産性の向上が期待される。また、利用者の利便性の向上による生産量と販売額の増加が図られ、地域経済の浮揚が期待される。

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	農林課	係名	農政係	担当者名	森島 啓示
----	-----	----	-----	------	-------

基本目標	1	項目	1-2-1
事業概要	○農林物の輸送コスト支援により島外出荷の費用を支援		

会計区分	一般会計	会計名																
事業名	農林水産物輸送コスト支援事業																	
施策の目的	奄美群島においては、農林水産物を島外へ出荷する際に陸輸送に加えて海上輸送費が必要になり、本土より高い輸送コストを負担している。このことから、輸送コスト支援事業により流通体制の不利性を軽減することで、生産基盤の強化に取り組み農林水産業の経営強化を図る。																	
具体的な施策内容	①農林水産物の輸送コスト支援 農産物(野菜, 果樹, 花き) 218千円 ②原材料等の輸送コスト支援 たんかん段ボール 0千円 ③市町村事務費 5,905千円																	
【経費内訳】																		
款	6	項	1	目	3	事業	18	(単位:千円)	款	15	項	2	目	4	節	1	(単位:千円)	
歳出内訳									歳入内訳									
節	細節	費目名				金額			細節	費目名								
1		報酬				5,545			22	農林水産物等輸送コスト支援事業補助金(農産物)				5,205				
3		共済費				359				(一般財源)				917				
18		農林水産物輸送コスト補助金(農産物)				218												
計						6,122			計						6,122			

重要業績評価指標 (KPI) R2～R6							
KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
輸送量(野菜)	目標	25,000kg	25,100kg	25,200kg	25,300kg	25,400kg	B
	実績	24,010kg	21,260kg	16,690kg	14,932kg	17,502kg	
輸送量(果樹)	目標	4,000kg	4,100kg	4,200kg	4,300kg	4,400kg	B
	実績	1,201kg	3,272kg	1,273kg	1,131kg	1,547kg	
輸送量(花き)	目標	140梱包	145梱包	150梱包	155梱包	160梱包	B
	実績	146梱包	141梱包	26梱包	77梱包	41梱包	
【評価】							
●本土の比べ離島である奄美群島では出荷するための輸送料が係ってしまう。輸送コスト支援事業を活用する事により、本土で農業を行い出荷している人と対等な条件で出荷を行える事により、生産性や輸送量の向上を図る。							

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	農林課	係名	農林整備係	担当者名	納 大吾
----	-----	----	-------	------	------

基本目標	1	項目	1-2-1
事業概要	○農林物の輸送コスト支援により島外出荷の費用を支援		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	(奄振)農林水産物輸送コスト支援事業		
施策の目的	農林水産物を島外出荷する場合、本土における陸上輸送費に加えて海上輸送費等が必要となり、本土に比べて高い輸送コストを負担している。このため、輸送コスト支援により流通条件の不利性を軽減し、本土産地と同一条件の環境を整える。		
具体的な施策内容	補助率は国70%、県15%、町15% 奄美群島で生産された農林水産物を出荷する際の県本土までの海上輸送費の一部を助成する。		

【経費内訳】

款	6	項	1	目	3	事業	2	(単位:千円)	款	15	項	2	目	4	節	1	(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額			細節	費目名							
18	2	農林水産物輸送コスト支援事業				3,588			22	農林水産物輸送コスト支援事業					3,050		
										(一般財源)					538		
計						3,588			計						3,588		

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
木材チップ(t)	目標	4,800					C
	実績	1,584					
スタジイ等奄美産材(m³)	目標		2,090	6,480	6,800	1,500	C
	実績		955	451	556	567	

【評価】

- 令和2年10月の木材チップ工場閉鎖に伴い、大島管内の木材搬出が停止した。
●令和6年度より瀬戸内林産物生産流通促進協議会が新たに生産活動を行い、令和3年度から活動している奄美産木材流通促進協議会を含めた2団体に対して、スタジイ等奄美産材の輸送コスト支援を行った。
3年度実績995m³ 4年度実績451m³ 5年度実績556m³ 6年度実績567m³ 7年度予定1,735m³

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	農林課	係名	農業振興係	担当者名	太原 佳文
----	-----	----	-------	------	-------

基本目標	1	項目	1-2-1
事業概要	○農林水産物直売所を活用した地産地消の推進		

会計区分	一般会計					会計名														
事業名	農林水産物直売所運営事業																			
施策の目的	出荷会員に対する生産面及び技術面での支援を強化し、安心・安全な地場産農産物及び加工品の販売額の向上を図り、地元住民や観光客へのサービス向上に努め、加計呂麻島の交流人口の拡大による地域活性化を図る。																			
具体的な施策内容	●加計呂麻島のいっちゃんむん市場運営																			
【経費内訳】																				
款	6	項	1	目	16	事業	1	(単位:千円)	款	20	項	5	目	5	節	1	(単位:千円)			
歳出内訳								歳入内訳												
節	細節	費目名				金額		細節	費目名											
10		需用費				1,388		145	農林水産物直売所販売手数料						5,354					
11		役務費				138		158	農林水産物直売所販売代金						2,610					
12		委託料				11,901														
13		使用料及び賃借料				1,192														
15		原材料費				60														
計						14,679		計						7,964						

重要業績評価指標 (KPI) R2～R6							
KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
売上額	目標	21,486千円	26,000千円	30,000千円	34,000千円	37,000千円	B
	実績	21,486千円	24,396千円	32,286千円	32,391千円	33,373千円	
来店者数	目標	23千人	28千人	33千人	38千人	40千人	B
	実績	23千人	24千人	31千人	30千人	30千人	
【評価】※重要(“D”を踏まえ、次年度(R4)以降の事業実施にどう活かすか? など)							
出荷者の掘り起こしや商品づくりを支援し、多様かつ消費者ニーズに沿った販売体制を構築する必要がある。 特に農産物については、定期的な栽培講習会等を実施し、生産者の育成・技術向上による生産力の増大を図ることで、直売所の販売額アップと生産者所得の向上に繋げていく。							

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	農林課	係名	農業振興係	担当者名	泊 広明
----	-----	----	-------	------	------

基本目標	1	項目	1-2-1
事業概要	○パッションなど瀬戸内町産ブランドの確立		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	農業創出緊急支援事業(条件整備事業)		
施策の目的	本町において生産意欲が高まっているマンゴーの生産拡大を図るため,栽培管理技術の向上対策と併せ,営農用ハウスの整備による収益性の高い農業の推進を図る。		
具体的な施策内容	●営農用ハウス 中期展張Ⅱ型 ①2連×1棟(420㎡),②4連×1棟(672㎡),3連×1棟(504㎡),③3連×1棟(882㎡) 計2,478㎡,付帯施設(果樹棚,灌水施設) ●事業実施主体:本島地区マンゴー生産組合(3戸)広野,里山,久保 ●実施地区:久慈,阿木名		

【経費内訳】

款	項	目	事業	(単位:千円)	款	項	目	節	(単位:千円)
歳出内訳					歳入内訳				
節	細節	費目名	金額		細節	費目名			
		必要経費無し							
計			0		計			0	

重要業績評価指標(KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
営農用ハウスの整備 (パッションフルーツ)	目標	33a	14a	10a	10a	10a	D
	実績	33a	0	0	0	0	
営農用ハウスの整備 (マンゴー)	目標	0	25a	0	20a	10a	D
	実績	0	25a	0	0	0	

【評価】

●営農用ハウスを整備することにより,新規就農者及び担い手農家の規模拡大,経営基盤の強化が図られた。
 ●R4、R5、R6は、パッションフルーツ及びマンゴーの営農用ハウスの要望が無かったため、整備は行っていない。
 今後、農業研修生を含む新規就農者からの営農用ハウスの要望があることから、補助事業を活用した支援を実施していきたい。

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	農林	係名	農業振興係	担当者名	春
----	----	----	-------	------	---

基本目標	1	項目	1-2-2
事業概要	○繁殖雌牛を導入した農家に対し交配時期までの育成費用を支援		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	肉用牛増頭推進対策事業		
施策の目的	本町の繁殖雌牛の頭数を確保すると共に畜産経営の安定を図る。		
具体的な施策内容	繁殖雌牛の資格を有すると認められた子牛を導入した生産者に対し交配時期までの育成費用として1頭につき35,000円を交付する。		

【経費内訳】

款	6	項	1	目	8	事業	1	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額			細節	費目名							
18	2	優良牛保留導入対策				210				(一般財源)						210	
計						210			計						210		

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
子牛導入頭数	目標	40	40	40	40	40	C
	実績	64	31	40	22	6	

【評価】

令和6年度は、6頭の優良繁殖牛を導入して育成費の助成を実施した。
購入飼料価格の高止まりが続く中、畜産農家の経営に大きな影響が及んでいる。今後も優良な素牛の更新を進めることで、経営の維持安定を図っていく。

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	農林	係名	営農畜産	担当者名	春 真次
----	----	----	------	------	------

基本目標	1	項目	1-2-2
事業概要	○飼料基盤の開発整備や農業用施設等の整備を支援		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	畜産基盤再編総合整備事業		
施策の目的	飼料基盤の開発整備や農業用施設の整備等を行い、肉用牛生産の核となる経営体を育成する。		
具体的な施策内容	①草地の造成改良及び整備 ②畜舎、家畜排せつ物処理施設等整備		

【経費内訳】

款	項	目	事業	(単位:千円)	款	項	目	節	(単位:千円)
歳出内訳					歳入内訳				
節	細節	費目名	金額		細節	費目名			
		経費なし							
計			0		計			0	

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
施設等整備数	目標	0	1	1	1	0	D
	実績	0	0	0	0	0	

【評価】

令和5年度畜舎2棟、家畜排せつ物処理施設1棟を国庫補助事業にて承認済みであったが、家畜保護施設整備をおこなった場合、導入計画に基づき概ね5年以内に計画の繁殖雌牛飼育頭数が70頭に達する見込みがないため、着手前に事業計画を取り下げることになった。

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	農林課	係名	農林整備係	担当者名	納 大吾
----	-----	----	-------	------	------

基本目標	1	項目	1-2-3
事業概要	○森林に適切な保育・除伐施業を実施(水源林造成事業)		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	水源林造成事業		
施策の目的	植栽木の成長を促し、被害に対する抵抗力の高い健全な林分の保全・育成とともに、水源涵養機能の増進を目的として実施する。		
具体的な施策内容	森林整備センター費用負担100% スギの成長を妨げる不要な侵入木や、競合する育成不良木・形成不良木の伐除を行う。		

【経費内訳】

款	6	項	2	目	3	事業	1	(単位:千円)	款	20	項	4	目	1	節	1	(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額			細節	費目名							
12		除伐事業委託料				1,347			1	水源林造成受託業務委託							1,347
計						1,347			計						1,347		

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
除伐面積(ha)	目標	3.31	5.94	2.68	3~6	3~6	B
	実績	3.31	5.94	2.68	0	5.91	

【評価】

●適切な保育施業を実施することにより、健全で優良な森林資源の造成と水源かん養機能増進を図る。
 令和4年度は、篠川2.68haを計画どおりに行った。
 令和5年度は、瀬戸内町森林組合の解散に伴い実施せず。
 令和6年度は、阿木名5.91haを実施。
 令和7年度は、阿木名3.09ha予定。

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	農林課	係名	農林整備係	担当者名	納 大吾
----	-----	----	-------	------	------

基本目標	1	項目	1-2-1
事業概要	○木材利用・普及啓発(森林環境譲与税)		

会計区分	一般会計				会計名												
事業名	森林環境譲与税事業																
施策の目的	町が行う間伐や人材育成・担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等の森林整備及びその促進の支援等行う。																
具体的な 施策内容	地方交付税100％ 木材利用の促進や普及啓発活動により、森林整備や林業の活性化が図られた。																
【経費内訳】																	
款	6	項	2	目	8	事業	1	(単位:千円)	款	2	項	3	目	1	節	1	(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細 節	費目名				金額		細節	費目名								
10	2	消耗品費				20		1	森林環境譲与税				6,862				
15	1	シイタケ駒打ち体験材料費				46											
24	1	森林環境譲与税基金積立				6,796											
計						6,862		計						6,862			

重要業績評価指標 (KPI) R2～R6							
KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
案内看板	目標	13	8	10			B
	実績	13	8	10			
原木本数	目標					40	B
	実績					40	
【評価】							
●森林整備で伐採された木をしいたけ生産の原木として活用し、しいたけ栽培研修を実施。 今後も継続して普及啓発を行うことにより、地域住民による里山の活用（適正な森林管理）及び特用林産物の生産拡大を図る。							

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	農林課	係名	農林整備係	担当者名	納 大吾
----	-----	----	-------	------	------

基本目標	1	項目	1-2-3
事業概要	○里山林総合対策事業		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	里山林総合対策事業		
施策の目的	希少野生生物保護の観点から、奄美地域では松くい虫被害予防のため薬剤散布が実施できないことから、奄美地域に限り、道路沿線や集落背後地等における重要なマツへの薬剤の樹幹注入を図る。		
具体的な施策内容	補助金は県70%、町30% 道路沿線や人家背後等の優先箇所での薬剤の樹幹注入を実施することにより、住民の生活の安全の確保が出来た。		

【経費内訳】

款	6	項	2	目	6	事業	1	(単位:千円)	款	15	項	2	目	4	節	2	(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額			細節	費目名							
12	1	枯損木の伐倒除去				5,000			8	里山林総合対策事業補助金					5,448		
12	1	薬剤樹幹注入				2,783				(一般財源)					2,335		
計						7,783			計						7,783		

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
薬剤樹幹注入(本)	目標	67	77	103	92	128	B
	実績	67	75	70	86	85	
枯損木の伐倒除去(m³)	目標	38	79	160	122	109	B
	実績	38	79	160	122	109	

【評価】

●令和2年度より松くい虫被害の対応を行っているが、道路沿線の被害が著しいため、継続して事業を実施していく。また、大径木や景勝地にあるマツへの樹幹注入を実施し、マツへの被害を防いでいく。
令和7年度は、薬剤樹幹注入61本 枯損木の伐倒・除去80m³予定。

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	水産観光課	係名	水産振興係	担当者名	禧久 幸太
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	1	項目	1-2-4
事業概要	○水産物の輸送コスト支援により島外出荷の費用を支援		

会計区分	一般会計	会計名															
事業名	農林水産物輸送コスト支援事業																
施策の目的	水産物を奄美群島島外へ移出する場合や移出する農林水産物の原材料等を移入する場合、本土における陸上輸送費に加えて海上輸送費等が必要となり、本土より高い輸送コストを負担している。このため、奄美群島算水産物の生産・出荷に係る輸送コストを補助することにより、流通条件の不利性を改善し、生産振興や産業振興を促進する。																
具体的な施策内容	奄美群島で生産された水産物の出荷や原材料等の購入に要する鹿児島港若しくは鹿児島空港又は那覇港若しくは那覇空港からの海上・航空輸送経費相当額を補助する。																
【経費内訳】																	
款	6	項	3	目	1	事業	2	(単位:千円)	款	15	項	2	目	4	節	1	(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額			細節	費目名				金額			
18	2	負担金、補助及び交付金				30,943				(奄ソ県) 農林水産分輸送コスト支援事業補助金				26,301			
										一般財源				4,642			
計						30,943			計						30,943		

重要業績評価指標 (KPI) R2～R6							
KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
水産物出荷量	目標	2,900t	2,400	2,400	2,400	2,400	A
	実績	2,950t	2,883t	2,569t	2,318t	2,962t	
【評価】							
R6年度から農林水産物輸送コスト支援事業と水産物流通支援事業が統合。							
鹿児島送りではマグロ類とソデイカの出荷量が増加。沖縄送りではマグロ類と瀬物類の出荷量が増加した。							

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	水産観光課	係名	水産振興係	担当者名	禧久 幸太
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	1	項目	1-2-4
事業概要	○漁協が養殖業者からマグロを購入する費用を助成		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	マグロ消費促進事業		
施策の目的	新たな観光客が流入するきっかけとして、国内有数のクロマグロ養殖産地である本町の養殖クロマグロを地元飲食店や鮮魚店で気軽に食したり購入できる環境づくりを整える。		
具体的な施策内容	瀬戸内漁業協同組合(漁協)が町内の養殖業者から養殖クロマグロを購入し、町内飲食店が漁協より購入する。町が1kgにつき1,000円を補助金として漁協に支出することにより、町内における養殖クロマグロの消費拡大を行い、養殖クロマグロの町として地域振興に繋げる。		

【経費内訳】

款	6	項	3	目	1	事業	2	(単位:千円)	款	15	項	2	目	4	節	1	(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額			細節	費目名				金額			
18	2	マグロ消費促進事業				864				一般財源				864			
計						864			計						864		

重要業績評価指標(KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
水産物出荷量	目標	1,360kg	1,400kg	1,450kg	1,500kg	1,550kg	C
	実績	1,409kg	1,464kg	1,959kg	840kg	843kg	

【評価】

R6年度も観光シーズンに期間限定で補助し、町内5業者の飲食店が海鮮丼や刺身などのメニューで観光客及び町民へ販売した。

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	水産観光課	係名	水産振興係	担当者名	禧久 幸太
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	1	項目	1-2-4
事業概要	〇水産物の出荷における一時保管施設整備(冷凍冷蔵施設整備)		

会計区分	一般会計	会計名															
事業名	浜の活力再生施設整備事業																
施策の目的	瀬戸内漁業協同組合では、近海ではカツオマグロ等の漁船漁業、湾内では静穏な漁場を生かした魚類養殖が盛んに行われている。近年マグロ旗流し漁業への参入者が増えたこと等により、餌となる冷凍イワシ・サンマ等の需要が増えているものの、既存の冷凍庫はスペースが狭小で好漁や好天であっても餌が確保できないため出漁ができない状況にある。 このようなことから、瀬戸内漁業協同組合が冷凍冷蔵庫を整備することにより、漁業者の使用する餌の安定的な供給をすることで、漁業者所得向上を図る。																
具体的な施策内容	新しい冷凍冷蔵施設整備を行い、十分な冷凍・冷蔵スペースを確保することにより、マグロ旗流し漁業等へ餌の安定供給を行うことで、群島内外の漁業者の出漁・出荷基地港としての機能強化を図る。このことにより、出漁回数が増加し漁業者の所得向上や、員外漁業者の生産コストの削減につなげられる。その他、未利用資源の雑魚を冷凍餌や加工品原料として活用・保管が可能となる他、島内出荷用冷蔵スペースの確保による業務の効率化により、経費の削減と漁協の経営体質強化が図られる。なお、既存施設については、組合員の冷凍保管庫、セリ前後の漁獲物の冷凍庫として有効活用する。																
【経費内訳】																	
款		項		目		事業		(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額			細節	費目名				金額			
		必要経費なし															
計						0			計						0		

重要業績評価指標 (KPI) R2～R6							
KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
水産物出荷量	目標		6 t	7 t	8 t	9 t	A
	実績		6 t	7 t	7 t	10 t	
【評価】							
十分な冷凍・冷蔵スペースを確保することにより、漁獲物の鮮度保持や出荷調整、飼料保管など、生産活動に重要な役割をはたしている							

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	水産観光課	係名	水産振興係	担当者名	禧久 幸太
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	1	項目	1-2-4
事業概要	○種苗放流や漁場の管理・改善を実施(離島漁業再生支援)		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	離島漁業再生支援交付金事業		
施策の目的	構成員が行っている従来の漁業に加え、種苗放流、漁場の維持管理等、漁場の生産力の向上に関する取り組みを行い、新たに魚価の安定化を図るため、地場産の加工品の商品化に向けた研究をはじめ、漁食普及活動等の実施及び販路拡大を行うことにより、漁業所得の向上による漁業集落の活性化を目的とした。		
具体的な施策内容	《集落が行った取り組み》 ・ 漁場の生産力向上と利用に関する話し合いを年5回開催 ・ 種苗放流…クエ(大島海峡内5海域に750尾) ・ サンゴ保全…オニヒトデ・シロレイシガイダマシを駆除 ・ サメ駆除…漁業被害の原因となっているサメを買い取り方式により駆除(281匹) ・ 産卵場・育成上の整備…イカ産卵場(イカ柴)を200基整備し、追跡調査実施 ・ 藻場造成…囲網を撤去及び作成したほか、藻場造成の視察や調査を実施 ・ 密漁監視…イセエビの解禁に伴い、町内全域で密漁監視 ・ 加工品開発…安価な水産物を使用した加工品開発(マグロ胃袋、シビ、ソデイカ等)		

【経費内訳】																	
款	6	項	3	目	1	事業	2	(単位:千円)	款	15	項	2	目	4	節	1	(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額			細節	費目名				金額			
18	3	負担金、補助及び交付金				9,144			3	離島漁業再生支援交付金				6,745			
										一般財源				2,399			
計						9,144			計						9,144		

重要業績評価指標 (KPI) R2～R6							
KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
漁業就業者数	目標	65	65	65	65	65	B
	実績	65	65	65	65	65	
【評価】							
漁業の振興・再生を図り、本町の漁業を活性化することで漁業就業者数を維持することができ、持続可能な水産産業を推進することができた。							

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	水産観光課	係名	水産振興係	担当者名	禧久 幸太
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	1	項目	1-2-4
事業概要	○漁船漁業者の操業を支援(漁船漁業燃油緊急対策事業)		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	瀬戸内町漁船漁業燃油緊急対策事業		
施策の目的	漁船漁業者の窮状に鑑み、町の水産業振興施策と連携しながら漁船漁業者の操業意欲を確保するため、燃料費の10%を補助することで、漁家経営の安定と水産物の安定供給を維持する。		
具体的な施策内容	瀬戸内漁業協同組合により水揚げが年間50万円以上の組合員が使用する漁業用燃油の購入費を助成する場合に要する経費について、予算の範囲内において補助金を交付する。(漁業用燃油購入費の10%)		

【経費内訳】

款	6	項	3	目	1	事業	2	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名					金額		細節	費目名					金額		
18	2	136_瀬戸内町漁船漁業燃油緊急対策事業					3,266			(重点支援地方交付金)					3,266		
計							3,266		計							3,266	

重要業績評価指標(KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
漁業用燃油量	目標	275,000L	280,000L	285,000L	290,000L	295,000L	C
	実績	254,883L	234,257L	481,453L	218,844L	180,869L	

【評価】

R6年度も重点支援政策で漁船漁業者にA重油とガソリンを補助した。
水産物の需要が回復することで出漁する漁船が増加すると同時に燃油消費量も増加すると想定されるため、水産物の安定供給を支援する各種施策と連携していきたい。

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	水産観光課	係名	水産振興係	担当者名	禧久 幸太
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	1	項目	1-2-4
事業概要	○水産物の輸送コスト支援により島外出荷の費用を支援		

会計区分	一般会計	会計名															
事業名	農林水産物輸送コスト支援事業																
施策の目的	水産物を奄美群島島外へ移出する場合や移出する農林水産物の原材料等を移入する場合、本土における陸上輸送費に加えて海上輸送費等が必要となり、本土より高い輸送コストを負担している。このため、奄美群島算水産物の生産・出荷に係る輸送コストを補助することにより、流通条件の不利性を改善し、生産振興や産業振興を促進する。																
具体的な施策内容	奄美群島で生産された水産物の出荷や原材料等の購入に要する鹿児島港若しくは鹿児島空港又は那覇港若しくは那覇空港からの海上・航空輸送経費相当額を補助する。																
【経費内訳】																	
款	6	項	3	目	1	事業	2	(単位:千円)	款	15	項	2	目	4	節	1	(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額			細節	費目名				金額			
18	2	負担金、補助及び交付金				30,943				(奄ソ県) 農林水産分輸送コスト支援事業補助金				26,301			
										一般財源				4,642			
計						30,943			計						30,943		

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
水産物出荷量	目標	2,900t	2,400	2,400	2,400	2,400	A
	実績	2,950t	2,883t	2,569t	2,318t	2,962t	

【評価】

R6年度から農林水産物輸送コスト支援事業と水産物流通支援事業が統合。

鹿児島送りではマグロ類とソデイカの出荷量が増加。沖縄送りではマグロ類と瀬物類の出荷量が増加した。

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画課	係名	産業立地係	担当者名	渡邊
----	-----	----	-------	------	----

基本目標	1	項目	1-2-5
事業概要	○新たな産業の振興及び開発の拠点となる施設の整備		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	瀬戸内町振興開発事業		
施策の目的	瀬戸内町長期振興計画に基づき、新たな産業の振興及び開発の拠点となる施設の整備を推進していく。		
具体的な施策内容	新たな産業に振興及び開発拠点となる施設の整備の事業計画書の提出を受け、瀬戸内町振興開札審議会にて調査・審議を行う。		

【経費内訳】

款	項	目	事業	(単位:千円)	款	項	目	節	(単位:千円)
歳出内訳					歳入内訳				
節	細節	費目名	金額		細節	費目名	金額		
		経費無し							
計			0		計			0	

重要業績評価指標(KPI) R2～R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
1人あたりの町民所得(千円) ※数値の公表は調査から3年かかる	目標	2,080	2,100	2,120	2,140	2,160	A
	実績	2,391	2,506	2,609	—	—	
県民所得との対比(%) ※数値の公表は調査から3年かかる	目標	86.2	87.2	88.1	89.1	90	A
	実績	96.8	94.5	95.8	—	—	

【評価】

令和6年度 : 該当なし

町内で新たな産業の振興及び開発の拠点となる施設整備が行われようとする際は、環境や法律の専門家及び開発を進めようとする地域の周辺集落などの意見を集約し、適切に進めていく。

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画課	係名	産業立地係	担当者名	田原
----	-----	----	-------	------	----

基本目標	1	項目	1-2-5
事業概要	○大学等との包括連携をととした商品開発及び人材育成		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	デジタルネットワークラボプロジェクト事業		
施策の目的	次世代向け教育の環境及び生涯にわたり学習できる環境の整備を図るとともに、地域間・世代間の交流を促すことを目的にデジタルネットワークラボ整備事業を行う。地域のICT環境をサポートするとともに、デジタルを通して人材育成を図っていくことで活力あるまちづくりを目指す。		
具体的な施策内容	具体的な取組として、学生向けにオリンピック種目になる可能性もあるeスポーツの普及、シニア向けに健康維持の促進、一般向けにプログラミングセミナーなどを実施する。		

【経費内訳】

款	2	項	1	目	2030	事業	3	(単位:千円)	款	17	項	1	目	2	節	2	(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額			細節	費目名							
12	1	デジタルネットワークラボ整備				23,969			001	企業版ふるさと応援寄附金					1,100		
13	1	施設使用料				1,100				企業版ふるさと応援基金繰入金					23,410		
12	2	公衆無線LAN環境整備				1,000				一般財源					7,059		
12	3	デジタルネットワークラボ整備				5,500											
計						31,569			計						31,569		

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
1人あたりの町民所得(千円) ※数値の公表は調査から3年かかる	目標	2,080	2,100	2,120	2,140	2,160	A
	実績	2,391	2,506	2,609	-	-	
県民所得との対比(%) ※数値の公表は調査から3年かかる	目標	86.2	87.2	88.1	89.1	90	A
	実績	96.8	94.5	95.8	-	-	

【評価】

施設の予約システム導入設定及び、コンテンツ導入備品等を整備。

講座やイベントを下記のとおり実施。

- ・デジタルクリエイター講座(全5回) :地元高校生を対象に動画編集や生成AIの実践を行った。
- ・プログラミングワークショップ:「地球にいいこと」を意識したゲーム作りをプログラミング言語Scratchで学ぶワークショップ
- ・XRゴーグル体験会:XR(AR(※拡張現実)とVRの融合)ゴーグル、Metaquestを用いて、XRの体験会を実施。
- ・プログラミング体験会:茅場町matchiiiでも同時刻にプログラミング体験会を実施。講師はmatchiii茅場町からオンラインで参加し、瀬戸内町と茅場町の同時開催を実施した。
- ・その他(写真撮影体験会、eスポーツ体験会、はじめての生成AI体験、ドローン体験会)

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	商工交通課	係名	商工交通係	担当者名	竹畑 知世
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	1	項目	1-1-1
事業概要	〇しごと部会において就労を希望する人材と事業所を支援		

会計区分	一般会計	会計名											
事業名	”我が事・丸ごと”支え愛事業(しごと部会)												
施策の目的	一人ひとりに応じた多様な「働く」を支援												
具体的な施策内容	1.求人・求職関係の集約・提供 社協の無料就職紹介所 シルバー人材センターの活用促進 2.他分野連携による多様な就労・就訓練機会の提供 セミナー開催 3.関係機関連携による就労準備を含むきめ細やかな就労支援 情報提供と支援ノウハウの蓄積 研修会の開催												
【経費内訳】													
款		項	目	事業		(単位:千円)	款		項	目	節		(単位:千円)
歳出内訳							歳入内訳						
節	細節	費目名		金額			細節	費目名		金額			
		(経費なし)											
計				0			計						

重要業績評価指標 (KPI) R2～R6							
KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
求職登録事業者の状況	目標	2社	2社	2社	2社	2社	D
	実績	0社	0社	0社	0社	0社	
求職登録者の状況	目標	2人	2人	2人	2人	2人	D
	実績	0人	0人	0人	0人	0人	
就労照会の状況	目標	2人	2人	2人	2人	2人	D
	実績	0人	0人	0人	0人	0人	
【評価】							
・社協の無料職業紹介所が令和5年3月に終了し、求職登録事業者及び求職登録者が無く就労へ結びつけることが出来ておりません。 また、しごと部会については令和6年2月に実施した雇用・環境・人材確保の意見を把握するための事業所向けのアンケートの結果の公表し、ほかの部会への情報共有を行いました。 今後の活動に繋がりたいと思います。							

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画課	係名	産業立地係	担当者名	早川
----	-----	----	-------	------	----

基本目標	1	項目	1-3-1
事業概要	〇町内で新たに創業する起業家を支援するための助成		

会計区分	一般会計	会計名															
事業名	瀬戸内町起業家支援補助金交付事業																
施策の目的	本町の地域経済の活性化及び雇用機会の拡大を図ることを目的として、町内で新たに起業する者に対し、起業する際に必要な経費の一部を助成する。																
具体的な施策内容	補助対象経費(補助率は50%、補助限度額50万円、雇用者1名につき+20万円※最大3名まで) ・店舗、工場等の建設費、取得費及び改修費 ・店舗、駐車場等の賃借料(最高6か月分) ・広告宣伝費(ホームページ作成費含む。) ・起業に必要な設備費等																
【経費内訳】																	
款	2	項	1	目	18	事業	1	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額			細節	費目名							
18	002	116_起業支援助成				500				(一般財源)						500	
計						500			計						500		

重要業績評価指標 (KPI) R2～R6							
KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
起業数(社)	目標	3	3	3	3	3	C
	実績	3	0	0	3	2	
【評価】							
令和6年度は起業家支援として2件助成し、雇用者も4名分助成した。今後も瀬戸内町商工会と協議し、よりよい補助金となるよう取り組む。起業を目指す者が新たに事業を起こしやすいよう、また、既存の事業所が事業を拡大しやすいよう、瀬戸内町起業家支援補助金交付要綱の見直しを図り、よりよい補助金となるよう取り組んでいく。							

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	商工交通課	係名	商工交通係	担当者名	竹畑 知世
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	1	項目	1-3-1
事業概要	○安定的・持続的な企業経営を可能にするために給付金等を支給		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	商工業制度資金利子補給事業		
施策の目的	瀬戸内町商工会に加入している商工業者が、設備資金及び運転資金として借り入れた制度資金を対象に利子補給し、町内商工業の育成及び振興を図る。		
具体的な施策内容	補助対象事業者:18事業者 補助対象金額合計:123,214千円 補助率:融資利率を上限とし、借入金額の1% 補助金額合計:1,203千円		

【経費内訳】

款	7	項	1	目	2	事業	1	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額			細節	費目名				金額			
18	2	商工業制度利子補給				633				(一般財源)				633			
計						633			計						633		

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
補助対象事業者の状況(社)	目標	10	10	10	10	10	B
	実績	7	4	4	16	18	

【評価】

国が実施していた事業者向けの新型コロナウイルス感染症補助金が終了したため、申請件数と補助対象金額が増加。(R4年度4件234千円、R5年度16件633千円)
町の「利子補給制度」事業実施による金融面での手厚い支援により、町内商工業者の経営安定と振興の一助となった。今後も「利子補給事業」を事業者に活用して頂き、町内商工業の育成及び発展に尽力したい。

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画課	係名	企画振興係	担当者名	渡邊
----	-----	----	-------	------	----

基本目標	1	項目	1-3-1
事業概要	〇起業・事業拡大などにチャレンジする民間事業者を助成		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	奄美群島広域事務組合負担金(奄美群島民間チャレンジ支援事業)		
施策の目的	奄美群島内在住の方へ起業や事業拡大の機会を提供し、奄美群島全体の振興を目的とする。		
具体的な施策内容	個人・団体・企業等が自らのアイデアや現有する資源を用いて起業や事業拡大・新商品開発等を行おうとする事に対し、事業資金の助成を行うことで、民間の新たなチャレンジを支援する。		

【経費内訳】

款	2	項	1	目	12	事業	1	(単位:千円)	款	21	項	1	目	1	節	1	(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額			細節	費目名				金額			
18		負担金				5,598			2	(過疎債ソフト分)奄美群島成長戦略ビジョン				5,500			
										一般財源				98			
計						5,598			計						5,598		

重要業績評価指標(KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
就業者数 ※基準値 H28→2,911人	目標	2,960	2,970	2,980	2,990	3,000	B
	実績		2,858				
事業所数 ※基準値 H28→537事業所	目標	539	540	542	546	550	B
	実績		526				

【評価】

当事業は奄美群島広域事務組合が群島内各市町村からの負担金によって行う奄美群島成長戦略ビジョン実現推進事業の一部である。

令和6年度において、奄美群島から35件の応募があり、内13件が採択された。その内瀬戸内町在住者からの応募は2件あり、内1件が採択されている。平成26年度に事業が開始されて以降、瀬戸内町からは延べ26件応募があり、今年度分を合わせて6件の事業が採択されている。

当事業は、起業や事業拡大の機会の提供、瀬戸内町をはじめとした奄美群島全体の振興という効果がある。今後は、今までに事業を活用した人同士のネットワーク形成やアフターフォローなど、事業のさらなる発展に向け広域事務組合と協力していく。

※KPI設定は、総合戦略におけるR6の目標値を設定。実績数値は「令和3年度経済センサス-活動調査」を参考。(5年に一度の調査で、次回は令和10年度に令和8年度分を調査)

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画課	係名	企画振興係	担当者名	渡邊
----	-----	----	-------	------	----

基本目標	1	項目	1-3-1
事業概要	○商品開発やマーケティングなど起業家を育成する研修を実施		

会計区分	一般会計					会計名											
事業名	奄美群島広域事務組合負担金(奄美群島 with CAMPFIRE)																
施策の目的	奄美群島独自のクラウドファンディングサイトの整備及び産金学官の連携による群島内スタートアップ事業の支援体制の構築を支援することにより、「奄美群島成長戦略ビジョン」実現に寄与する産業振興及び人材育成施策としてのクラウドファンディング活用の効果性について実証的に検討する。																
具体的な施策内容	◎地理的・社会的経済的特性を踏まえた独自のクラウドファンディングの導入及び運営 ◎クラウドファンディングプラットフォーム運営の効果性向上に資する運営体制及び群島内起業支援 ◎クラウドファンディングを活用した起業家人材の創出に資する機運醸成及び域内人材参画促進																
【経費内訳】																	
款	2	項	1	目	12	事業	1	(単位:千円)	款	21	項	1	目	1	節	1	(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額		細節	費目名				金額				
18		負担金				5,598		2	(過疎債ソフト分)奄美群島成長戦略ビジョン				5,500				
									一般財源				98				
計						5,598		計						5,598			

重要業績評価指標 (KPI) R2～R6							
KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
就業者数 ※基準値 H 2 8 →2,911人	目標	2,960	2,970	2,980	2,990	3,000	B
	実績		2,858				
事業所数 ※基準値 H 2 8 →537事業所	目標	539	540	542	546	550	B
	実績		526				
【評価】							
当事業は奄美群島広域事務組合が群島内各市町村からの負担金によって行う奄美群島成長戦略ビジョン実現推進事業の一部である。 令和5年度までの実績として、本町からの活用希望者はいなかったが、奄美群島全体の事業で12件あり、11件が達成している。(達成総額は10,613,907円、達成率は102%) 今後も奄美群島広域事務組合と連携し、奄美群島全体の発展に寄与する事業を実施していく。 ※KPI設定は、総合戦略におけるR6の目標値を設定。 実績数値は「令和3年度経済センサス-活動調査」を参考。(5年に一度の調査で、次回は令和10年度に令和8年度分を調査)							

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画課	係名	企画振興係	担当者名	渡邊
----	-----	----	-------	------	----

基本目標	1	項目	1-3-1
事業概要	〇奄美群島振興開発基金による事業資金の供給		

会計区分		会計名															
事業名	奄美群島振興開発基金による事業資金の供給																
施策の目的	奄美群島における産業の振興開発を促進し、群島経済の発展に寄与するため「振興開発計画に基づく事業に伴い必要な資金を供給すること等により、一般の金融機関が行う金融を補完し、又は奨励すること」を目的としている。																
具体的な施策内容	奄美群島において事業を営む方々に必要な資金を長期かつ低利で融資している。																
【経費内訳】																	
款		項		目		事業		(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額			細節	費目名				金額			
		なし															
計						0			計						0		

重要業績評価指標 (KPI) R2～R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
就業者数 ※基準値 H28→2,911人	目標	2,960	2,970	2,980	2,990	3,000	B
	実績		2,858				
事業所数 ※基準値 H28→537事業所	目標	539	540	542	546	550	B
	実績		526				

【評価】

当事業は奄美群島振興開発基金が行う事業資金や運転資金の貸付事業である。
R6年度の本町内事業者への貸付実績として、流通・加工業等振興4件、観光関連産業振興1件、地域活性化・雇用促進資金1件、合計6件であり、合計貸付額は87,100,000円となっている。
一般的な金融機関よりも低利な利率での貸付を行っており、施設整備等による事業拡大や経営安定改善に大きな役割を果たしている。
今後も、奄美群島振興開発基金と協力していきながら、町内企業の成長・発展に寄与していく。
※KPI設定は、総合戦略におけるR6の目標値を設定。実績数値は「令和3年度経済センサス-活動調査」を参考。(5年に一度の調査で、次回は令和10年度に令和8年度分を調査)

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画課	係名	産業立地係	担当者名	早川
----	-----	----	-------	------	----

基本目標	1	項目	1-3-2
事業概要	○町内で新設・増設する企業を企業立地促進補助金で支援		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	企業立地等促進助成事業		
施策の目的	企業に対し、特に必要と認められる助成措置及び便宜供与を講ずることにより、企業の育成及び誘致を促進し、もって本町の産業の振興と雇用の増大を図る。		
具体的な施策内容	・企業に供する新たな用地を取得し又は賃貸借し、当該用地の取得又は賃貸借後2年以内に操業を開始する。 ・企業の設備投資額が2,000万円以上であること。 ・企業の設置に伴って増加する新規地元雇用者の数が、当該企業の操業開始後1年以内において3人以上であること。 ・企業の誘致について、町と直接、立地協定を締結し、当該協定に定める義務等が履行され		

【経費内訳】

款	2	項	1	目	18	事業	1	(単位:千円)	款	17	項	1	目	2	節	2	(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額			細節	費目名				金額			
18		企業立地等促進助成				8,319			1	(地方創生応援税制)企業版ふるさと応援寄附金				5,083			
										一般財源				3,236			
計						8,319			計						8,319		

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
起業数(社)	目標	1	1	1	1	1	D
	実績	0	0	0	0	1	

【評価】

- ・令和6年度は企業立地等促進として1件実績があった。
- ・瀬戸内町商工会と協議し、よりよい補助金となるよう取り組む。
- ・本町に企業を誘致するため、また、町内の事業所が事業を新設・拡大しやすいよう、瀬戸内町企業立地等促進条例の見直しを図り、よりよい補助金となるよう取り組む。
- ・企業誘致に向けた制度や事例等の情報収集を行い、今後の企業誘致の実施に活かしていく。

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画課	係名	企画振興係	担当者名	渡邊
----	-----	----	-------	------	----

基本目標	1	項目	1-3-2	※事業No68～70と同
事業概要	○町内へ企業誘致を実現するため職場環境のスペースを提供			

会計区分	一般会計				会計名												
事業名	コミュニティデザイン形成事業																
施策の目的	「新たな生活スタイル」への転換のため、戦略拠点施設として整備したコワーキングスペースを活用し、町民の新たな働き方、ワーケーションを推奨し、人材交流による官民連携強化を図る。																
具体的な施策内容	指定管理者と連携を図り、利用者からのアンケートをとりながら、健全な施設運営を図り、企業や移住希望者に対し施設をPRし、域内事業所とのマッチングを図る。また施設内において、イベントを開催し町内での利用者増、交流を図る。																
【経費内訳】																	
款	2	項	1	目	12	事業	6	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額		細節	費目名				金額				
18		補助金				45,000			一般財源				4,500				
計						45,000		計						4,500			

重要業績評価指標 (KPI) R2～R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
利用する契約企業数(年間契約)	目標		3	4	4	4	B
	実績		4	9	9	8	
利用者数(延べ)	目標		270	1080	1560	1560	A
	実績		224	1503	1633	1916	

【評価】

チャレンジショップや講習会等のイベントを開催し、町内での認知拡大、利用者増を図り交流を促進し、利用者数についてはKPIを達成できた。
 今後もイベント・講座等の開催を定期的に計画し、地域住民が気軽に訪れるきっかけを提供していく。また、島外の高校生や大学生向けのスタディツアーを実施し、地元高校生と交流する場としての活用や、関東圏のコワーキングスペース事業者とも連携し、利用者へアプローチしていきたい。引き続き、テレワーク・ワーケーション需要に対応する利便性の高い施設となるよう指定管理者との連携を図る。

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画課	係名	産業立地係	担当者名	田原
----	-----	----	-------	------	----

基本目標	1	項目	1-3-2	※事業No.79と同(再掲)
事業概要	〇町内で起業するための拠点施設として廃校を活用			

会計区分	一般会計				会計名															
事業名	農泊推進型施設整備事業																			
施策の目的	瀬戸内町久慈集落及び近隣集落(以下「本地域」という。)への交流人口拡大を目指すため、本地域独自の自然景観・文化、農林水産物や水産加工品等、様々な地域資源を十分に活かした取組による宿泊・食事・体験メニューを提供することを目的に、本地域にある旧久慈小中学校を改修し、活動拠点として整備する。																			
具体的な施策内容	宿泊施設及び食事処等を整備するための工事(新築及び改修)の実施また、工事の施工に伴い、進捗を監理するため設計事業者に監理業務の委託。																			
【経費内訳】																				
款	2	項	1	目	18	事業	4	(単位:千円)	款	14	項	2	目	1	節	1	(単位:千円)			
歳出内訳								歳入内訳												
節	細節	費目名				金額		細節	費目名											
12	1	工事管理業務委託料				1,727		19	農山漁村振興交付金				47,750							
14	1	農泊推進型施設整備				156,700		14	辺地債				108,400							
									一般財源				2,277							
計						158,427		計						158,427						

重要業績評価指標 (KPI) R2～R6							
KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
売上高(万円)	目標						
	実績	R 7 より運用開始					
延べ宿泊者数(人泊)	目標						
	実績						
【評価】							
令和5年度に旧久慈小中学校を農泊事業(宿泊・食事・体験)に資する施設とするための設計が行われ、今年度改修工事が終了した。 今後久慈集落及び近隣集落(西方地区)における地域経済の活性化と文化伝統を担う人材の確保や、本施設を活動拠点とし、地域独自の自然景観・文化、農林水産物や加工品等、様々な地域資源を十分に活かした取組を行い、持続可能な地域づくりの実現を目指す。							

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	水産観光課	係名		担当者名	川畑 公一
----	-------	----	--	------	-------

基本目標	2	項目	2-1-1
事業概要	○観光業の振興を図るための組織体制等の充実		

会計区分		会計名	
事業名	奄美せとうち観光協会との連携		
施策の目的	奄美大島全体の動きを見据え、奄美せとうち観光協会と連携しながら観光組織体制の充実を図る。		
具体的な施策内容			

【経費内訳】																	
款		項		目		事業		(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額			細節	費目名				金額			
		経費無し															
計						0			計						0		

重要業績評価指標 (KPI) R2～R6							
KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
観光協会会員数	目標	65	70	75	75	75	A
	実績	61	93	98	104	158	
【評価】							
奄美せとうち観光協会は、令和5年度に任意団体から一般社団法人化され、会員数の増加とともに本町独自の観光ツアーの企画や子ども達への観光教育事業及び海岸クリーン作戦など独自で積極的な活動を展開している。 R6年度においては、町と連携したクルーズ船対応やR7年度から新たにに取り組む予定の町観光施設清掃管理委託及び特定外来生物等対策事業委託への事前協議を重ねた。今後とも本協会との情報共有や協力体制を維持しつつ、世界遺産登録後の観光客の増加を見据えた本町独自の観光促進ができるよう努めたい。							

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	水産観光課	係名	観光振興係	担当者名	川畑 昭仁
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	2	項目	2-1-1
事業概要	○大型客船の誘致など宣伝誘致活動の推進		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	客船受入協議会補助金		
施策の目的	世界自然遺産登録後の国内外の観光客の増加を見据え、大型客船の誘致などの宣伝誘致活動の推進・充実を図る。		
具体的な施策内容	九州クルーズ振興協会のホームページに、古仁屋港の情報を提供し掲載してPR活動を行った。また、(一社)奄美せとうち観光協会と大型客船受け入れ体制に関する打合せを事前に行い、協議会としての受け入れ役割分担を明確化した。		

【経費内訳】

款	7	項	1	目	3	事業	1	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額			細節	費目名				金額			
18	2	客船受入協議会補助金				300				一般財源				300			
計						300			計						300		

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
大型客船受入件数	目標	3	5	5	5	5	B
	実績	0	0	0	1	3	

【評価】

(一社)奄美せとうち観光協会を主とする関係団体と協力しながら、世界自然遺産登録後の観光客の増加を見据えた、観光促進・大型客船の誘致などの宣伝誘致活動の推進を図った。引き続き、地元観光ツアーの活用や大型客船で来町された方への商店街利用など、できる限り地元経済に効果がある受け入れ体制を整えていきたい。

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	水産観光課	係名	観光振興係	担当者名	中村 未樹
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	2	項目	2-1-1
事業概要	○観光ネットワーク(琉球弧の島々とのタイアップ等)の形成		

会計区分		会計名	
事業名	奄美・屋久島まち歩き連絡協議会		
施策の目的	「世界自然遺産地域の里から発信するまちづくり」をコンセプトに、奄美と屋久島それぞれの地域を掘り下げて理解するとともに、交流・連携を深め、今後の方向性や将来の旅行ツールとしての展望を探ることを目的とする。		
具体的な施策内容	H30年に奄美、屋久島の6市町村で協議会を設立し、年3回の意見交換会や、専門講師を招聘しての研修会、資源調査を行う。		

【経費内訳】

款		項		目		事業		(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額			細節	費目名				金額			
		経費なし															
計						0			計						0		

重要業績評価指標 (KPI) R2～R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
まち歩きガイド数(528会)	目標	10	10	10	10	10	C
	実績	2	0	1	2	1	

【評価】

今年度は意見交換会のみ行った。年々会員数が減少している状況。今後は、世界自然遺産に登録され、既に世界自然遺産登録地でまち歩きを確立させている、屋久島及び町歩きガイド育成機関として町内活動している島案内人協会と、連携及び情報共有を図りたい。

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	水産観光課	係名	観光振興係	担当者名	中村 未樹
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	2	項目	2-1-1
事業概要	○受入体制(人材育成・観光案内版等)の整備		

会計区分	一般会計	会計名															
事業名	瀬戸内町島案内人育成																
施策の目的	世界自然遺産登録後の国内外の観光客の増加を見据え、人材育成や観光案内板等の整備を行うとともに、本町の魅力を伝える活動を行うことで、地域振興に寄与することを目的とする。																
具体的な施策内容	会員相互の情報交換並びに観光資源活用のための研修会の実施。 観光資源の調査・保全。 観光客等へのガイド及び関係団体が行うイベントへの協力。																
【経費内訳】																	
款	7	項	1	目	3	事業	1	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額			細節	費目名				金額			
18	2	島案内人協会補助金				123				一般財源				123			
計						123			計						123		

重要業績評価指標 (KPI) R2～R6							
KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
認定ガイド	目標	5	10	12	14	15	C
	実績	0	0	0	0	0	
案内板設置	目標	15	10	10	10	10	C
	実績	10	1	4	3	0	
【評価】							
令和3年11月24日に瀬戸内町島案内人協会(会員23名)を立ち上げた。令和6年度は18名の会員が在籍し、近代遺跡についての学習及び計8回5集落の集落歩きを実施しながら、4集落のモデルコースづくりを行い、その後のモニターツアーへと繋げることができた。また、自然保護協議会主催の自然体験ツアーへも参加した。しかし、会員が奄美群島エコツアーガイドを取得するまでには至らなかった。 今後は、会員数の増加やさらには島案内人協会の最終目標である、人材育成の強化に努めるとともに、引き続き集落歩きを継続するとともに、商品としてご案内できるモデルコースづくりを行いながら観光振興の推進を図っていきたい。							

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	水産観光課	係名		担当者名	川畑 公一
----	-------	----	--	------	-------

基本目標	2	項目	2-1-2
事業概要	○本町の観光スポットやおすすめコースを情報発信		

会計区分		会計名	
事業名	奄美せとうち観光協会運営費補助金		
施策の目的	観光客増加傾向の社会動向に応じた、自然・文化・歴史等の地域資源の情報発信を行い、観光振興を図る。		
具体的な施策内容	町、奄美せとうち観光協会ホームページや各種観光パンフレット、SNSによる情報発信。		

【経費内訳】

款		項		目		事業		(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額			細節	費目名				金額			
		経費なし															
計						0			計						0		

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
奄美せとうち観光協会ホームページアクセス数	目標	300,000	316,000	333,000	351,000	370,000	C
	実績	119,143	152,655	152,653	164,458	161,667	

【評価】

新型コロナウイルス感染症の影響により、実際に観光客が来町できない期間においても、各種媒体を活用した積極的な情報発信を行い、アクセス数も増加しつつある。令和5年度より、(一社)奄美せとうち観光協会への補助金支出は無くなったが、現在も協会として、自主財源の確保と公式ホームページの情報発信を積極的に行っており、今後も世界自然遺産登録後の観光客の増加を見据えながら、来町意欲の向上に努めたい。

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	水産観光課	係名	観光振興係	担当者名	満 拓也
----	-------	----	-------	------	------

基本目標	2	項目	2-1-2
事業概要	○奄美群島の魅力を全国に向けて情報発信		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	奄美群島観光物産広域連携事業		
施策の目的	奄美群島における観光・物産振興のための取り組みを島ごとの域を越えて一元的に行い、奄美群島の観光と交流人口の拡大、特産品の販路拡大、観光物産関連事業者の育成等により群島産業の振興を図る。		
具体的な施策内容	奄美群島の観光交流人口増加に向けた一般消費者への旅行喚起施策とあわせて、キャリア及び旅行会社と連携した旅行商品造成活性化施策及び物産面のブランディングを積極的に展開し、観光来訪の促進を図った。		

【経費内訳】

款	7	項	1	目	3	事業	1	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額			細節	費目名				金額			
18	1	奄美群島観光物産協会負担金				2,787				一般財源				2,787			
計						2,787			計						2,787		

重要業績評価指標 (KPI) R2～R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
瀬戸内町への入込客数	目標	150,000	158,000	166,000	175,000	185,000	B
	実績	93,660	89,365	113,451	136,818	131,705	

【評価】

大都市圏である東京・大阪・福岡において、新規素材などを中心に、美群島独自の観光素材を旅行代理店にPRする奄美群島観光誘客プロモーション事業を行った。世界遺産登録地である奄美大島や徳之島だけではなく、他の島への周遊、そして国立公園を前面に打ち出したプロモーションを実施した。

今後も引き続き、旅行商品造成や一般消費者向けの観光PRイベントによる観光客誘致及びECサイトを活用した特産品の販売促進を実施し、奄美群島への観光来島者を増やしていくとともに、本町への入込客数増加にもつなげたい。

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	建設課	係名	建設係	担当者名	重 浩幸
----	-----	----	-----	------	------

基本目標	2	項目	2-1-2
事業概要	○持続可能な『シマ』づくりにつながる戦略拠点の整備		

会計区分			一般会計				会計名												
事業名			加計呂麻島ターミナル整備事業																
施策の目的			加計呂麻島の玄関口である瀬相集落に、新たにターミナル施設を整備し、多くの地域住民や船舶利用者等の快適性と利便性の向上を図り、加えて、観光、物流、交流の機能を備え、『加計呂麻島の地域振興に寄与する新たな戦略拠点』として位置づけ、賑わいにあふれた施設を目的として整備を行うものである。																
具体的な施策内容			【ターミナル施設整備】 ・RC造り平屋建て(延床面積:430.21㎡) ※【債務負担行為(R5～R6)による事業】建築工事・電気工事・設備工事 ・旧待合所解体及び駐車場整備 ※R7へ繰越																
【経費内訳】																			
款	8	項	4	目	3	事業	1		款	15	項	2	目	6	節	2			
								(単位:千円)									(単位:千円)		
歳出内訳									歳入内訳										
節	細節	費目名				金額		細節	費目名				金額						
2		給料				4,083		003	(奄ノ)ターミナル施設整備事業補助金				110,640						
3		職員手当等				2,343		001	(過疎債)ターミナル施設整備事業				160,000						
4		共済費				1,941			(一般財源)				13,038						
8		旅費				291													
10		需用費				258													
12		委託料				2,000													
13		使用料及び賃借料				262													
14	1	工事請負費(施設整備)				247,500													
14	1	工事請負費(施設整備)				25,000													
計						283,678		計						283,678					

重要業績評価指標 (KPI) R2～R6							
KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
加計呂麻島への入込客数 (交流人口)	目標	—	—	—	—	—	
	実績	38,832	38,474	40,157	41,507	40,269	
ターミナル施設の利用者数 (地域住民及び交流人口)	目標	—	—	—	—	—	
	実績	37,000	41,000	43,000	4,300	4,400	
【評価】							
当該事業期間は令和3年度から令和7年度までの5年間と計画しており、評価指標についても、ターミナル完成後(令和7年度)の目標設定としていることから、現時点においては施設建設中であるため、評価できない状況である。							
令和7年度のKPI(ターミナル運用後の目標指標)							
①加計呂麻島への入込客数(交流人口) 50,000人							
②ターミナル施設の利用者数(地域住民及び交流人口) 53,000人							

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画課	係名	企画振興係	担当者名	早川
----	-----	----	-------	------	----

基本目標	2	項目	2-1-2
事業概要	○奄美群島と本島間の割高な運賃を軽減(航路航空運賃軽減)		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	奄美群島航空・航路運賃軽減事業		
施策の目的	住民生活を圧迫する割高な移動コストを軽減することにより、離島住民等の負担軽減を図る。		
具体的な施策内容	・対象者：奄美群島住民、群島出身学生及び介護帰省者等、その他 ・対象路線：鹿児島-奄美群島間、奄美群島各離島間、奄美群島-沖縄間 ・航空運賃軽減額：普通運賃からの割引率約50%程度 ・航路運賃軽減額：路線により3,850円～450円の割引		

【経費内訳】

款	2	項	1	目	12	事業	1	(単位:千円)	款	21	項	1	目	1	節	1	(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額			細節	費目名				金額			
18		負担金				25,295			4	(過疎債ゾフト分)航路航空路運賃軽減等事業				24,300			
										一般財源				995			
計						25,295			計						25,295		

重要業績評価指標 (KPI) R2～R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
瀬戸内町への入込客数の増加	目標	150,000人	170,000人	170,000人	180,000人	180,000人	C
	実績	93,000人	89,000人	113,000人	136,000人	131,000人	

【評価】

新型コロナウイルスの影響により大幅な減少となっていた奄美群島への入込客数だが、R2年度の51.7万人から令和6年度は84.1万人と回復傾向にあり、令和元年の89.1万人(ピーク時)にせまる勢いである。

さらに、ワーケーションやテレワークなどの新たな生活スタイルの拡大や、世界自然遺産にも登録された自然と人々の生活で育まれた文化への関心の高まりなど、更に入込客数増が見込まれている。今後においても、奄美群島航空・航路運賃軽減事業を継続し、奄美大島への入込客数の増を図る必要がある。

※入込客数は大島支庁発表。

※当事業は、事業主体が県の為、KPI設定については町独自に設定しております。

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	水産観光課	係名	観光振興係	担当者名	満 拓也
----	-------	----	-------	------	------

基本目標	2	項目	2-1-2
事業概要	〇人が集い交流する場所の整備(加計呂麻体験交流館カフェ)		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	加計呂麻島展示・体験交流館カフェ事業		
施策の目的	本町加計呂麻島の観光拠点である、「加計呂麻島展示・体験交流館」にカフェを設置し、観光客の呼び込みを図るとともに館全体の利用促進が目的。		
具体的な施策内容	カフェ事業運営については、諸鈍集落婦人会カフェ事業部に業務委託し「かけろまカフェ」として運営。毎月町が委託料を支払い、売上は町に収入する形態をとっている。その他カフェ事業以外にも、カフェ主催のフリーマーケット等の開催や情報発信を行っている。		

【経費内訳】

款	7	項	1	目	3	事業	1	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額			細節	費目名				金額			
12	1	カフェ事業委託料				3,400				一般財源				3,400			
計						3,400			計						3,400		

重要業績評価指標 (KPI) R2～R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
販売売上 (単位:千円)	目標	2,000	2,000	2,500	2,700	3,000	B
	実績	1,832	2,512	2,779	2,065	2,011	

【評価】

R6年度についても材料費を売上から差し引いたものを町が収入するかたちをとっており、R5年度と同様の売上があった。年度当初はピーチ減便で観光客が少なくなる影響もあったが、対前年度比で同額程度の売上があったことは、観光客だけではなく、かけろまカフェが地元の方々にも日常的に利用される施設として認知されてきたことによるものと思われる。今後も受託者により連携を密にとりながら、より良いカフェ運営と館全体の利用促進につなげていきたい。

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	水産観光課	係名	観光振興係	担当者名	米田 翔太郎
----	-------	----	-------	------	--------

基本目標	2	項目	2-1-2
事業概要	〇シェアサイクル事業により加計呂麻島の豊かな自然を発信		

会計区分	一般会計					会計名														
事業名	シェアサイクル事業																			
施策の目的	シェアサイクルを利用することにより、加計呂麻島での時間を有効的に活用して、自分のスケジュールで自然を満喫出来るようになり、観光客の増加に繋がることを目的とする。																			
具体的な施策内容	町直営で事業を実施。加計呂麻島に電動アシスト付自転車10台を3地点に配置した。 瀬相待合所、生間待合所、加計呂麻島展示・体験交流館で貸し出しが可能であり、瀬相待合所と生間待合所については、フェリー受付窓口販売員に貸し出し業務を委託している。																			
【経費内訳】																				
款	7	項	1	目	3	事業	5	(単位:千円)	款	20	項	5	目	5	節	1	(単位:千円)			
歳出内訳									歳入内訳											
節	細節	費目名				金額			細節	費目名				金額						
10	2	需用費（消耗品）				42			74	雑入（E-Bike使用料）				1,375						
10	6	需用費（修繕料）				319			152	雑入（E-Bike保険清算金）				154						
11	1	役務費（車両航送料）				5			163	雑入（E-Bike修繕料）				1						
11	1	役務費（運搬費）				1				一般財源				119						
11	3	役務費(保険料)				372														
12	1	委託料(メンテナンス)				528														
12	1	委託料(貸出業務)				369														
12	1	使用料及び賃借料(船舶借上料)				13														
計						1,649			計						1,649					

重要業績評価指標 (KPI) R2～R6							
KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
利用人数	目標	1,000	1,500	1,800	2,000	2,200	B
	実績	551	871	521	574	414	
【評価】							
総合戦略設定当初のシェアサイクル事業については、R3年度を持って終了し、R4年度からは新たな電動付アシスト自転車「E-Bike」を使用した事業を展開した。故障中であった車両も全て修繕を行い、請島、与路島、加計呂麻島、本島側、計26台の全車両を稼働できるよう改善を行った。今後も、本町の自然・文化に触れ、魅力発信を図るため、観光客や利用する方々の満足度を向上させていきたい。							

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	水産観光課	係名	観光振興係	担当者名	米田 翔太郎
----	-------	----	-------	------	--------

基本目標	2	項目	2-1-2
事業概要	〇祭りやイベント(シーカヤック、ハーフマラソン等)での交流促進		

会計区分	一般会計			会計名													
事業名	観光イベント事業																
施策の目的	本町の自然特性を活かしたイベントを開催することで、全国の多くの方に本町の魅力を発信し、自然や文化に親しむ機会をつくり、観光振興や文化交流を促進する。また、多くの町民の一体感を増進させ、地域づくりへの創造心の醸成、活力ある地域の形成と住民定着を図る。																
具体的な施策内容	①奄美シーカヤックマラソンIN加計呂麻大会 ②加計呂麻島ハーフマラソン（中止）																
【経費内訳】																	
款	7	項	1	目	3	事業	1	(単位:千円)	款	20	項	5	目	5	節	1	(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額		細節	費目名				金額				
12	1	委託料（シーカヤックマラソン）				8,000		16	シーカヤックマラソン大会参加料				3,575				
12	1	委託料（ハーフマラソン）				107			一般財源				4,532				
計						8,107		計						8,107			

重要業績評価指標(KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
シーカヤック大会参加者数	目標	500	250	500	500	500	B
	実績	0	0	0	360	363	
ハーフマラソン大会参加者数	目標	700	600	700	750	800	D
	実績	0	0	732	0	0	

【評価】

シーカヤック大会は、232艇363名のご参加をいただき、盛大に開催された。ハーフマラソン大会については、発着地点において加計呂麻島ターミナル建設中であり、選手の安全を考慮し、やむなく中止となった。

シーカヤック大会については、貸切船や伴走艇の数が減ってきており、無理に規模を拡大することで、最重要となる安心安全なイベント開催が難しくなる可能性があることを考慮しなければならない。今後も、イベントの継続だけが目的とならないよう、常に改革の意識を持ちながら、リピーターの持続を図り、本町の観光振興に効果的につなげられるような大会を運営していきたい。

なお、ハーフマラソンに関しては、R6年度の自己評価において未実施のためDとしている。

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	水産観光課	係名		担当者名	川畑 公一
----	-------	----	--	------	-------

基本目標	2	項目	2-1-2
事業概要	○観光大使が全国で活動を展開することによる本町の魅力発信		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	観光費		
施策の目的	観光大使が全国で活動を展開することにより、本町の魅力を発信して観光振興に寄与することを目的とする。		
具体的な施策内容	①観光大使による全国での活動に伴う本町PR ②観光大使によるSNS等を利用した本町PR ③新たな観光大使の任命		

【経費内訳】

款	7	項	1	目	3	事業	1	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額			細節	費目名				金額			
10	2	需用費（消耗品）				31				一般財源				31			
計						31			計						31		

重要業績評価指標(KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
観光大使としてのイベント数	目標	1	3	3	3	3	B
	実績	0	0	0	3	1	

【評価】

コロナ禍により、観光大使として活動するイベントが実施できない期間が続いたが、令和5年度には、シーカヤック大会へのゲスト招待や新たな観光大使2名任命、令和6年度も新たに1名を任命し、依頼のあった観光大使へ名刺を追加配布するなど、目的に沿った事業を実施できた。

今後についても、より重要となってくる情報発信の分野にて、各観光大使のSNS等を活用して、本町の魅力を発信していただき、効果的な観光振興の推進につなげていきたい。

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画課	係名	企画振興係	担当者名	森
----	-----	----	-------	------	---

基本目標	2	項目	2-1-3
事業概要	○高校と町の連絡体制づくり(古仁屋高校コーディネーター)		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	地域おこし協力隊(支援コーディネーター)		
施策の目的	古仁屋高校の活性化に向け、高校魅力発進、地域みらい留学制度のPR活動及び地元企業での生徒の体験学習など企画・実施を行う。また、寮生が寮生活から自主性及び協調性をつけるためのサポートを行いながら、地元の高校生や地域の方々との関わり合いによるコミュニケーション能力を向上させるための活動を目的とする。		
具体的な施策内容	・古仁屋高校支援担当(古仁屋高校振興コーディネーター) ・生徒募集活動、広報活動(寮・学校説明会参加、イベント参加等) ・古仁屋高校寮生の管理・運営に伴う事務 ・古仁屋高校活性化事業に伴う事務 ・古仁屋高校寮生各種活動の展開		

【経費内訳】

款	10	項	1	目	4	事業	3	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額			細節	費目名				金額			
1		報酬				2,768				(奄振)補助金				2,059			
3		手当				665				一般財源				1,374			
計						3,433			計						3,433		

重要業績評価指標(KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
町内中学卒業生の古仁屋高校進学率(%)	目標	40%	43%	45%	48%	50%	C
	実績	32.90%	37%	21%	33%	44%	

【評価】

古仁屋高校活性化に向けて、町・高校・寮をつなぐ支援コーディネーターを1名新たに配置した。学校・寮のニーズと地域資源をマッチングし、さ・シマ学、まちづくり研究部、せとうちミライラボなどの企画・実施を支援した。生徒の主体性や自己表現の機会を増やし、また、教職員・地域の企画関係者と意見調整を行い、学校と地域が相乗効果を発揮できる体制づくりを推進した。今後も地元住民との交流(ボランティア、イベント、公民館講座等)を通して、地元中学生の進学率の向上を目指す。

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画課	係名	企画振興係	担当者名	森
----	-----	----	-------	------	---

基本目標	2	項目	2-1-3
事業概要	○町外や町内遠隔地からの生徒のため古仁屋高校の寮を整備		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	古仁屋高校振興対策事業(男子寮)		
施策の目的	「地域みらい留学生等」が安全・安心に居住でき、3年間古仁屋高校に通う同志と共に瀬戸内町を知り、地域を知り、仕事を知り、その中でコミュニケーションを学び、さらに留学生にとって瀬戸内町が第2の故郷として選択肢の中に生まれることを最終目標とし、学びの場の拠点として運営することを目的とする。		
具体的な施策内容	寮生が安全に居住できる環境づくり、寮生が安心して食事ができる環境づくりのために夜は寮監を配置し、1日2回(朝・夜)の食事業務を委託することで、安定的な運営を行っている。		

【経費内訳】

款	10	項	1	目	4 5	事業	1 1	(単位:千円)	款	15	項	2	目	7	節	1	(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細 節	費目名				金額			細節	費目名				金額			
10		需用費				3,170			2	(奄振)留学支援事業及び補助金				9,380			
11		役務費				697				古仁屋高校寮使用料				8,717			
12		委託料				15,878				一般財源				1,983			
12		使用料及び賃借料				38											
17		備品購入費				297											
18		負担金、補助金及び交付金															
計						20,080			計						20,080		

重要業績評価指標(KPI) R2～R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
寮の受入れ数	目標	11人	14人	14人	14人	14人	B
	実績	11人	12人	12人	14人	13人	

【評価】

- ・R6年度は、3年生4名、2年生6名、1年生3名の計13名の受入。
- ・感染対策用に空き部屋を確保
- ・新一年生の1年間は、寮生活に慣れるのに時間がかかる生徒もいることから、寮に係わる職員の負担軽減のため、R7年度受入は、4～5名の募集をすることとした。

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画課	係名	企画振興係	担当者名	森
----	-----	----	-------	------	---

基本目標	2	項目	2-1-3
事業概要	○町外や町内遠隔地からの生徒のため古仁屋高校の寮を整備		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	古仁屋高校振興対策事業(女子寮)		
施策の目的	「地域みらい留学生等」が安全・安心に居住でき、3年間古仁屋高校に通う同志と共に瀬戸内町を知り、地域を知り、仕事を知り、その中でコミュニケーションを学び、さらに留学生にとって瀬戸内町が第2の故郷として選択肢の中に生まれることを最終目標とし、学びの場の拠点として運営することを目的とする。		
具体的な施策内容	寮生が安全に居住できる環境づくり、寮生が安心して食事ができる環境づくりのために夜は寮監を配置し、1日2回(朝・夜)の食事業務を委託することで、安定的な運営を行っている。		

【経費内訳】

款	10	項	1	目	4 5	事業	1 2	(単位:千円)	款	15	項	2	目	7	節	1	(単位:千円)	
歳出内訳									歳入内訳									
節	細節	費目名				金額			細節	費目名				金額				
10		需用費				1,197			2	(奄振)留学支援事業及び補助金				9,379				
11		役務費				89				古仁屋高校寮使用料				7,377				
12		委託料				16,364				一般財源				978				
12		使用料及び賃借料				11												
17		備品購入費				73												
18		負担金、補助金及び交付金																
計						17,734			計						17,734			

重要業績評価指標 (KPI) R2～R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
寮の受入れ数	目標	7人	10人	10人	10人	10人	A
	実績	11人	10人	10人	10人	11人	

【評価】

- ・R6年度は、3年生2名、2年生6名、1年生3名の計11名の受入。
- ・感染対策用に空き部屋を確保
- ・新一年生の1年間は、寮生活に慣れるのに時間がかかる生徒もいることから、寮に係わる職員の負担軽減のため、R7年度受入は、2名の募集をすることとした。

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画課	係名	企画振興係	担当者名	森
----	-----	----	-------	------	---

基本目標	2	項目	2-1-3
事業概要	○町外から古仁屋高校へ通う留学生の経済的負担を軽減		

会計区分	一般会計				会計名												
事業名	古仁屋高校留学生徒補助金																
施策の目的	瀬戸内町の最高学府である古仁屋高校の存続及び振興・活性化を支援するため、町外から古仁屋高校へ入学した生徒へその費用の一部を補助し、留学生の経済的負担の軽減を図ることを目的とする。																
具体的な施策内容	瀬戸内町外からの入学生には月、40,000円～30,000円を補助。																
【経費内訳】																	
款	10	項	1	目	4	事業	1	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額		細節	費目名				金額				
18		負担金、補助金及び交付金				8,267			(奄振)留学支援事業及び補助				4,960				
									一般財源				3,307				
計						8,267		計						8,267			

重要業績評価指標 (KPI) R2～R6							
KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
古仁屋高校留学生への支援	目標	—	100%	100%	100%	100%	A
	実績	100%	100%	100%	100%	100%	
【評価】							
・R6年度は19名の留学生が在籍しており、古仁屋高校の存続及び活性化に繋がっている。 ・R6年度留学生より補助金を一人30,000円としている。							

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画課	係名	企画振興係	担当者名	森
----	-----	----	-------	------	---

基本目標	2	項目	2-1-3
事業概要	○本町での充実した高校生活を提供(地域みらい留学生)		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	古仁屋高校振興対策事業		
施策の目的	町外から来ている地域みらい留学生や地元の生徒が充実した高校生活が送れるよう、古仁屋高校活性化対策専門の支援コーディネーターと共に寮や学校、地域と連携をとり、官民学の共通理解を図っていくことが目的である。		
具体的な施策内容	活性化対策室関係の事務全般 関係機関との連携、調整、 学校との情報交換会 寮活動への協力等 役場、学校、地域を繋ぐ役割		

【経費内訳】

款	10	項	1	目	4	事業	3	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額			細節	費目名				金額			
1		報酬				2,768				(奄振)補助金				2,059			
3		手当				665				一般財源				1,374			
計						3,433			計						3,433		

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
体験学習や体験実習	目標	2回	2回	3回	3回	10回	B
	実績	0回	0回	8回	3回	10回	

【評価】

古仁屋高校活性化に向けて、町・高校・寮をつなぐ支援コーディネーターを1名新たに配置した。
学校・寮のニーズと地域資源をマッチングし、ざ・シマ学、まちづくり研究部、せとうちミライラボなどの企画・実施を支援した。生徒の主体性や自己表現の機会を増やし、また、教職員・地域の企画関係者と意見調整を行い、学校と地域が相乗効果を発揮できる体制づくりを推進した。今後も地元住民との交流(ボランティア、イベント、公民館講座等)を通して、地元中学生の進学率の向上を目指す。

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画課	係名	企画振興係	担当者名	十倉
----	-----	----	-------	------	----

基本目標	2	項目	2-1-4
事業概要	〇町外の若者とともに地域課題に取り組む(地域おこし協力隊)		

会計区分	一般会計					会計名											
事業名	地域おこし協力隊																
施策の目的	都市圏などから本町へ移住し、集落の維持活性化に係る活動、地域行事に係る支援などを行いながら本町への定住・定着を図る事を目的とする。																
具体的な施策内容	・今後増加すると予想される空き家の利活用相談対応や、空き家調査を通して利活用可能な空き家の把握を行う。 ・利活用促進に向けての空き家調査、移住相談対応などを役場職員と連携して行うことにより、空き家対策と移住対応を一貫して対応できる体制を構築する。																
【経費内訳】																	
款	2	項	1	目	12	事業	3	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額			細節	費目名				金額			
1		報酬				2,502				一般財源				4,487			
3		手当				621											
8		旅費				305											
10		需用費				128											
11		役務費				122											
13		使用料				804											
26		公課費				5											
計						4,487			計						4,487		

重要業績評価指標 (KPI) R2～R6							
KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
協力隊の受入れ人数	目標	2	2	2	2	2	B
	実績	4	3	0	1	2	
協力隊の卒業後の定住率	目標	60%	60%	60%	60%	60%	A
	実績	87.5%	90.9%	87.5%	81.8%	81.8%	
卒業隊員の企業支援活用実績	目標	50%	50%	50%	50%	50%	D
	実績	50%	0%	66%	0%	0%	
【評価】							
今年度新たに、空き家・移住担当の協力隊を一名採用した。集落囑託員等と協力し、全集落を対象とした空き家調査を実施。利活用可能な空き家の把握、空き家持ち主に対して個別アプローチを進め、新規での空き家バンク登録件数が、4件となった(うち3件が入居済み)。移住支援についても、移住体験住宅の活用や、独自で企画したイベント等を通して、移住者数が4組9人となっている。							

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画課	係名	企画振興係	担当者名	野崎
----	-----	----	-------	------	----

基本目標	2	項目	2-1-4
事業概要	○地域おこしに取り組む町と就業体験を望む学生をマッチング		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	ワーキングホリデー		
施策の目的	離島での職業体験をしながら、島おこし活動を行い、島の魅力を捉えなおし、離島同士の繋がりや離島に活気と潤いをもたらすことを目的としている。		
具体的な施策内容	地域おこし活動に取り組む離島市町村と、離島でのインターンを希望する学生や移住希望者とをマッチングする。		

【経費内訳】

款	項	目	事業	(単位:千円)	款	項	目	節	(単位:千円)
歳出内訳					歳入内訳				
節	細節	費目名	金額		細節	費目名	金額		
		経費無し							
計			0		計			0	

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
転入者数(単位:人)	目標	446	452	458	464	470	B
	実績	417	432	469	504	477	

【評価】

本町と都心部の学生との重要な交流事業となり、離島部の現状を知ってもらうことや、若い視点でのアイディアによる地域活性化、将来の移住希望者、交流人口増へと繋がっていくことが考えられるため、今後も情報共有など積極的に関わっていく。

また、瀬戸内町での職業体験強化のためにもワーキングホリデーなどの事業を企画し、さらなる移住希望者、交流人口の獲得へと繋げていく。

R6年度は、独自に実施したワーキングホリデーに2名参加

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画課	係名	企画振興係	担当者名	渡邊
----	-----	----	-------	------	----

基本目標	1	項目	1-3-2	※事業No46と同(再掲)
事業概要	○町内へ企業誘致を実現するため職場環境のスペースを提供			

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	コミュニティデザイン形成事業		
施策の目的	「新たな生活スタイル」への転換のため、戦略拠点施設として整備したコワーキングスペースを活用し、町民の新たな働き方、ワーケーションを推奨し、人材交流による官民連携強化を図る。		
具体的な施策内容	指定管理者と連携を図り、利用者からのアンケートをとりながら、健全な施設運営を図り、企業や移住希望者に対し施設をPRし、域内事業所とのマッチングを図る。また施設内において、イベントを開催し町内での利用者増、交流を図る。		

【経費内訳】

款	2	項	1	目	12	事業	6	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額			細節	費目名				金額			
18		補助金				45,000				一般財源				4,500			
計						45,000			計						4,500		

重要業績評価指標(KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
利用する契約企業数(年間契約)	目標		3	4	4	4	B
	実績		4	9	9	8	
利用者数(延べ)	目標		270	1080	1560	1560	A
	実績		224	1503	1633	1916	

【評価】

チャレンジショップや講習会等のイベントを開催し、町内での認知拡大、利用者増を図り交流を促進し、利用者数についてはKPIを達成できた。

今後もイベント・講座等の開催を定期的に計画し、地域住民が気軽に訪れるきっかけを提供していく。また、島外の高校生や大学生向けのスタディツアーを実施し、地元高校生と交流する場としての活用や、関東圏のコワーキングスペース事業者とも連携し、利用者へアプローチしていきたい。引き続き、テレワーク・ワーケーション需要に対応する利便性の高い施設となるよう指定管理者との連携を図る。

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画課	係名	企画振興係	担当者名	渡邊
----	-----	----	-------	------	----

基本目標	2	項目	2-2-1
事業概要	○Wi-Fi環境の整備による入込客等の利便性の向上		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	空間リニューアル助成事業		
施策の目的	町内事業所等が所有する遊休資産等を新たな働き方や過ごし方に対応するべく、テレワーク施設または宿泊施設にリニューアルする経費の一部を助成することにより、本町への交流人口の拡大や地域内経済の好循環を目的とする。		
具体的な施策内容	R4年度までに事業を活用した事業者と、すこやか福祉センターHUBが連携し誘客や滞在促進に努める。		

【経費内訳】

款	項	目	事業	(単位:千円)	款	項	目	節	(単位:千円)
歳出内訳					歳入内訳				
節	細節	費目名	金額		細節	費目名	金額		
		経費なし							
計			0		計			0	

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
事業活用事業所数	目標	-	10	5	-	-	C
	実績	-	5	3	-	-	

【評価】

事業者との連携に向け、座談会を実施しヒヤリングを行い、コワーキングスペースの認知拡大に向け話し合った。すこやか福祉センターHUBのWebサイトに一覧リストを公開し、更なる連携強化を図る。今後、ワーケーションやモニターツアーを通して、町全体がワーケーション施設として機能できるよう連携を図る。

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	水産観光課	係名	観光振興係	担当者名	満 拓也
----	-------	----	-------	------	------

基本目標	2	項目	2-2-1
事業概要	○「あまみシマ博覧会」による島の自然・文化等の発信		

会計区分	一般会計	会計名															
事業名	あまみシマ博覧会																
施策の目的	奄美群島の魅力を奄美群島民・観光客に知ってもらい、国内外に広く情報発信をしてもらうことを目的とする。																
具体的な施策内容	奄美群島の自然や文化、人材を活用した様々なプログラムを博覧会型式のイベントとして奄美群島全域にて同時期に開催。																
【経費内訳】																	
款	7	項	1	目	3	事業	1	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額			細節	費目名				金額			
18	1	奄美群島観光物産協会負担金				2,787				一般財源				2,787			
計						2,787			計						2,787		

重要業績評価指標 (KPI) R2～R6							
KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
登録プログラム数	目標	15	20	20	20	20	C
	実績	13	14	16	18	11	
利用者数	目標	100	100	100	100	100	C
	実績	59	65	50	31	57	
【評価】							
着地型体験プログラムの商品化事業として、販売手数料が捻出できる価格・品質のプログラムを提供し、奄美群島の体験プログラム集として全国発信をした。また、航空機に搭載するなど、宣伝効果も大きいパンフレットの制作・配布と併せてオンライン化を推進し、予約の利便性を図ることによって、予約数の増加につなげた。 しかし、本町のプログラム登録は減少傾向であり、新規登録者やその利用者が少ない傾向にある。今後は、町HPや広報紙等を活用し、公式HPへの誘導を行うなど、利用者向け・事業者向けともに本事業の周知を図りたい。							

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画課	係名	企画振興係	担当者名	野崎
----	-----	----	-------	------	----

基本目標	2	項目	2-2-1
事業概要	〇都市圏での移住フェア等へ参加し移住相談を実施		

会計区分	一般会計	会計名															
事業名	首都圏等での移住相談会の参加																
施策の目的	奄美群島王壱岐事務組合を中心に大都市圏での移住相談会に毎年参加し、奄美群島の交流人口の拡大・定住の促進に取り組む。																
具体的な施策内容	・首都圏での移住相談会への参加 ・移住体験ツアーやフリー滞在プログラムへの参加																
【経費内訳】																	
款		項		目		事業		(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額			細節	費目名				金額			
		経費無し															
計						0			計						0		

重要業績評価指標 (KPI) R2～R6							
KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
移住体験住宅利用世帯数	目標	10	10	11	11	12	B
	実績	7	4	11	9	15	
移住体験住宅利用者の移住世帯数	目標	1	1	1	2	2	B
	実績	1	2	4	0	2	
【評価】							
●令和6年度実績(奄美群島全域の数) ・首都圏での移住相談会:15組21名 ・移住体験ツアー:3回 ・フリー滞在プログラム:16組32名 奄美群島広域事務組合を中心に奄美群島全域での移住支援を進め、今後も各事業等の参加者に対し瀬戸内町への移住・定住に向けた情報を発信していく。 今後も移住相談会への参加や情報発信を強化し移住者確保へと繋げていく。							

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画課	係名	企画振興係	担当者名	十倉
----	-----	----	-------	------	----

基本目標	2	項目	2-2-1
事業概要	○住居・生活・仕事をサポート(U10ターン支援情報提供事業)		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	U10ターン支援情報提供事業		
施策の目的	奄美群島の活性化に向けた定住・交流人口拡大のため、奄美群島一体となったU10ターン支援を移住希望者等に対して行う。		
具体的な施策内容	1. ねりやかなやHPによる情報発信 2. 問い合わせ窓口の一本化 3. 移住体験ツアーの開催 4. オンライン移住相談会の実施 5. フリー滞在プログラムの実施		

【経費内訳】

款	2	項	1	目	12	事業	1	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額			細節	費目名				金額			
18	1	奄美群島広域事務組合負担金				187				一般財源				187			
計						187			計						187		

重要業績評価指標(KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
転入者数(単位:人)	目標	446	452	458	464	470	B
	実績	417	421	469	504	477	

【評価】

奄美群島の課題として、若年層を中心とした人口流出及び高齢化が著しく、経済規模の縮小や担い手不足による産業の衰退が懸念されるとともに、維持・存続が危ぶまれる集落の問題が顕著化しており、地域の活性化を図るため、移住者受け入れ体制を今後も継続して整備することが必要である。

また、移住希望者は、南の島への関心があるのであって行政区域の意識は無いことが多く、奄美群島全体として移住支援を進めていく必要性から広域事務組合を中心に奄美群島U10ターン支援協議会を設置し、情報発信の一元化や官民協働を推進していく。

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	水産観光課	係名	観光振興係	担当者名	満 拓也
----	-------	----	-------	------	------

基本目標	2	項目	2-2-2
事業概要	○本町でしか味わえない体験をととした着地型滞在型観光		

会計区分		会計名	
事業名	奄美らしい滞在型・着地型観光推進事業		
施策の目的	旅行者を対象とした、プレミアム商品券(20%付与)を販売することにより、購入者への満足感と町内消費を活性化し、本町の観光推進に繋げ、購入者へアンケート調査を行うことにより、本事業の更なるブラッシュアップが期待でき、観光客の増加・定着を目指す。		
具体的な施策内容	せんとうち旅得券を発行		

【経費内訳】

款		項		目		事業		(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額			細節	費目名				金額			
		経費なし															
計						0			計						0		

重要業績評価指標 (KPI) R2～R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
プレミアム商品券発行数	目標	1,900	1,900	1,900	1,900	1,900	D
	実績	1,900	1,900				

【評価】

実施した令和2～3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響が残る中ではあるが、全国各地から旅行者が体験活動や宿泊・飲食などでプレミアム商品券を活用し、購入者への満足感と町内消費の活性化を図ることができた。

自己評価に関しては、コロナ交付金を活用した事業は令和3年度で終了し、令和6年度は未実施であるためDとしている。

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画課	係名	企画振興係	担当者名	野崎
----	-----	----	-------	------	----

基本目標	2	項目	2-2-2
事業概要	○本町に移住を希望する者に住宅を提供(移住体験住宅)		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	移住体験住宅		
施策の目的	瀬戸内町に移住等を希望する方が、シマでの生活体験ができる移住体験住宅を利用することにより、移住・定住の促進や集落の活性化に資することを目的とする。		
具体的な施策内容	移住体験住宅の場所:嘉鉄・押角(各1戸) 移住体験住宅の使用期間:最低1週間から最長2カ月 移住体験住宅の使用料:1泊2,300円 1カ月57,000円 ※水道光熱費を含む		

【経費内訳】

款	2	項	1	目	17	事業	10	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額			細節	費目名				金額			
10		需用費				257			6	移住体験住宅使用料				766			
11		役務費				29				一般財源				5			
12		委託料				295											
13		使用料及び賃借料				190											
計						771			計						771		

重要業績評価指標(KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
移住体験住宅利用世帯数	目標	10	10	11	11	12	B
	実績	7	4	11	9	15	
移住体験住宅利用者の移住世帯数	目標	1	1	1	2	2	B
	実績	1	2	4	0	2	

【評価】

●令和6年度実績

・利用者:15世帯33名(嘉鉄:10世帯25名 押角:5世帯8名) ・移住者:2組5名

●令和6年度は嘉鉄(285日)、押角(113日)、稼働し、利用世帯数も増え、移住につながった。今後も、移住相談会への参加や情報発信を強化し移住者確保へと繋げていく。

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	水産観光課	係名	観光振興係	担当者名	満 拓也
----	-------	----	-------	------	------

基本目標	2	項目	2-2-2
事業概要	○戦跡や白糖工場跡などを活用した文化・歴史の発信		

会計区分		会計名	
事業名	奄美歴史浪漫探訪整備事業		
施策の目的	大河ドラマ「西郷どん」放映を機に全国から奄美大島が注目されたことに伴い、奄美大島5市町村の歴史や関連する資源を活用した周遊ルートの整備を行い来島する観光客に提供することで、観光客の満足度向上と各市町村への経済波及効果を図る。		
具体的な施策内容	奄美大島5市町村で歴史をめぐる周遊ルートを作成。それに伴い久慈水溜跡・久慈白糖工場跡に案内板、解説版を設置する。		

【経費内訳】

款		項		目		事業		(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額			細節	費目名				金額			
		経費なし															
計						0			計						0		

重要業績評価指標 (KPI) R2～R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
ルート整備数	目標	0	5	5	5	5	D
	実績	0	5	0	0	0	

【評価】

H30年度にルート・パンフレットを作成。令和3年度に案内板、解説版を設置した。
 本町では、幕末・明治の歴史、浪漫をめぐるルートを作成し、久慈白糖工場跡、水溜跡に案内標識、解説版を設置。また、島の玄関口である奄美空港・名瀬港・古仁屋港(せとうち海の駅)に可動式の総合案内板及びパンフレットを設置した。今後は戦跡等も含めて、観光資源としての活用を図りたい。
 なお、本事業は令和3年度に終了しているため、令和6年度の自己評価としては未実施のDとしている。

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	社会教育課	係名	生涯学習係	担当者名	鼎 丈太郎
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	2	項目	2-2-2	※3-2-3 事業No.127と同じ (埋蔵文化財を把握し内容・価値に応じて適切な保存・活用)
事業概要	○戦跡や白糖工場跡などを活用した文化・歴史の発信			

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	埋蔵文化財調査費(戦跡や白糖工場跡などを活用した文化・歴史の発信)		
施策の目的	本事業は、瀬戸内町内の埋蔵文化財を把握し保護・活用することを目的とする。 また、確認された遺跡は、開発事業との円滑な調整のみでなく、郷土教育や各種事業等にも活用し、地域の活性化を図る資源として活かすことも目的としている。		
具体的な施策内容	本事業では、瀬戸内町内の埋蔵文化財の分布や内容を把握し、遺跡の保護・活用及び開発事業との調整を行っている。また、『奄美大島要塞跡』が国史跡になったことから、関係機関と連携・協力し、情報の共有化を図りながら、より良い調査・保存・活用方法の検討にも努めている。令和6年度は、これまでの調査成果を基に、久慈・瀬相・呑之浦の国史跡の追加指定を目指し、文化庁へ意見具申を行った。		

【経費内訳】																		
款	10	項	5	目	4	事業	1	(単位:千円)	款	14	項	2	目	5	節	3	(単位:千円)	
歳出内訳									歳入内訳									
節	細節	費目名				金額			細節	費目名				金額				
1		報酬・手当				4,473			001	文化財保護事業(埋蔵文化財緊急調査)				1,759				
4		共済費				472				一般財源				5,386				
7		報償費				240												
8		旅費				792												
10		需用費				380												
12		委託料				495												
13		使用料及び賃借料				293												
計						7,145			計						7,145			

重要業績評価指標 (KPI) R2～R6							
KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
埋蔵文化財の広報 ※R6の10講座/年に向けて段階的に設定 ※R3は、コロナ及び報告書作成の為講座減	目標	6	7	8	9	10	A
	実績	6	3	15	14	30	

【評価】

●令和6年度は、これまでの近代遺跡（戦争遺跡等）調査や文献史料の成果をまとめ、得られた調査成果を、開発事業の円滑な調整や郷土教育等で活用した。
(KPI：講座・発表等12件、案内・現地調査18件 合計30件)
また、地籍謄本の取得や地権者を調べ同意を取得し、国史跡の追加指定（久慈・瀬相・呑之浦）に対する意見具申書を文化庁へ提出した。
令和6年度の施策の目的は、概ね達成することができた。

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画課	係名	産業立地係	担当者名	田原
----	-----	----	-------	------	----

基本目標	2	項目	2-2-2	※事業No.47と同(再掲)
事業概要	〇農泊や農業体験をととしたインバウンド(農山漁村整備事業)			

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	農泊推進型施設整備事業		
施策の目的	瀬戸内町久慈集落及び近隣集落(以下「本地域」という。)への交流人口拡大を目指すため、本地域独自の自然景観・文化、農林水産物や水産加工品等、様々な地域資源を十分に活かした取組による宿泊・食事・体験メニューを提供することを目的に、本地域にある旧久慈小中学校を改修し、活動拠点として整備する。		
具体的な施策内容	宿泊施設及び食事処等を整備するための工事(新築及び改修)の実施また、工事の施工に伴い、進捗を監理するため設計事業者に監理業務の委託。		

【経費内訳】

款	2	項	1	目	18	事業	4	(単位:千円)	款	14	項	2	目	1	節	1	(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額			細節	費目名							
12	1	工事管理業務委託料				1,727			19	農山漁村振興交付金					47,750		
14	1	農泊推進型施設整備				156,700			14	辺地債					108,400		
										一般財源					2,277		
計						158,427			計						158,427		

重要業績評価指標(KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
売上高(万円)	目標						
	実績	R 7 より運用開始					
延べ宿泊者数(人泊)	目標						
	実績						

【評価】

令和5年度に旧久慈小中学校を農泊事業(宿泊・食事・体験)に資する施設とするための設計が行われ、今年度改修工事が終了した。
今後久慈集落及び近隣集落(西方地区)における地域経済の活性化と文化伝統を担う人材の確保や、本施設を活動拠点とし、地域独自の自然景観・文化、農林水産物や加工品等、様々な地域資源を十分に活かした取組を行い、持続可能な地域づくりの実現を目指す。

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画課	係名	企画振興係	担当者名	渡邊
----	-----	----	-------	------	----

基本目標	2	項目	2-2-3	※事業No.7と同(再掲)
事業概要	〇多言語による情報提供やコミュニケーションの向上			

会計区分	一般会計					会計名											
事業名	奄美群島広域事務組合負担金（地域通訳案内士事業）																
施策の目的	観光人材のインバウンド対応能力（接客能力、業務改善能力など）を高め、観光サービスの質を向上させることにより、訪日外国人旅行者等の地域への誘客・長期滞在や消費拡大へ繋げる。																
具体的な施策内容	①奄美群島広域事務組合主催の研修を実施。（通訳案内士、語学、ホスピタリティ、地元学、旅程管理、実地研修、救命研修） ②研修修了試験の実施 ③地域通訳案内士の登録 ④地域通訳案内士登録後も定期的なスキルアップ研修を実施																
【経費内訳】																	
款	2	項	1	目	12	事業	1	(単位:千円)	款	21	項	1	目	1	節	1	(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額			細節	費目名				金額			
18		負担金				5,598			2	(過疎債ソフト分)奄美群島成長戦略ビジョン				5,500			
										一般財源				98			
計						5,598			計						5,598		

重要業績評価指標 (KPI) R2～R6							
KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
就業者数 ※基準値 H 2 8→2,911人	目標	2,960	2,970	2,980	2,990	3,000	C
	実績		2,858				
事業所数 ※基準値 H 2 8→537事業所	目標	539	540	542	546	550	C
	実績		526				
【評価】							
当事業は奄美群島広域事務組合が群島内各市町村からの負担金によって行う奄美群島成長戦略ビジョン実現推進事業の一部である。平成28年に事業が開始されて以降、令和4年10月時点で地域通訳案内士登録者数は132名。 世界自然遺産となり奄美群島の豊かな自然と人々の生活で育まれた文化に関心が高まっている中、国際空港である成田空港及び関西国際空港からの直行便を活用した外国人観光客の増加が予想されている。この好機を着実に捉えるべく、外国人観光客に奄美群島の魅力を正しく伝えるスキルをもった奄美群島地域通訳案内士の活用など、受入体制の強化を広域事務組合と協力して行っていく。 ※KPI設定は、総合戦略におけるR6の目標値を設定。 実績数値は「令和3年度経済センサスー活動調査」を参考。(5年に一度の調査で、次回は令和10年度に令和8年度分を調査)							

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画課	係名	企画振興係	担当者名	渡邊
----	-----	----	-------	------	----

基本目標	2	項目	2-2-3
事業概要	○外国人を受け入れるための仕事や住居を関係機関と連携して支援		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	外国人人材の受入の取組		
施策の目的	世界自然遺産登録を契機として、外国人観光客がこれまで以上に本町にも訪れることが予想されるため、受入体制の強化が重要である。		
具体的な施策内容	R6年度において具体的な施策実施なし。		

【経費内訳】

款	項	目	事業	(単位:千円)	款	項	目	節	(単位:千円)
歳出内訳					歳入内訳				
節	細節	費目名	金額		細節	費目名	金額		
		経費なし							
計			0		計			0	

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
地域案内通訳士	目標	5					D
	実績	5					

【評価】

外国人の人材受け入れについては、現況では積極的な取組は実施していない。今後、働き手不足の緩和と町内産業の活性化を図るため外国人人材の受入に取り組む必要がある。
※R2のKPIは「地域通訳案内士」を提示していた。

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画課	係名	企画振興係	担当者名	野崎
----	-----	----	-------	------	----

基本目標	2	項目	2-3-1
事業概要	○空き家情報の登録(空き家バンク制度)		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	瀬戸内町空き家等情報登録制度(空き家バンク)		
施策の目的	空き家の賃貸又は売却を希望する所有者の物件を町HP等に掲載し周知を行い、利用希望者に紹介することで集落の人口増や活性化に繋げ、老朽危険家屋予備軍の減少にも資する事を目的とする。		
具体的な施策内容	・空き家所有者に情報を提供してもらい本町HP等で情報を公開 ・利用希望者が申込書を提出し、空き家所有者に情報を提供		

【経費内訳】

款	項	目	事業	(単位:千円)	款	項	目	節	(単位:千円)
歳出内訳					歳入内訳				
節	細節	費目名	金額		細節	費目名	金額		
		経費なし							
計			0		計			0	

重要業績評価指標(KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
空き家バンク登録物件数	目標	2	2	3	3	4	B
	実績	0	4	4	2	4	

【評価】

●令和6年度実績

登録物件数4件(賃貸4件) 成約件数3件(賃貸3件)

事業周知のため広報誌での情報発信や固定資産税納税通知書にチラシの同封などを実施した結果、空き家所有者への事業周知に繋がり、活用相談件数も増加した(25件)。今後も周知活動を継続し、空き家の利活用促進に繋げていく。

※活用相談があるが登記問題により空き家バンクに登録できない物件が多い。

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画課	係名	企画振興係	担当者名	渡邊
----	-----	----	-------	------	----

基本目標	2	項目	2-3-1
事業概要	○定住促進事業により将来にわたり本町での生活基盤を提供		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	定住促進対策事業		
施策の目的	本町への移住者が、町内に生活基盤を置くための施策を実施することにより定住促進を図り、集落の活性化及び人口減少抑制に資することを目的とする。		
具体的な施策内容	定住促進住宅設置場所(計5戸) ※R6年度で押角の1戸が契約終了 ・本島側:家賃20千円 ・加計呂麻側:家賃15千円 ・入居期間:最長12年間(令和10年3月末で全ての住宅の契約終了)		

【経費内訳】

款	2	項	1	目	17	事業	4	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額			細節	費目名				金額			
7		報償費				17			2	定住促進住宅使用料				945			
10		需用費				499											
計						516			計						945		

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
当住宅整備数	目標	8	7	7	7	5	A
	実績	8	7	7	7	5	

【評価】

- 令和6年度実績
- ・全5戸中5戸に入居済
 - ・定住促進住宅使用料945千円

当住宅に関しては、集落等支援対策強化事業の空き家活用事業に重点を移したため、住宅の契約終了に合わせて、持主へ返却予定である。

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画課	係名	企画振興係	担当者名	十倉
----	-----	----	-------	------	----

基本目標	2	項目	2-3-1
事業概要	○集落にある空き家を集落主体で改修するための経費を助成		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	集落等支援対策強化事業(空き家利活用)		
施策の目的	集落の維持継続や地域の活性化を図るため、集落が運営する定住促進のための住宅整備の経費に対する助成を実施する。		
具体的な施策内容	交付金1件あたり1,300千円を上限に、総経費の8/10以内の額を補助。 空き家の改修や民泊等施設への改修費用を助成。		

【経費内訳】

款	2	項	1	目	12	事業	1	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額			細節	費目名				金額			
17		集落等支援対策強化事業				4,756				一般財源				4,756			
計						4,756			計						4,756		

重要業績評価指標 (KPI) R2～R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
交付決定数	目標	2	2	2	2	2	A
	実績	5	4	4	5	4	

【評価】

●令和6年度実績 4件

これまでの実績として合計21件(薩川3件・西阿室3件・瀬武2件・池地2件・網野子2件・篠川2件・阿木名2件・節子・須手・西古見・請阿室・秋徳・節子)の空き家を改修し、今年度新たに4件(阿木名・節子・池地・勝能)改修された。

事業活用集落において地域活性化に資する事業となっており、今後も継続して空き家対策の展開を拡充し集落の活性化に繋げていきたい。

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	町民生活課	係名	児童母子係	担当者名	平瀬 雄二
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	2	項目	2-3-1	※事業No.108と同(再掲)
事業概要	○定住促進と切れ目ない子育て支援 (出産祝金・入学祝金「小学校・古仁屋高校」)			

会計区分	一般会計					会計名											
事業名	地域活性化定住促進事業(出産・入学祝金支給事業)																
施策の目的	【出産祝金】 本町に住所を有し居住している者の出産に対してこれを祝福し、出生児の健やかな成長に寄与するため、瀬戸内町出産祝金を支給する。町の将来の活力を支えていく子どもの出生を奨励することを目的とする。 【入学祝金】 小学校及び高校に入学された児童・生徒を養育している方に祝金を支給することにより、次代を担う児童・生徒の健全育成を目的とする。																
具体的な施策内容	【出産祝金】 50,000円×47名＝2,350,000円 【入学祝金】 小学校入学 50,000円×67人＝3,350,000円 高校入学 50,000円×34人＝1,700,000円 小計 5,050,000円 ※地方債は過疎ソフト債																
【経費内訳】																	
款	3	項	2	目	1	事業	1	(単位:千円)	款	21	項	1	目	2	節	2	(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額			細節	費目名							
19	1	扶助費				7,400			4	地方債							7,000
										(一般財源)							400
計						7,400			計						7,400		

重要業績評価指標 (KPI) R2～R6							
KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
子育て世帯の経済的負担軽減施策の満足度 ※アンケートはR6年度終了時に実施予定	目標					80%	C
	実績						
【評価】							
●切れ目ない支援と定住促進、地域活性化にもつなげ、満足度向上を目指す。							

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	建設課	係名	住宅・管理係	担当者名	濱畑
----	-----	----	--------	------	----

基本目標	2	項目	2-3-1
事業概要	○本町内の快適な住宅環境を保つため住宅リフォームを助成		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	住宅リフォーム等経済対策事業		
施策の目的	住宅のリフォーム工事等を行う者に対し、助成金を交付し、町民の居住環境の向上と住宅投資の波及効果による地域経済の活性化を図ることを目的とする。		
具体的な施策内容	・住宅のリフォーム工事等の費用が50万円以上の工事に対し、10万円を助成する。 (実績:20件)		

【経費内訳】

款	8	項	6	目	1	事業	1	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額			細節	費目名				金額			
18	2	補助金				2,000				(一般財源)				2,000			
計						2,000			計						2,000		

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
住宅リフォーム等経済対策事業の助成件数	目標	20	20	20	20	20	A
	実績	20	17	20	19	20	

【評価】

平成24年度より事業を実施しており、令和6年度末時点での実績件数は263件です。
現在、予定件数以上の申込み件数があり、また経済対策事業としても必要な事業であることから、今後においても継続していく考えであります。

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	保健福祉課	係名	介護福祉係	担当者名	津留 美智子
----	-------	----	-------	------	--------

基本目標	2	項目	2-3-1
事業概要	○地方移住を望む高齢者の希望実現(日本版CCRC)		

会計区分		会計名	
事業名			
施策の目的	生涯活躍のまち(日本版CCRC)の推進		
具体的な施策内容	現行の移住関連事業に高齢者向け施策を加える ・移住機能高齢者向け施策資料の作成、広報 ・集落や社会資本(サロン、各種教室、老人クラブ等)の資料作成、広報 ・効果的な高齢者施策を展開するために官民合不動の事務局の設置を検討。		

【経費内訳】

款	項	目	事業	(単位:千円)	款	項	目	節	(単位:千円)
歳出内訳					歳入内訳				
節	細節	費目名	金額		細節	費目名	金額		
		事業実施なし							
計			0		計			0	

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
転入者数	目標	447	453	459	465	470	D
	実績	417	432				

【評価】

事業未実施

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	保健福祉課	係名	保健予防係	担当者名	勝田 順也
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	3	項目	3-1-1
事業概要	○不妊治療の際に要した治療費及び交通費等を支援		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	離島地域不妊治療支援事業費、不妊治療支援事業		
施策の目的	町内に居住する特定不妊治療を受ける夫婦に対し、治療の際に要した治療費及び交通費等の一部を助成することにより、安心して子供を産み育てることのできる環境づくりを推進すると共に、不妊に悩む夫婦の精神的負担と経済的負担の軽減を図り、少子化対策に努めることを目的とする。		
具体的な施策内容	- 離島地域不妊支援事業費(交通費・宿泊費) 特定不妊治療に係る交通費の2/3を助成(1回の治療当たり9往復分を限度) " 宿泊費の2/3を助成(1回の治療当たり15泊を限度) - 不妊治療費支援事業費 特定不妊治療に係る治療費のうち鹿児島県不妊治療費助成事業の助成事業を控除した後の自己負担額の1/2を助成(20万円を限度) 一般不妊治療に係る治療費の1/2を助成(5万円を限度)		

【経費内訳】

款	4	項	1	目	3	事業	1	(単位:千円)	款	15	項	2	目	3	節	1	(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額			細節	費目名				金額			
18	2	92 離島地域不妊治療支援事業費				883			9	離島地域不妊治療支援事業費補助金				427			
18	2	138 不妊治療費支援事業				876				(一般財源)				1,332			
計						1,759			計						1,759		

重要業績評価指標(KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
助成事業利用延べ回数	目標	5	13	16	10	10	A
	実績	5	13	16	10	10	

【評価】

●本事業の実施により、町内に居住する夫婦の不妊治療が促進されると共に、精神的及び経済的負担の軽減が図られたと考える。

【実人数(10名) 延べ人数(15名)】

・離島地域不妊治療支援事業費(交通費・宿泊費) 助成額:882,589円
・不妊治療費支援事業費 助成額:875,690円

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	保健福祉課	係名	保健予防係	担当者名	勝田 順也
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	3	項目	3-1-1
事業概要	○安心した出産と乳幼児健康のため妊婦・乳幼児の健康を診査		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	妊婦・乳幼児健診		
施策の目的	町内に居住する妊婦の安心安全な出産及び、乳幼児の健康保持・増進のため健康診査を実施する。		
具体的な施策内容	・妊婦一般健康診査 ・乳幼児一般健康診査 ・乳幼児むし歯予防処置(2歳6ヶ月)		

【経費内訳】

款	4	項	1	目	3	事業	1	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額			細節	費目名				金額			
12	1	043妊婦乳幼児健康診査委託料				5,412				(一般財源)				5,412			
計						5,412			計						5,412		

重要業績評価指標(KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
助成事業利用延べ回数	目標	720	720	720	720	720	A
	実績	706	489	627	719	511	

【評価】

●町内に居住している妊婦及び乳幼児の健康管理の実施

妊娠・出産数の減に伴い利用者の減

・妊婦一般健康診査:受診実人数(71人) 受診延べ人数(511人)

・乳幼児一般健康診査:受診実人数(221人) 受信延べ人数(287人)

・乳幼児むし歯予防接種(2歳6ヶ月):受診実人数(36人)

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	保健福祉課	係名	保健予防係	担当者名	勝田 順也
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	3	項目	3-1-1
事業概要	○加計呂麻島・与路島・請島に居住する妊婦の健康診査を支援		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	離島地域出産支援事業		
施策の目的	町内加計呂麻島・与路島・請島に居住する妊婦に対し、健康診査を受けるため各離島から奄美大島本島までの一部を助成することにより、次世代の育成支援を目的とする。		
具体的な施策内容	加計呂麻島・与路島・請島から古仁屋港までの船代及び宿泊費の助成		

【経費内訳】

款	4	項	1	目	3	事業	1	(単位:千円)	款	15	項	2	目	3	節	1	(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額			細節	費目名				金額			
18	2	離島地域出産助成金				0				離島出産支援事業費補助金				0			
										(一般財源)				0			
計						0			計						0		

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
助成事業利用実人数	目標	10	10	10	10	10	
	実績	7	6	1	1	0	

【評価】

○本事業の利用者(対象者)がなかった。

(交通費) 実人員:0名 助成額: 0円
 (宿泊費) 実人員:0名 助成額: 0円

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	保健福祉課	係名	保健予防係	担当者名	勝田 順也
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	3	項目	3-1-1
事業概要	○妊婦が健康診査を受けるため必要な交通費等を支援		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	妊婦健康診査交通費交通費等支援事業		
施策の目的	町内に居住する妊婦に対し、健康診査を受けるため必要な交通費等の一部を助成することにより、次世代の育成支援を図る。		
具体的な施策内容	妊婦健康診査を受診する際の交通費及び宿泊費の助成		

【経費内訳】

款	4	項	1	目	3	事業	1	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額			細節	費目名				金額			
18	2	113 妊婦健康診査受診交通費等 支援事業助成金				982				(一般財源)				982			
計						982			計						982		

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
助成事業利用実人数	目標	80	80	80	80	70	B
	実績	74	48	50	63	51	

【評価】

妊婦世帯の経済的負担の軽減を図ることで、子育て環境の満足度向上に資する施策として実施した。今後も、切れ目のない支援の一つとして取り組んでいく考え。

<交通費>

実人員:51人

助成額:982,000円

<宿泊費>

実人員:0人

助成額:0円

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	保健福祉課	係名	保健予防係	担当者名	勝田 順也
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	3	項目	3-1-1
事業概要	○妊産婦の孤立感を解消するため産前・産後をサポート		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	相談支援(ママのほっとサロン)		
施策の目的	身近に相談できる者がいないなど、支援を受けることが適当と判断される妊産婦及び家族に対し、相談支援・情報提供・助言その他の支援を行う。		
具体的な施策内容	町内在住の妊婦さんと先輩ママ(およそ6ヶ月までのお子様のある方)との交流会を実施し妊娠・子育てへの不安を解消する。		

【経費内訳】

款	4	項	1	目	6	事業	2	(単位:千円)	款	14	項	2	目	3	節	1	(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額			細節	費目名				金額			
7	1	報償費				156			11	妊娠・出産包括支援事業費補助金				78			
										(一般財源)				78			
計						156			計						156		

重要業績評価指標(KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
参加延べ人数	目標	70	70	70	70	100	A
	実績	55	42	150	170	190	

【評価】

この事業を行うことで先輩ママとの情報交換により、初めての妊娠・初めての子育てにおける不安の解消に努めることができた考える。

実施回数:12回
実人数:74人
延べ人数:190人

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	保健福祉課	係名	保健予防係	担当者名	勝田 順也
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	3	項目	3-1-1
事業概要	○母子の居宅を訪問し、母体・乳児のケアを実施(産後ケア)		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	産後ケア事業		
施策の目的	退院直後の母子に対して心身のケアや育児のサポート等を行い、産後も安心して子育てができる支援体制の確保を目的とする。		
具体的な施策内容	助産師による母子の居宅を訪問し、母体及び乳児の心身のケアを実施するとともに育児指導を行う。		

【経費内訳】

款	4	項	1	目	6	事業	2	(単位:千円)	款	14	項	2	目	3	節	1	(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額			細節	費目名				金額			
12	1	産後ケア業務委託料				864			11	妊娠・出産包括支援事業費補助金				432			
										(一般財源)				432			
計						864			計						864		

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
助成事業利用実人数	目標	60	60	60	60	80	A
	実績	49	55	70	83	72	

【評価】

本事業の実施により、母体の及び乳児の心身のケアを行い、安心して子育てを行う環境づくりができたと考える。

助産師による居宅訪問 実施件数:72件
産後ケア宿泊型 利用者:3人

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	町民生活課	係名	児童母子係	担当者名	平瀬 雄二
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	3	項目	3-1-1
事業概要	○子どもの疾病の早期発見・治療を支援(子ども医療助成)		

会計区分	一般会計	会計名																			
事業名	子ども医療費助成事業																				
施策の目的	窓口での個人負担分を助成することにより子育て世帯の負担軽減を図り、健康の保持推進を図る。子どもの疾病の早期発見と早期治療を促進し、子どもの健康の保持増進を図るため、子どもの保健診療に係る医療費の一部を助成する。																				
具体的な施策内容	乳幼児医療費助成金 11,989,611円 児童・生徒医療費助成金 8,851,604円 子ども医療給付事業助成 2,588,402円 【登録者】乳幼児医療費助成 327人 児童・生徒医療費助成512人 子ども医療給付事業助成 181人 合計1,008人 【延べ件数】乳幼児医療費助成 4,116件 児童・生徒医療費助成3,617件 乳幼児医療給付事業助成 1,024件 合計 8,757件 ※地方債は過疎ソフト債																				
【経費内訳】																					
款	3	項	2	目	1	事業	1	(単位:千円)	款	15	21	項	2	1	目	2	2	節	3	2	(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳												
節	細節	費目名				金額			細節	費目名											
19	1	扶助費				23,429			28	県支出金								4,909			
									67	地方債								13,500			
										(一般財源)								5,020			
計						23,429			計						23,429						

重要業績評価指標 (KPI) R2～R6							
KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
子育て世帯の経済的負担軽減施策の満足度 ※アンケートはR6年度終了時に実施予定	目標					80%	C
	実績						
【評価】							
●乳幼児の医療費無料化の継続や子育て世代包括支援センターとの連携で切れ目ない支援につなげ、満足度向上を目指す。							

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	保健福祉課	係名	保健予防係	担当者名	勝田 順也
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	3	項目	3-1-1
事業概要	○養育支援が特に必要な家庭に訪問し養育指導助言を実施		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	養育支援訪問事業		
施策の目的	養育支援が特に必要な家庭に対して、その居宅を訪問し養育に関する指導・助言等を行うことにより、当該家庭の適切な養育の実施を確保することを目的とする。		
具体的な施策内容	乳幼児全戸訪問事業等により把握した保護者の養育を支援することが特に必要と認められる児童若しくは保護者または妊婦に対し、居宅にて養育に関する相談・指導・助言その他必要な支援を行う。		

【経費内訳】

款	4	項	1	目	6	事業	1	(単位:千円)	款	14	項	2	目	3	節	1	(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額			細節	費目名				金額			
12		母子保健指導委託料				264			6	子ども・子育て支援交付金 (県費含む)				214			
										(一般財源)				50			
計						264			計						264		

重要業績評価指標(KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
年間延べ人数	目標	37	37	37	37	37	A
	実績	8(実人員)	40	45	59	44	

【評価】

この事業を実施することで、居宅にて養育に関する相談・指導・助言その他必要な支援を行うことができたと考え。

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	町民生活課	係名	児童母子係	担当者名	平瀬 雄二
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	3	項目	3-1-1
事業概要	〇かごしま子育て支援パスポートで子育て家庭を応援		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	かごしま子育て支援パスポート事業		
施策の目的	事業に協賛する企業や店舗の御好意により、パスポートを提示されたご家族に、割引や独自の優待サービスなどを提供していただくことで、子育て家庭を地域全体で応援する仕組み。		
具体的な施策内容	瀬戸内町内の協賛店登録数 10店舗		

【経費内訳】

款		項		目		事業		(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額			細節	費目名							
		経費なし															
計						0			計						0		

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
参加店舗数	目標	20	12	15	17	20	C
	実績	10	9	9	10	10	

【評価】

●商工会と協力連携を図るとともに、様々な情報ツールを利用し、周知を図ることで協賛店舗数を増やしていく。

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	保健福祉課	係名	保健予防係	担当者名	勝田 順也
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	3	項目	3-1-1
事業概要	○上記、取組に対応するため「子育て世代包括支援センター」を開設		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	子育て世代包括支援センター設置		
施策の目的	子どもを安心して出産し、また、生まれた子どもが健やかに成長していけるよう、出産前から出産後、乳幼児期、さらにその先へと、切れ目のない支援を行うことを目的とする。		
具体的な施策内容	保健師等の専門職が、妊娠期から子育て期にわたるまでの母子保健や育児に関する妊産婦等からの様々な相談に応じ、その状況を継続的に把握し、支援を必要とする者が利用できる母子保健サービス等の情報提供を行うとともに、関係機関と協力して支援プランの策定などを行う。		

【経費内訳】

款	4	項	1	目	6	事業	1	(単位:千円)	款	15	項	2	目	3	節	1	(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額			細節	費目名				金額			
1〜3	1	報酬・給料・手当				6,305			11	子ども・子育て支援交付金 (県費含む)				7,074			
4	1	共済費				1,971				(一般財源)				1,415			
10	2	消耗品等				213											
計						8,489			計						8,489		

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
設置箇所数	目標	1	1	1	1	1	A
	実績	1	1	1	1	1	

【評価】

「子育て世代包括支援センター」を設置することで、出産前から出産後、乳幼児さらにその先へと切れ目のない支援を行うことができ、不安や心配事の解消に努めることができた考える。

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	社会教育課	係名	生涯学習係	担当者名	脇田 久美
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	3	項目	3-1-2
事業概要	○就学前の子どもをもつ保護者に子育て学習講座を実施		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	就学時子育て学習講座		
施策の目的	小学校入学前の子どもを持つ全ての親が参加する就学時健康診断の機会を利用して、子どもたちに「生きる力」の基礎的な資質や能力(あいさつ等の基本的生活習慣・生活能力、豊かな情操、他人に対する思いやり、善悪の判断、社会的なマナー、自制心や自立心など)を育むための家庭教育の在り方について考える機会を提供することにより、家庭の教育力再生を図る。		
具体的な施策内容	(対象)令和7年度小学校に入学される児童に保護者 (日程等)令和6年10月23日(水)きゅら島交流館(ホール) (講師)心理カウンセラー 若林 京子 氏 (演題)「子育ては、愛情と覚悟」 (内容)スキンシップの取り方や、話しの聞き方等、講師の経験や実体験に基づいた講話 (参加者)就学時健康診断54人の保護者のうち46人		

【経費内訳】

款	10	項	5	目	1	事業	1	(単位:千円)	款	14	項	2	目	7	節	3	(単位:千円)	
歳出内訳									歳入内訳									
節	細節	費目名				金額			細節	費目名				金額				
7	82	各種講座託児謝金				20				(一般財源)				29				
7	48	就学時子育て学習講座講師謝金				9												
計						29			計						29			

重要業績評価指標(KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
研修会の受講者数	目標	40	40	40	40	40	A
	実績	54	72	50	62	46	

【評価】

●毎年学習講座の時間帯に合わせ、託児を開設し、参加しやすい環境のため、ほとんどの保護者が受講されていました。各家庭でスキンシップを実践しようと感じる学びの場として良い機会になっていました。

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	社会教育課	係名	生涯学習係	担当者名	村田 典子
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	3	項目	3-1-2
事業概要	○未就学児の運動能力を向上(プレ・ゴールデンエイジ事業)		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	プレ・ゴールデンエイジ事業		
施策の目的	プレ・ゴールデンエイジとは脳や神経系が最も発達しやすい4歳～8歳頃の年代を指し、運動能力を身に付けるのに最適といわれるゴールデンエイジ(9歳～12歳頃)の前段階である。プレ・ゴールデンエイジの時期に多種多様な動きを体験し、楽しみながら身体を動かすことが、その後の運動能力の向上に大きく影響を与えているため、本事業は、4歳～6歳(未就学児)の子ども達に注目し楽しく安全に遊びながら、運動能力の発達を後押しすることを目的としている。		
具体的な施策内容	令和6年度 5月～12月 年7回実施 150名参加 清水体育館(プールは古仁屋中) 第1回 5月24日 かけっこ遊び 30名参加 第2回 6月14日 ダンス遊び 31名参加 第3回 7月27日 親子で水遊び(プール)10名 第4回 9月20日 新体操 19名参加 第5回 10月18日 マット運動・基本動作 15名参加 第6回 11月22日 すもう遊び 22名参加 第7回 12月13日 かけっこ遊び 23名参加		

【経費内訳】

款	10	項	6	目	1	事業	1	(単位:千円)	款	20	項	5	目	5	節	1	(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額			細節	費目名				金額			
7	1	外部協力者謝金				48			56	プレ・ゴールデンエイジ参加料				1			
										(一般財源)				47			
計						48			計						48		

重要業績評価指標(KPI) R2～R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
年間登録幼児数(人)	目標	40	40	40	40	40	A
	実績	52	41	42	42	41	

【評価】

●令和6年度は、年間7回の活動を行い、合計150名の参加があった。活動時は子どもたちも楽しみながら挑戦する姿がみられた。今後も、子ども達が安全に楽しく活動しながら、運動能力を後押しできるよう、内容等を工夫しながら継続していきたい事業である。

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	社会教育課	係名	生涯学習係	担当者名	岩永 由希子
----	-------	----	-------	------	--------

基本目標	3	項目	3-1-2
事業概要	○基本的な生活習慣リズムを定着(ラジオ体操せとうち選手権)		

会計区分	一般会計	会計名															
事業名	ラジオ体操せとうち選手権																
施策の目的	子ども達が健やかに成長していくためには、適切な運動とバランスのとれた食事、十分な睡眠が大切と言われています。 本町では、必要不可欠な基本的習慣と生活リズムの向上を目的に、ラジオ体操選手権を開催し、早寝・早起き・ラジオ体操・朝ごはんの定着を目指します。																
具体的な施策内容	保育園児～中学生までの参加率70%を目指す																
【経費内訳】																	
款	10	項	5	目	1	事業	1	(単位:千円)	款	14	項	2	目	7	節	3	(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額			細節	費目名				金額			
7	88	報償費				250				(一般財源)				250			
計						250			計						250		

重要業績評価指標 (KPI) R2～R6							
KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
ラジオ体操参加率(%)	目標	70	70	70	70	70	B
	実績	52	42	42	38	40	
【評価】							
●夏休みの間のラジオ体操開催においては、毎年各子ども会を中心に小学生の参加が多いです。 低年齢層(保育所、幼稚園を含む)は悪天候の影響等あるかと思われるが、中学生になると不参加が多いよう です。							

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	町民生活課	係名	児童母子係	担当者名	平瀬 雄二
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	3	項目	3-1-2
事業概要	○「新・放課後子ども総合プラン」により安全で安心な居場所を提供		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	放課後児童健全育成事業		
施策の目的	昼間保護者のいない家庭の小学校に就学している児童を対象に、授業の終了後に学校の空教室を利用して適切な遊び及び生活の場を与えることにより、児童の健全な育成を図る。		
具体的な施策内容	古仁屋児童クラブ 開所時間 平日 13:00～19:00 長期休暇 08:00～19:00 年間開所日数 295日間 児童数 45人		

【経費内訳】

款	3	項	2	目	1	事業	1	(単位:千円)	款	14 15	項	2 2	目	2 2	節	2 3	(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細 節	費目名				金額			細節	費目名							
18	2	補助金				8,246			3	国庫支出金					2,476		
									7	県支出金					2,476		
										(一般財源)					3,294		
計						8,246			計						8,246		

重要業績評価指標 (KPI) R2～R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
子育て世帯の経済的負担軽減施策の満足度 ※アンケートはR6年度終了時に実施予定	目標					70%	C
	実績						

【評価】

●国に準じた補助金交付により、社会資源を確保し、子育て支援に努め、さらに満足度向上を目指す。

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	社会教育課	係名	生涯学習係	担当者名	岩永 由希子
----	-------	----	-------	------	--------

基本目標	3	項目	3-1-2
事業概要	〇「新・放課後子ども総合プラン」により安全で安心な居場所を提供		

会計区分	一般会計					会計名											
事業名	放課後子ども教室																
施策の目的	安心・安全な子ども達の活動拠点(居場所)を設け、地域の方々の参画を得て、子ども達と共に勉強やスポーツ・文化活動、地域交流活動等の取り組みを推進する。																
具体的な施策内容	古仁屋小学校区・阿木名小学校区・嘉鉄小学校区・諸鈍小学校区の全児童生徒対象 令和6年度登録児童数 古仁屋教室57名・阿木名教室33名・嘉鉄教室12名・諸鈍教室12名 令和6年度参加延べ人数及び、開校日数 ・古仁屋教室(2216人/204日)・阿木名教室(2140人/209日) ・嘉鉄教室(1007人/110日) 　・諸鈍教室(1550人/199日)																
【経費内訳】																	
款	10	項	5	目	1	事業	1	(単位:千円)	款	15	項	2	目	7	節	2	(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額			細節	費目名				金額			
18	2	放課後子ども教室				6,092			2	かごしま地域塾推進事業補助金				713			
										(一般財源)				5,379			
計						6,092			計						6,092		

重要業績評価指標 (KPI) R2～R6							
KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
(古仁屋教室)登録者数(人)	目標	50	50	50	50	50	B
	実績	40	41	42	45	57	
(阿木名教室)登録者数(人)	目標	15	15	15	15	15	B
	実績	10	10	18	24	33	
(嘉鉄教室)登録者数(人)	目標	6	10	10	10	10	A
	実績	7	10	15	18	12	
(諸鈍教室)登録者数(人)	目標			10	10	10	B
	実績			10	8	12	
【評価】							
●地域の協力してくださる支援員方々のおかげで、4教室それぞれ特色ある活動を行えた一方で、支援員不足が課題となっている。チラシや広報紙等で募集し、数名の応募があった。							
●活動拠点については、公民館等を利用しているが、狭さや他の事業との兼ね合いもあり、4教室それぞれに課題がある。嘉鉄教室は、公民館と体育館の併用に加え、学校の協力により、曜日限定で校庭も使用している。							
●阿木名教室は、夏期休暇中の1日開校を勝浦公民館で実施した。							

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	社会教育課	係名	生涯学習係	担当者名	本田 基樹
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	3	項目	3-1-2
事業概要	○スポーツをとおして健康な体と心を養う(スポーツ少年団)		

会計区分		一般会計				会計名											
事業名		瀬戸内町スポーツ少年団連絡協議会															
施策の目的		スポーツ少年団の指導者及び母集団が「スポーツ少年団の理念」を理解したうえでスポーツ少年団を運営し、子ども達の健全育成に資することを目的とする。															
具体的な施策内容		・大島地区スポーツ少年団競技別交歓大会への参加 ・指導者の交流と資質向上を図る協議会及び養成講習会															
款	10	項	6	目	1	事業	1	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額		細節	費目名				金額				
18	2	スポーツ少年団連絡協議会育成補助金				991			(一般財源)				991				
計						991		計						991			

重要業績評価指標 (KPI) R2～R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
スポーツ少年団地域事業へのボランティア参加人数	目標	70	70	70	70	70	A
	実績	50	230	160	213	246	
大島地区スポーツ少年団競技別交換大会参加人数	目標	70	70	70	70	70	A
	実績	0	83	92	165	100	

【評価】

●各種大会や行事などへの参加を通してスポーツの楽しみや喜びを知り、協調性などを養うことが出来た。

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	社会教育課	係名	生涯学習係	担当者名	岩永 由希子
----	-------	----	-------	------	--------

基本目標	3	項目	3-1-2
事業概要	○学校教育やしつけに関わる講和・人権教育(家庭教育研修)		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	家庭教育研修会		
施策の目的	家庭教育・しつけにかかわる講話や人権教育に対する知識と理解を深めることで、家庭における教育機会の活性化を図る		
具体的な施策内容	(日程等) 令和6年6月2日(日)瀬戸内町きゅら島交流館 (参加数) 102人 (演 題) 「自分を信じ 寄り添う道を探り 生きる力を研ぐ」 (講 師) 神田 淳子		

【経費内訳】

款	10	項	5	目	1	事業	1	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額			細節	費目名				金額			
7	1	報償費				15				(一般財源)				15			
計						15			計						15		

重要業績評価指標(KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
講習会参加者数(人)	目標	60	60	60	60	60	A
	実績	0	58	157	106	102	

【評価】

●令和6年度は、数年ぶりに町主催の家庭教育研修会を開催した。
分かりやすく、心に届くような講話で定評のある講師に講話していただき、子どもの心が健康に育つために大切なポイントを、現代の子ども達の課題にも触れながら伝えていただいた。

多くの保護者に受講してもらえるよう託児所を設置し、各学校保護者・教職員・一般合わせ102名が受講した。アンケートを紙媒体、QRコードで実施し、66名が回答、回答率65%だった。

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	保健福祉課	係名	福祉係	担当者名	登島 純一
----	-------	----	-----	------	-------

基本目標	3	項目	3-1-3
事業概要	○島外での治療を必要とする障害児に療育旅費を助成		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	子ども通院費等助成事業扶助		
施策の目的	島外での治療を必要とする障害児と介護者に対して、鹿児島本島までの旅費の援助を行う。		
具体的な施策内容	対象は18才未満とし、船運賃に関しては1/2・航空運賃に関しては1/4を支給し1人当たり5回までとする。		

【経費内訳】

款	3	項	1	目	4	事業	1	(単位:千円)	款	15	項	2	目	2	節	2	(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額			細節	費目名				金額			
19	33	子ども通院費等助成事業				348			5	子ども通院費助成事業				157			
計						348			計						157		

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
申請者数	目標	5	5	5	5	5	A
	実績	10	6	7	6	8	

【評価】

島外での医療機関への通院等を必要とする8組の子どもと保護者、延17回、20人分の旅費の援助が出来、障害のある家庭の負担権限を図る事ができた。

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	町民生活課	係名	児童母子係	担当者名	平瀬 雄二
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	3	項目	3-1-3
事業概要	〇ひとり親家庭が安心して子育てを行うことができるよう支援		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	ひとり親家庭医療費助成事業		
施策の目的	母子父子家庭等の方々の生活の安定と健康の保持を図るために、医療費の自己負担分を助成する制度。対象者としてはひとり親家庭の父または母及び児童、父母のいない児童。		
具体的な施策内容	ひとり親家庭医療費助成金 3,560,906円 【登録者】 母子・母 91人 母子・児童 146人 父子・父6人 父子・児童 11人 父母のいない児童 3人 合計259人 【延べ件数】母子・母 533件 母子・児童 457件 父子 父29件 父子・児童 20件 父母のいない児童 10件 合計1,049件		

【経費内訳】

款	3	項	2	目	1	事業	1	(単位:千円)	款	15	項	2	目	2	節	3	(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額			細節	費目名							
19	1	扶助費				3,560			1	県補助金					1,780		
										(一般財源)					1,780		
計						3,560			計						3,560		

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
子育て世帯の経済的負担軽減施策の満足度 ※アンケートはR6年度終了時に実施予定	目標					70%	C
	実績						

【評価】

●0歳～18歳までのひとり親養育者への医療支援の継続や子育て世代包括支援センターとも連携することで、切れ目ない支援を実現し、満足度向上を目指す。

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	教委総務課	係名	総務係	担当者名	満尾 英明
----	-------	----	-----	------	-------

基本目標	3	項目	3-1-3
事業概要	○特別支援学級に就学する児童生徒の就学費用に係る支援		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	特別支援教育就学奨励費支給		
施策の目的	学校教育法第81条の規定による小学校又は中学校の特別支援学級に就学する児童生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、その負担能力の程度に応じ、特別支援学級への就学のために必要な経費について、その経費の一部を支給し、もって、特別支援教育の普及奨励を図る。		
具体的な施策内容	特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者に対し、学用品費・学校給食費等を支給(生活保護世帯及び準要保護世帯は除く)。		

【経費内訳】

款	10	項	2 3	目	2	事業	1	(単位:千円)	款	14	項	2	目	5	節	1 2	(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細 節	費目名				金額			細 節	費目名				金額			
19	1	特別支援教育修学奨励扶助(小)				483			7	特別支援教育就学奨励費補助金(小)				164			
19	1	特別支援教育修学奨励扶助(中)				346			7	特別支援教育就学奨励費補助金(中)				110			
										(一般財源)				555			
計						829			計						829		

重要業績評価指標 (KPI) R2～R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
子ども・子育て世帯の充実	目標		100	100	100	100	A
	実績		100	100	100	100	

【評価】

施策の目的を達成することができた。今後も継続して取り組んでいく。

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	町民生活課・保健福祉課・教育委員会	係名	児童母子係・保健予防係・教委総務係	担当者名	平瀬 雄二
----	-------------------	----	-------------------	------	-------

基本目標	3	項目	3-1-3
事業概要	○各関係機関と連携し児童虐待問題に迅速に対応		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	児童虐待問題対策事業		
施策の目的	子どもや家庭をめぐる問題は複雑・多様化しており問題が深刻化する前の早期発見、早期対応、子どもや家庭に対する細かな支援が重要となります。そのためにはそれぞれの分野の機関と連携を図り、各機関とネットワークを構築して、その活用を図ることが必要である。		
具体的な施策内容	それぞれの機関の制度や機能を相互に理解し「虐待かどうかわからないが、気にかかる子どもがいる。」というレベルの相談や情報共有が行われるよう、日頃から関係づくりをしておく。		

【経費内訳】

款	項	目	事業	(単位:千円)	款	項	目	節	(単位:千円)
歳出内訳					歳入内訳				
節	細節	費目名	金額		細節	費目名			
		R6は経費なし							
計			0		計			0	

重要業績評価指標 (KPI) R2～R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
子育て環境の満足度 (基準値H27→27.9%) ※アンケートはR6年度に実施	目標					45.0	C
	実績						

【評価】

●要保護児童対策地域協議会等を通じて、関係機関と連携をとりながら各個別のケースに対応する。

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	町民生活課	係名	児童母子係	担当者名	平瀬 雄二
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	3	項目	3-1-4	※事業No.85と同(再掲)
事業概要	○定住促進と切れ目ない子育て支援 (出産祝金・入学祝金「小学校・古仁屋高校」)			

会計区分	一般会計				会計名												
事業名	地域活性化定住促進事業(出産・入学祝金支給事業)																
施策の目的	【出産祝金】 本町に住所を有し居住している者の出産に対してこれを祝福し、出生児の健やかな成長に寄与するため、瀬戸内町出産祝金を支給する。町の将来の活力を支えていく子どもの出生を奨励することを目的とする。 【入学祝金】 小学校及び高校に入学された児童・生徒を養育している方に祝金を支給することにより、次代を担う児童・生徒の健全育成を目的とする。																
具体的な施策内容	【出産祝金】 50,000円×47名=2,350,000円 【入学祝金】 小学校入学 50,000円×67人=3,350,000円 高校入学 50,000円×34人=1,700,000円 小計 5,050,000円 ※地方債は過疎ソフト債																
【経費内訳】																	
款	3	項	2	目	1	事業	1	(単位:千円)	款	21	項	1	目	2	節	2	(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額			細節	費目名							
19	1	扶助費				7,400			4	地方債				7,000			
										(一般財源)				400			
計						7,400			計						7,400		

重要業績評価指標 (KPI) R2～R6							
KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
子育て世帯の経済的負担軽減施策の満足度 ※アンケートはR6年度終了時に実施予定	目標					80%	C
	実績						
【評価】							
●切れ目ない支援と定住促進、地域活性化にもつなげ、満足度向上を目指す。							

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	教委総務課	係名	総務係	担当者名	満尾 英明
----	-------	----	-----	------	-------

基本目標	3	項目	3-1-4
事業概要	○児童生徒の疾病の早期発見・治療を支援(児童生徒医療費助成)		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	要保護・準要保護児童生徒医療費扶助		
施策の目的	法令に定められた疾病に罹った要保護・準要保護児童生徒に対し、保護者の経済的負担を軽減するため医療費の一部を扶助し、もって義務教育の円滑な実施に資する。		
具体的な施策内容	学校保健安全法施行令第8条に定める疾病にかかった要保護・準要保護児童生徒の保護者に対し、医療費の一部を扶助する。		

【経費内訳】

款	10	項	2 3	目	2	事業	2	(単位:千円)	款	14	項	2	目	5	節	1 2	(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細 節	費目名				金額			細節	費目名				金額			
19	1	要保護児童医療費				0			3	要保護児童援助費補助金				0			
19	1	要保護生徒医療費				44			3	要保護生徒援助費補助金				0			
19	1	準要保護児童医療費				55			(一般財源)								
19	1	準要保護生徒医療費				24											
計						123			計						0		

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
子ども・子育て世帯の充実	目標		100	100	100	100	A
	実績		100	100	100	100	

【評価】

施策の目的を達成することができた。今後も継続して取り組んでいく。

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	教委総務課	係名	総務係	担当者名	満尾 英明
----	-------	----	-----	------	-------

基本目標	3	項目	3-1-4
事業概要	○児童生徒に対する就学支援・通学支援		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	準要保護児童生徒就学援助 ・ 児童生徒遠距離通学費補助金		
施策の目的	○準要保護児童生徒就学援助費 経済的理由によって、就学困難と認められる学齢生徒の保護者に対して、学用品購入費等の金銭給付を行い、就学援助の充実を図る。 ○児童生徒遠距離通学費補助金 この要綱は、本町における遠距離通学児童・生徒に対して通学援助費を支給することにより、義務教育の円滑な推進と、本町の小中学校存続対策を図る。		
具体的な施策内容	○準要保護児童生徒就学援助費 準要保護に認定された世帯に対し、国の基準により学用品費・学校給食費等を補助する。 ○児童生徒遠距離通学費補助金 瀬戸内町立小学校及び中学校の通学区域に関する規則第2条に定める児童及び生徒のうち、最も経済的な通常の経路及び方法により通学している者で、片道の通学距離が児童にあっては2km以上、生徒にあっては3km以上である者が対象。援助額は要保護・準要保護者は当該通学費の全額を、それ以外は当該通学費の1/2を補助する。		

【経費内訳】																	
款	10	項	2 3 1	目	2	事業	1	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額			細節	費目名				金額			
19	1	準要保護児童扶助				4,592				(一般財源)				11,440			
19	1	準要保護生徒扶助				3,727											
18	2	児童生徒遠距離通学費				3,121											
計						11,440			計						11,440		

重要業績評価指標 (KPI) R2～R6							
KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
子ども・子育て世帯の充実	目標		100	100	100	100	A
	実績		100	100	100	100	

【評価】

○準要保護児童生徒就学援助費
施策の目的を達成することができた。今後も継続して取り組んでいく。

○児童生徒遠距離通学費補助金
施策の目的を達成することができた。今後も継続して取り組んでいく。

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	教委総務課	係名	総務係	担当者名	満尾 英明
----	-------	----	-----	------	-------

基本目標	3	項目	3-1-4
事業概要	○児童生徒に対しての各種助成(検定試験・留学旅行等)		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	各種検定試験等受験助成		
施策の目的	各種検定試験を通じて児童生徒の学力向上・定着を図る。		
具体的な施策内容	学校長が推奨する各種検定試験を受ける児童生徒の保護者に対し、当該費用の一部を助成する。		

【経費内訳】

款	10	項	2 3	目	2	事業	2	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額			細節	費目名				金額			
18	2	各種検定試験等助成(小)				43				(一般財源)							
18	2	各種検定試験等助成(中)				261								304			
計						304			計						304		

重要業績評価指標(KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
子ども・子育て支援の充実	目標		100	100	100	100	B
	実績		100	100	40	40	

【評価】

令和6年度児童生徒数580人に対し、延べ171人が受験(英検受験延べ人数82人のうち、27人合格。漢検受験延べ人数62人のうち、40名合格)。各種検定試験は、学力向上・定着を図るための大きなきっかけのひとつとなっており、毎年学校へ当補助事業を周知しているが、学校によって温度差がある。今後も校長・教頭研修会等を通じて、更なる周知徹底を図っていきたい。

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	総務課	係名	危機管理係	担当者名	積
----	-----	----	-------	------	---

基本目標	3	項目	3-1-4
事業概要	○子どもの交通事故防止を図るため交通安全教室の実施		

会計区分		会計名	
事業名	子供の交通安全教育		
施策の目的	日常生活における交通安全に必要な事柄など、特に自転車等で安全に道路を通行するために必要な知識を身につけ、交通マナーを守り交通安全に配慮出来ることを目的とする。		
具体的な施策内容	交通安全運動期間における各種行事などを通して、交通安全に対する意識の向上に努めた。 (各種行事内容①交通安全運動出発式への参加②啓発活動においてドライバーヘチラン等を配布)		

【経費内訳】

款		項		目		事業		(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額			細節	費目名				金額			
		なし								なし							
計						0			計						0		

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
子育て環境の満足度	目標	30	35	40	45	47	D
	実績	-	-	-	-	-	

【評価】

・今後も各機関(瀬戸内警察署・地域交通課)他関係者と連携を図りながら、子供たちへの交通安全対策実施について取り組んでいきたい。

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	総務課	係名	危機管理係	担当者名	積
----	-----	----	-------	------	---

基本目標	3	項目	3-1-4
事業概要	○児童生徒の通学路等、交通安全対策のため防護柵を設置		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	交通安全施設工事		
施策の目的	通学路や生活道路が集中している区域に対して交通事故防止対策を講じる。		
具体的な施策内容	河川沿いに設置されている転落防止柵の経年劣化に伴い新たに防護柵を整備し、交通安全対策を講じた。(古仁屋中学校通学路付近の転落防止柵の取り替えを実施した)		

【経費内訳】

款	2	項	1	目	10	事業	2	(単位:千円)	款	11	項	1	目	1	節	(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳								
節	細節	費目名				金額		細節	費目名				金額			
14	1	交通安全防護柵				1,490			交通安全対策特別交付金				639			
									一般財源				851			
計						1,490		計						1,490		

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
子育て環境の満足度	目標	30	35	40	45	47	D
	実績	-	-	-	-	-	

【評価】

・本事業により、生活道路・児童生徒の通学路の安全が確保された。今後も危険箇所等の現況確認を行ったうえ事業を通し交通安全対策に努める。

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	総務課	係名	危機管理係	担当者名	積
----	-----	----	-------	------	---

基本目標	3	項目	3-1-4
事業概要	○夜間の防犯対策と青少年の健全育成(防犯灯設置事業)		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	防犯灯設置補助事業		
施策の目的	夜間における犯罪の未然防止と青少年の健全育成等のため、各地区へ防犯灯設置費の一部を補助する。		
具体的な施策内容	町内10の地区に対し、LED防犯灯設置に係る費用の一部を助成した。 (10地区 補助額 1,155,000円)		

【経費内訳】

款	2	項	1	目	11	事業	1	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額			細節	費目名				金額			
18	2	防犯灯設置事業				1,155				一般財源				1,155			
計						1,155			計						1,155		

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
子育て環境の満足度	目標	30	35	40	45	47	D
	実績	-	-	-	-	-	

【評価】

・本事業により、各地区の犯罪等の未然防止が図られ、住民の安全安心に、また薄暮時から夜間にかけて見通しの悪い場所等においても歩行者等の視認性向上に繋がった。今後も安全安心の町づくりのため本事業を推進していく。

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	社会教育課	係名	生涯学習係	担当者名	求 達也
----	-------	----	-------	------	------

基本目標	3	項目	3-1-4
事業概要	○夜間の防犯対策と青少年の健全育成(防犯灯設置事業)		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	瀬戸内町青少年健全育成推進会議		
施策の目的	推進会議は、各種機関団体が協力連携して町民の総意を集結し、行政に呼応し、行政に働きかけを行い、町民一体となって次世代を担う青少年の健全育成を図る。		
具体的な施策内容	推進会議は専門部会として、家庭教育部、育成部会、社会環境部を置き、更には実践活動を推進する町内7地区(古仁屋・西方・山郷・鎮西・実久・請島・与路)の地区推進会議を置き青少年活動を行っている。		

【経費内訳】																	
款	10	項	5	目	1	事業	1	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額			細節	費目名				金額			
7	71	専門部会活動謝金				30				(一般財源)				69			
7	72	地区会長活動謝金				0											
8	1	旅費				0											
10	5	印刷製本費				39											
計						69			計						69		

重要業績評価指標 (KPI) R2～R6							
KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
各専門部活動(%)	目標	100	100	100	100	100	C
	実績	50	50	50	50	50	
地区推進会議の活動(%)	目標	100	100	100	100	100	C
	実績	40	40	40	40	40	

【評価】
社会環境部では、「交通安全活動」について、警指会・スクールガード・学校支援事業関係ボランティアの交通安全活動を後押しする。 育成部会では、「標語看板の追加提案」について協議を行い、低コストでの設置を検討。関係担当課への設置について確認をする。 「伝統芸能文化の保存と継承活動の推進」に係る「格言カレンダー」の配布について、町内各小中学校が掲示している「格言カレンダー」が古い為、7年度補正予算により各小中学校へ配布する。

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画課	係名	企画振興係	担当者名	森
----	-----	----	-------	------	---

基本目標	3	項目	3-1-4
事業概要	〇結婚新生活支援により新婚世帯の経済的負担を軽減		

会計区分	一般会計	会計名															
事業名	結婚新生活支援事業																
施策の目的	婚姻に伴う新生活を経済的に支援し、若い世代の結婚の希望をかなえ地域における少子化対策の強化に資することを目的とする。																
具体的な施策内容	夫婦ともに29歳以下は、交付1件あたり、60万円を上限に、夫婦ともに39歳以下は、交付1件あたり、30万円を上限に支援。どちらも世帯合計所得500万円未満が対象。うち1/2(上限)程度が国庫補助。 事業内容を町の広報紙、町ホームページ・SNSを活用し、周知を行う。																
【経費内訳】																	
款	2	項	1	目	17	事業	1	(単位:千円)	款	14	項	2	目	1	節	1	(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額			細節	費目名				金額			
18	2	128_補助金				2,601			7	国庫補助				1,300			
										(一般財源)				1,301			
計						2,601			計						2,601		

重要業績評価指標 (KPI) R2～R6							
KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
子育て環境の満足度	目標	30%	35%	40%	45%	47%	D
	実績	—	—	—	—	—	
出生数	目標	70	71	72	73	75	C
	実績	74	51	50	65	49	
合計特殊出生率	目標	2.04	2.09	2.14	2.17	2.2	C
	実績	2.2	1.47				
【評価】							
当事業は、R6年度において、国交付基準の緩和に準じる形で支援実施し、交付件数も9件となり、平成29年からの交付延べ件数は33件となっている。 また、当事業は、「事業内容の周知の徹底」が重要となるため、全ての交付対象婚姻世帯へ情報提供できるよう、戸籍住民係と連携を図り、遺漏のないように取り組んでいる。 今後も、町民への情報発信については、庁内関係窓口連携して、取り組んでいきたい。							

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画課	係名	企画振興係	担当者名	森
----	-----	----	-------	------	---

基本目標	3	項目	3-1-4
事業概要	○結婚新生活支援により新婚世帯の経済的負担を軽減		

会計区分	一般会計	会計名															
事業名	結婚祝い食事券給付事業																
施策の目的	結婚・妊娠・出産・育児の「切れ目のない支援」のために実施する事業のうち、結婚に対する支援として、瀬戸内町において新規に婚姻した世帯を対象とし、婚姻に伴う新生活を経済的に支援する。																
具体的な施策内容	本町に住所を有し、婚姻届けを提出された方(ご夫婦)に対し、町内飲食店(利用可能店舗)でのみ利用できる、「結婚祝い食事券」を給付する。給付する食事券は、1枚1,000円を30枚(3万円分)とする。※有効期限は給付から半年 また、町内飲食店でのみ使用できる食事券を給付することによって、事業所への支援にもつながる。																
【経費内訳】																	
款	2	項	1	目	17	事業	1	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額			細節	費目名				金額			
7	1	1_結婚祝い食事券				381				一般財源				381			
計						381			計						381		

重要業績評価指標 (KPI) R2～R6							
KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
子育て環境の満足度	目標	30%	35%	40%	45%	47%	D
	実績	—	—	—	—	—	
出生数 ※R6の75人/年に向けて段階的に設定 ※県人口推計システムより	目標	70	71	72	73	75	C
	実績	74	51	50	65	49	
合計特殊出生率 ※R6の75人/年に向けて段階的に設定 ※奄美大島人口ビジョンを参考	目標	2.04	2.09	2.14	2.17	2.2	C
	実績	2.2	1.47				
【評価】							
令和3年度より本事業を実施してきたが、令和6年度をもって事業を終了とした。 当事業においては、町内に住所を有するほぼすべての新婚世帯が交付対象となるため、情報発信を徹底するべく、庁内関係窓口と連携し、遺漏のないように取り組んできた。 今後も、国庫補助事業(1/2)の「結婚新生活支援事業」と併せ、新婚世帯へのより良い支援・町内事業所支援として新たな取組を展開していきたい。							

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	町民生活課	係名	児童母子係	担当者名	平瀬 雄二
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	3	項目	3-1-5
事業概要	○地域で抱える保育ニーズにきめ細かく対応(地域型保育)		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	地域型保育給付事業		
施策の目的	事業所内保育施設や小規模保育事業施設等において,3歳未満児を対象に保育を行い,給付費等の支給に要する費用の一部を負担することにより,子どもが健やかに成長するように支援することを目的とする。		
具体的な 施策内容	負担金 社会福祉法人 潤生会保育園 36,000,000円 日本基督教団瀬戸内教会 かな保育園 41,691,240円		

【経費内訳】																	
款	3	項	2	目	1	事業	1	(単位:千円)	款	14 15	項	1 1	目	1 1	節	5 7	(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細 節	費目名				金額			細節	費目名							
18	1	負担金				77,691			2	国庫支出金						43,942	
									2	県支出金						15,415	
										(一般財源)						18,334	
計						77,691			計						77,691		

重要業績評価指標 (KPI) R2～R6							
KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
保育事業等の満足度 ※アンケートはR6年度終了時に実施予定	目標					80%	C
	実績						
【評価】							
●保育を希望するニーズ(特に3歳未満)に柔軟に応えられるよう、今後も民間事業者とも連携して取り組み満足度向上を目指す。							

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	町民生活課	係名	児童母子係	担当者名	平瀬 雄二
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	3	項目	3-1-5
事業概要	○急な用事に対応する子どもの一時預かり事業		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	一時預かり事業		
施策の目的	家庭において保育を受けることが一時的に困難となる乳幼児について、昼間一時的に預かり、必要な保護を行う。		
具体的な施策内容	NPO法人ママ・サポ・スマイル 開所日数 134日 延べ利用人数 190人 延べ利用時間 667時間		

【経費内訳】																	
款	3	項	2	目	1	事業	1	(単位:千円)	款	14 15	項	2 2	目	2 2	節	3 3	(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細 節	費目名				金額			細節	費目名							
18	127	補助金				2,263			3	国庫支出金					754		
									7	県支出金					754		
										(一般財源)					755		
計						2,263			計						2,263		

重要業績評価指標 (KPI) R2～R6							
KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
子育て世帯の経済的負担軽減施策の満足度 ※アンケートはR6年度終了時に実施予定	目標					70%	C
	実績						
【評価】							
●国に準じた補助金交付により、保護者の負担軽減及び乳幼児の健全育成に努め、さらに満足度向上を目指す。							

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	社会教育課	係名	生涯学習係	担当者名	村田 典子
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	3	項目	3-2-1
事業概要	○子ども会育成連絡協議会の活動をととした家庭学習の充実		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	瀬戸内町子ども会活性化プロジェクト ～田植え体験in勝浦～		
施策の目的	田植え体験により, 異年齢の子ども達との交流や親子での貴重な体験を通し, 故郷の自然を知る機会を提供する。		
具体的な 施策内容	令和3年度から開始事業 令和6年度活動実績 ① 4月27日(土)田植え作業 参加者36人 ② 草抜き作業 ③ 8月25日(日)稲刈り作業 参加者30人 ④ 脱穀作業 ⑤ 12月21日(土)子どももちつき大会 参加者39人 (主催:きゅら島交流館)		

【経費内訳】

款	10	項	5	目	1	事業	1	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額			細節	費目名				金額			
18	2	補助金				200				(一般財源)				200			
		※協議会予算から115,048円支出															
計						200			計						200		

重要業績評価指標 (KPI) R2～R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
青少年団体歩こう会への参加人数	目標	200	200	200	200	200	D
	実績	256	0	0	0	0	
田植え体験への参加人数	目標						
	実績				113	105	

【評価】

●田植えから稲刈り作業まで機械を使わず、手作業で行い、農家の大変さ、普段食べてるお米を作るのも大変な事だと痛感し、食のありがたさを実感した。

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	教委総務課	係名	総務係	担当者名	満尾 英明
----	-------	----	-----	------	-------

基本目標	3	項目	3-2-1
事業概要	○小規模校の学習支援(高度へき地学校児童生徒修学旅行費)		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	高度へき地修学旅行費扶助		
施策の目的	遠方に旅行することで普段と異なる生活環境に身を置き、見聞を広め、日本の歴史文化を理解し、よりよい人間関係を築くための集団生活のルールや公衆道徳心、保護者への感謝の気持ちを身につけさせ、心豊かでたくましく「生きる力」を備えた人材の育成を図る。		
具体的な施策内容	修学旅行費の一部扶助 小学生一人当たり25,000円、中学生55,000円		

【経費内訳】

款	10	項	2 3	目	2	事業	2	(単位:千円)	款	14	項	2	目	5	節	1 2	(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細 節	費目名				金額			細節	費目名				金額			
19	1	高度へき地学校児童修学旅行費(小)				1,456			4	高度へき地学校児童修学旅行費(小)				1,334			
19	1	高度へき地学校児童修学旅行費(中)				3,384			4	高度へき地学校児童修学旅行費(中)				3,114			
										(一般財源)				392			
計						4,840			計						4,840		

重要業績評価指標(KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
子ども・子育て支援の充実度	目標		100	100	100	100	A
	実績		100	100	100	100	

【評価】

施策の目的を達成することができた。今後も継続して取り組んでいく。

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	教育委員会総務課	係名	学校教育係	担当者名	高橋 進一
----	----------	----	-------	------	-------

基本目標	3	項目	3-2-1
事業概要	〇ICTによる学びの質や深まりを向上(電子黒板・タブレット)		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	GIGAスクール推進事業		
施策の目的	1人1台端末を授業をはじめ,様々な場面で活用することにより,児童生徒の情報活用能力を育むとともに,プログラミング教育の充実や情報モラルを育成する。		
具体的な施策内容	・授業におけるタブレット端末の効果的な活用 ・リモート授業や共同編集,表現活動の充実 ・タブレット端末を活用した家庭学習の推進		

【経費内訳】

款	10	項	2 3	目	1	事業	1	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額			細節	費目名				金額			
13	1	ソフトウェア使用料(小学校)				1,698				(一般財源)				2,590			
13	1	ソフトウェア使用料(中学校)				892											
計						2,590			計						2,590		

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
全児童生徒の授業や家庭でのタブレットの効果的な活用	目標		100%	100%	100%	100%	A
	実績		100%	100%	100%	100%	

【評価】

- ・授業等でタブレット端末の効果的な活用が図られている。
- ・離島を中心にリモート授業や共同編集等の実践が充実してきた。

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	教育委員会総務課	係名	学校教育係	担当者名	高橋 進一
----	----------	----	-------	------	-------

基本目標	3	項目	3-2-1
事業概要	○ALTの活用による国際理解教育と英語教育の推進		

会計区分	一般会計				会計名												
事業名	外国青年招致事業																
施策の目的	英語を母国語とする外国語指導助手(ALT)を2名配置することにより,児童生徒の外国語授業の充実や外国語に対する関心意欲を高める。																
具体的な施策内容	・ALT2名配置による授業の充実。 ・イングリッシュデイキャンプの実施																
【経費内訳】																	
款	10	項	1	目	3	事業	2	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額		細節	費目名				金額				
1	1	報酬				7,074			(一般財源)				9,038				
4	1	共済費				726											
8	1	普通旅費				353											
10	3	燃料費				74											
13	1	使用料及び貸借料				230											
18	1	負担金				581											
計						9,038		計						9,038			

重要業績評価指標 (KPI) R2～R6							
KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
未来に生きる確かな学力の取組	目標		100%	100%	100%	100%	A
	実績		100%	100%	100%	100%	
【評価】							
・児童生徒が,外国語に対し,興味や関心を高めることができる。 ・イングリッシュデイキャンプの講師として,児童生徒への外国語活動を充実させる。							

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	教育委員会総務課	係名	学校教育係	担当者名	高橋 進一
----	----------	----	-------	------	-------

基本目標	3	項目	3-2-1
事業概要	○加計呂麻島における児童生徒のためスクールバスを運行		

会計区分	一般会計			会計名													
事業名	スクールバス運営費																
施策の目的	加計呂麻島の西方地区の児童生徒の通学の便益と安全を図り, 学校教育の円滑な推進に資するため, スクールバスを運行する。																
具体的な施策内容	・伊子茂小中学校への登下校時の利用 ・水泳学習や集合学習等の学校行事の際に利用																
【経費内訳】																	
款	10	項	3	目	3	事業	1	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額			細節	費目名				金額			
10	3	需用費				539				(一般財源)				3,850			
10	6	修繕料				267											
11	2	手数料				14											
11	3	役務費				12											
12	1	委託料				3,000											
13	1	使用料及び賃借料				6											
26	1	公課費				12											
計						3,850			計						3,850		

重要業績評価指標 (KPI) R2～R6							
KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
通学の便益と安全	目標		16人	27人	23人	27人	A
	実績	15人	16人	27人	23人	27人	
【評価】							
・スクールバスの運行により, 児童生徒の安全確保や保護者の負担軽減につながる。 ・水泳学習や学校行事の際に利用し, 教育活動の円滑な実施, 充実につながる。							

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	社会教育課	係名	生涯学習係	担当者名	村田 典子
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	3	項目	3-2-2
事業概要	○自然体験、ボランティア活動、世代間交流活動の促進		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	青少年ふるさと美化活動		
施策の目的	青少年ふるさと美化活動は、町内全域を対象にし、青少年の心の教育及び環境教育の一環である。		
具体的な 施策内容	公民館やその周辺の清掃・除草など、地域ぐるみによる一斉清掃作業を実施している。		

【経費内訳】

款	項	目	事業	(単位:千円)	款	項	目	節	(単位:千円)
歳出内訳					歳入内訳				
節	細節	費目名	金額		細節	費目名	金額		
		R6は経費なし							
計			0		計			0	

重要業績評価指標 (KPI) R2～R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
青少年ふるさと美化活動への参加人数	目標	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	D
	実績	1,034	1,367	1,520	1,129	801	

【評価】

●今後も継続して実施し、世代間交流の創出や「世界自然遺産登録のまち」に居住している住民全体での美化意識が高揚されている。

※令和3年度よりKPI(指標名)を修正しています。

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	社会教育課	係名	生涯学習係	担当者名	求 達也
----	-------	----	-------	------	------

基本目標	3	項目	3-2-2
事業概要	〇地域の人々や団体が学校支援のため様々な支援活動を実施		

会計区分	一般会計	会計名															
事業名	古仁屋中学校区支援地域本部事業																
施策の目的	地域の人々や団体、企業等が学校支援ボランティアとなり、学校のニーズに応じた様々な支援活動を行うことで、地域全体で子どもを守り育てる環境づくりを推進する。																
具体的な施策内容	学校支援コーディネーターを配置し、学校からの要望を聞き、その課題解決の手助けをする。 ・学習支援 朝の読み聞かせ ・部活動支援 男子・女子バスケット、柔道、陸上、野球、ソフトテニス ・環境整備 ・登下校の安全指導 朝の交通安全指導ボランティアの派遣 ・学校行事支援 古仁屋小学校持久走支援																
【経費内訳】																	
款	10	項	5	目	1	事業	1	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額			細節	費目名				金額			
7	71	専門部会活動謝金				423				(一般財源)				423			
計						423			計						423		

重要業績評価指標 (KPI) R2～R6							
KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
学習支援(%)	目標	100	100	100	100	100	C
	実績	0	0	0	0	50	
環境整備(%)	目標	100	100	100	100	100	B
	実績	60	60	60	60	60	
登下校の安全指導(%)	目標	100	100	100	100	100	A
	実績	80	80	80	90	90	
【評価】							
●学校の要望に概ね対応し地域全体で子どもを守り育てる環境づくりを推進することが出来た。							
●学習支援の発掘が課題である。							

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	社会教育課	係名	生涯学習係	担当者名	屋田 卓也
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	3	項目	3-2-3
事業概要	○島口や八月踊りなど伝統文化を発表会等をとおして伝承		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	子ども島口・伝統芸能大会		
施策の目的	郷土教育の一環として、町内の小中学校においてそれぞれの地域の方言や文化・伝統芸能を授業の中に取り入れ、発表会等をとおして子どもたちの生まれ育ったふるさとの誇りと愛着心を育み、郷土の伝統・文化・風土の醸成を目的とする。		
具体的な施策内容	町内の児童生徒が、島口劇や地域に伝わる伝統芸能(三味線、島唄、八月踊り、太鼓)などの発表を行い、参加賞として図書券を贈呈する。 (参加対象) ・町内の児童生徒・学校職員・地域子ども会・地域の伝統芸能伝承者 (会場) ・瀬戸内町きゅら島交流館1階大ホール (参加団体) 13団体 (発表内容) ・島口 ・島唄・三味線 ・伝統芸能(豊年踊り、太鼓、八月踊り) (部門) ・島唄三味線部門 ・伝統芸能部門 ・島口部門		

【経費内訳】

款	10	項	5	目	2	事業	1	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額			細節	費目名				金額			
7	55	報償費				100				(一般財源)				232			
8	3	旅費				16											
13	1	使用料及び賃借料				116											
計						232			計						232		

重要業績評価指標(KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
大会への参加小中学校(学校数)	目標	13	13	13	13	13	A
	実績	0	13	12	13	13	
大会への参加児童生徒数(人)	目標	120	120	120	120	180	A
	実績	0	124	147	183	224	

【評価】

○町内の小・中学校から224名の児童生徒が参加した。
 ・地域の伝統文化を継承されている方々や高齢者の方々などの協力により伝統文化の継承活動として継続すべき活動であり、更なる発展に努めたい。

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	社会教育課	係名	生涯学習係	担当者名	鼎 丈太郎
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	2	項目	2-2-2	※2-2-2 事業No.78-2と同じ (戦跡や白糖工場跡などを活用した文化・歴史の発信)
事業概要	○埋蔵文化財を把握し内容・価値に応じて適切な保存・活用			

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	埋蔵文化財調査費(埋蔵文化財を把握し内容・価値に応じて適切に保存・活用)		
施策の目的	本事業は、瀬戸内町内の埋蔵文化財を把握し保護・活用することを目的とする。 また、確認された遺跡は、開発事業との円滑な調整のみでなく、郷土教育や各種事業等にも活用し、地域の活性化を図る資源として活かすことも目的としている。		
具体的な施策内容	本事業では、瀬戸内町内の埋蔵文化財の分布や内容を把握し、遺跡の保護・活用及び開発事業との調整を行っている。また、『奄美大島要塞跡』が国史跡になったことから、関係機関と連携・協力し、情報の共有化を図りながら、より良い調査・保存・活用方法の検討にも努めている。令和6年度は、これまでの調査成果を基に、久慈・瀬相・呑之浦の国史跡の追加指定を目指し、文化庁へ意見具申を行った。		

【経費内訳】																	
款	10	項	5	目	4	事業	1	(単位:千円)	款	14	項	2	目	5	節	3	(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額			細節	費目名				金額			
1		報酬・手当				4,473			001	文化財保護事業(埋蔵文化財緊急調査)				1,759			
4		共済費				472				一般財源				5,386			
7		報償費				240											
8		旅費				792											
10		需用費				380											
12		委託料				495											
13		使用料及び賃借料				293											
計						7,145			計						7,145		

重要業績評価指標 (KPI) R2～R6							
KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
埋蔵文化財の広報 ※R6の10講座/年に向けて段階的に設定 ※R3は、コロナ及び報告書作成の為講座減	目標	6	7	8	9	10	A
	実績	6	3	15	14	30	

【評価】

●令和6年度は、これまでの近代遺跡(戦争遺跡等)調査や文献史料の成果をまとめ、得られた調査成果を、開発事業の円滑な調整や郷土教育等で活用した。
(KPI：講座・発表等12件、案内・現地調査18件 合計30件)
また、地籍謄本の取得や地権者を調べ同意を取得し、国史跡の追加指定(久慈・瀬相・呑之浦)に対する意見具申書を文化庁へ提出した。
令和6年度の施策の目的は、概ね達成することができた。

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画課	係名	企画振興係	担当者名	森
----	-----	----	-------	------	---

基本目標	3	項目	3-2-3
事業概要	○大島紬着付け体験をととした伝統文化の継承		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	大島紬着付け体験事業		
施策の目的	奄美の伝統文化である大島紬の歴史・製法などを知り、実際に着てみることによって関心を深める。		
具体的な施策内容	本場奄美大島紬協同組合青年部の協力のもと、大島紬の歴史や製法種類について講話と大島紬の着付け体験を行う。		

【経費内訳】																	
款		項		目		事業		(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額			細節	費目名				金額			
		必要経費なし															
計						0			計						0		

重要業績評価指標 (KPI) R2～R6							
KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
大島紬着付け体験満足度 ※アンケート	目標	80%	80%	80%	80%	80%	A
	実績	90%	90%	90%	90%	90%	
【評価】 古仁屋高校生1学年(全員)が地域の大島紬事業者等と共同で進め、大島紬の歴史と伝統、現代のニーズを捉えた取組などを学んだ後、専門家の指導により、自ら着付けを行う中で、郷土の誇るべき大島紬について掘り下げて学ぶことができた。参加者は、ほぼこの事業に満足している。次年度以降も大島紬を柱に、地域に密着した体験学習や体験実習等に発展させていく考えである。							

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画課	係名	企画振興係	担当者名	森
----	-----	----	-------	------	---

基本目標	3	項目	3-3-1
事業概要	○職場や学校、地域において男女共同参画意識を浸透		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	男女共同参画事業		
施策の目的	町民一人ひとりが、個人としての尊厳が尊重されること、性別による差別的扱いを受けないこと及び家庭、地域、職場、学校その他社会のあらゆる活動において、個人として能力を発揮する機会が確保される社会の実現を目的として実施する。		
具体的な施策内容	①県・市町村男女共同参画行政担当者研修会参加 担当者×1名 ②県・市町村配偶者暴力相談支援センター・DV担当者研修会 担当者×1名 ③男女共同災害担当者会 担当者×1名 ④男女共同参画地域推進委員更新(1名更新、1名増員)・活動報告 ⑤「瀬戸内町男女共同参画推進総合計画」策定業務・4町村担当者会開催 ⑥広報誌に周知記事掲載(2か月に1回) ⑦男女共同参画関係研修会・グループインタビュー・懇話会開催 ⑧男女共同参画基礎講座開催・参加		

【経費内訳】

款	2	項	1	目	17	事業	1	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額			細節	費目名				金額			
1		報酬				109				一般財源				1,301			
8		旅費				92											
12		委託料				1,100											
計						1,301			計						1,301		

重要業績評価指標 (KPI) R2～R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
男女共同参画への意識醸成にかかわる研修会の実施や参加	目標	実施	実施	実施	実施	実施	A
	実績	実施	実施	実施	実施	実施	

【評価】

担当職員が各研修会へ参加し、基本的なことから理想社会へ向けての取組等に対する意識醸成を図ることができた。また、R6に向け新たな基本計画を、4町村(龍郷・大和・宇検・瀬戸内)合同で行い、各地域における課題などお互いに共有することができ、今後のより良い取組推進に繋がられるものとする事ができた。

広報誌での周知、啓発においては、今まで同様、隔月での記事掲載をとおして、町民への意識付けに繋がった。

今後も、「瀬戸内町男女共同参画推進総合計画」を基に事業を実施していく。

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	保健福祉課	係名	保健予防係	担当者名	勝田 順也
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	3	項目	3-3-2
事業概要	○配偶者等からの暴力の防止及び被害者を支援		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	DV被害者支援		
施策の目的	配偶者からの暴力等から早急に被害者を保護及び避難させることで、被害の拡大を防ぐことを目的とする。		
具体的な施策内容	DV被害に遭った方から相談があれば、保健師による相談内容の聞き取り、また警察や瀬戸内事務所と連携し被害者の保護に努める。 避難の必要がある場合は、避難先の手配を行う。		

【経費内訳】

款	項	目	事業	(単位:千円)	款	項	目	節	(単位:千円)
歳出内訳					歳入内訳				
節	細節	費目名	金額		細節	費目名	金額		
		経費無し							
計			0		計			0	

重要業績評価指標 (KPI) R2～R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
相談件数	目標	5	15		5	1	A
	実績	5	15		5	1	

【評価】

DV相談件数(虐待も含む): 1件
保健師による相談内容の聞き取りを行い、内容によっては警察の介入を含め避難を促し、被害の拡大を防ぐことができたと考える。

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画課	係名	企画振興係	担当者名	渡邊
----	-----	----	-------	------	----

基本目標	3	項目	3-3-2
事業概要	○配偶者等からの暴力対策庁内連絡会議を実施し情報を共有		

会計区分	一般会計	会計名															
事業名	“我が事・丸ごと”支え愛事業「住まい部会」																
施策の目的	チームせとうち“我が事・丸ごと”支え愛事業に「住まい部会」を設置し、住宅確保要配慮者等に対し支援を実施することで、一人ひとりの「住まいの安心確保」に繋げる。																
具体的な施策内容	空き家・空き店舗、遊休施設等の状況把握、情報を集約し、要配慮者や移住者への住宅確保を支援する。																
【経費内訳】																	
款		項		目		事業		(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額			細節	費目名				金額			
		経費なし															
計						0			計						0		

重要業績評価指標 (KPI) R2～R6							
KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
住まい部会の開催	目標	－	開催	開催	開催	開催	A
	実績	－	開催	開催	開催	開催	
居住支援協議会の設置	目標	協議開催	設置	運営	運営	運営	B
	実績	協議開催	未設置	未設置	設置	運営	
【評価】							
DV被害による住宅確保要配慮者について措置依頼があったが、部会内の連携により迅速に対応できた。今後住まい部会と、保健福祉課を主管として設置された居住支援協議会と連携し、住宅確保に配慮を要する方について、これまでどおり町所有の施設での対応を検討する事としている。対応が困難な場合は、協議会に賛同いただいた大家等を含め対応していく。							

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	総務課	係名	人事行政係	担当者名	勝田
----	-----	----	-------	------	----

基本目標	3	項目	3-3-3
事業概要	○管理職へ女性を登用し施策や方針の決定過程に参画を推進		

会計区分	一般会計	会計名															
事業名	女性職員の活躍推進																
施策の目的	多様な視点による新たな発想を入れ、活力ある社会を築くため、政策・方針決定過程への女性の参画拡大を推進する。																
具体的な施策内容	・1/31 特定事業主行動計画に伴うアンケートをもとに意見交換 ・3/26 男女共同参画トップセミナーのアーカイブ視聴・意見交換																
【経費内訳】																	
款		項		目		事業		(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額			細節	費目名				金額			
		必要経費なし															
計						0			計						0		

重要業績評価指標 (KPI) R2～R6							
KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
国県、民間企業、他団体等への女性職員の出向機会を積極的に確保	目標	1	1	1	1	1	B
	実績	2	1	1	3	0	
女性職員のキャリア形成の支援(女性職員研修の実施)	目標	1	1	1	1	1	B
	実績	2	2	1	1	2	
課長・課長補佐・係長の各役職段階における女性職員の人数を増やす	目標	10／94	10／96	10／96	11／96	12／96	B
	実績	8／94	8／96	6/98	6/97	7/95	
【評価】							
●出向機会が少ない要因として、女性職員の半数以上が専門職が多いということが考えられる。 ●6年度は、男女共同参画事業に伴い、研修を2回行った。しかし、これが役職昇級に直接影響するわけでは現時点ではない。しかし、今後の男女平等を鑑みたとき、女性職員自らキャリアを目指す意識向上が必要と考えられる。							

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	総務課	係名	人事行政係	担当者名	勝田
----	-----	----	-------	------	----

基本目標	3	項目	3-3-4
事業概要	○長時間労働の改善や育児・介護・年休の取得を推進		

会計区分	一般会計	会計名											
事業名	ワーク・ライフ・バランスの取組推進												
施策の目的	・私生活の充実による仕事の生産性の向上、人材確保及び優秀な人材の流出を防ぐ ・職員一人当たり・一月当たりの平均超過勤務20時間以下 ・育児休業の取得率男性30％、女性100％ ・年次有給休暇の取得日数15日以上												
具体的な施策内容	・出生サポート休暇制度の導入 ・超過勤務縮減を実現するために課内調整を行う。 ・同僚が休暇取得をしやすいう、皆で協力して職場を支えていく意識を持つ。 ・育児に関連した行事への参加など年次休暇を積極的に取得させるよう努める。												
【経費内訳】													
款		項	目	事業		(単位:千円)	款		項	目	節		(単位:千円)
歳出内訳							歳入内訳						
節	細節	費目名		金額			細節	費目名		金額			
		必要経費なし											
計				0			計				0		

重要業績評価指標 (KPI) R2～R6							
KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
職員一人当たり・一月当たりの平均超過勤務20時間以下	目標	20	20	20	20	20	A
	実績	6.2	7.6	8.1	8.9	8.2	
育児休業の取得男性10%、女性100%	目標	男10女100	男10女100	男10女100	男10女100	男10女100	B
	実績	男0女100	男0女100	男33女100	男0女100	男0女100	
年次有給休暇の取得日数15日以上	目標	15	15	15	15	15	A
	実績	12.4	12.7	13.4	15.5	15.0	
【評価】							
●不妊治療のみならず「妊娠に起因する症状」へも対応できるよう「出生サポート休暇」とすることで、更なる出生への支援により女性職員の確保及び優秀な人材の流出を防ぐことが期待できた。							
●超過勤務縮減については、職員一人当たり・一月当たりの平均超過勤務は8.2時間と目標を達成しているものの、年々時間外労働時間が増加傾向にある。今後も事業のスクラップ、事務の平準化、課内の協力体制を軸に対応していく。							
●育児休業取得については、制度の周知を図るも給与等に影響するため、男性職員の取得が進まない。							
●年次有給休暇の取得日数については、全職員年間5日間取得を最低基準とし、年次休暇の計画的な取得を図り、平均15.0日の取得ができた。今後も所属職員が相互にサポートしていく。							

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画課	係名	企画振興係	担当者名	十倉
----	-----	----	-------	------	----

基本目標	4	項目	4-1-1
事業概要	〇地域提案型事業を活用し住民参画と協働によるまちづくり		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	集落等支援対策強化事業(住民参加型)		
施策の目的	住民参画と協働により安心して住みやすいまちづくりを推進するため取り組む事業に対して交付する。		
具体的な施策内容	交付上限：1集落・団体 300千円 (補助率:9/10以内) 採択事例 ①集落内の景観を保全するための美化作業 ②子育て支援 ③文化芸能遺産等保存伝承整備 ④地域産業活性化支援 ⑤観光・交流支援 など		

【経費内訳】

款	2	項	1	目	12	事業	1	(単位:千円)	款	21	項	1	目	1	節	1	(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額			細節	費目名				金額			
17		集落等支援対策強化事業				5,707			6	過疎債ソフト				5,000			
										一般財源				707			
計						5,707			計						5,707		

重要業績評価指標 (KPI) R2～R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
交付決定数	目標	10	10	10	10	10	B
	実績	14	12	21	25	25	

【評価】

●令和6年度実績

25事業 交付決定合計額5,707千円

令和6年度は集落の美化作業や伝統芸能保存活動、町民向けのイベント開催等幅広い活動を支援し、地域活性化に繋がった。
 今後も事業を継続し各集落・団体等と連携しながら幅広い活用を促進していくことで、町全体の活性化等、持続可能な地域づくりに繋げていきたい。

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画課	係名	企画振興係	担当者名	渡邊
----	-----	----	-------	------	----

基本目標	4	項目	4-1-1
事業概要	○小さな拠点の形成を推進し利便性の高い地域づくりを構築		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	「小さな拠点」を核とした「ふるさと集落生活圏」形成促進事業		
施策の目的	人口減少・高齢化が進む集落の生活圏の維持・再生を推進するため、生活機能の再編・集約を行い、地域住民の生活安定と地域活性化の促進を図る。		
具体的な施策内容	・加計呂麻ターミナル施設整備 ・一般社団法人チーム西方(進捗中)		

【経費内訳】

款	2	項	1	目	18	事業	3	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額			細節	費目名				金額			
		建設課にて支出(加計呂麻ターミナル施設整備)								一般財源				1,600			
12		委託料(一般社団法人チーム西方)				1,600											
計						1,600			計						1,600		

重要業績評価指標(KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
生活環境の満足度	目標	20	25	30	35	40	D
	実績	-	-	-	19		

【評価】

加計呂麻ターミナル施設整備に関する取組を促進すると共に、山郷地区や西方地区をはじめ、各地区においても、地域活動等の維持確保を図るため集落の活性化及び地域コミュニティの維持を図る。

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	総務課	係名	危機管理係	担当者名	積
----	-----	----	-------	------	---

基本目標	4	項目	4-1-1
事業概要	○災害時に備え自衛隊と総合防災訓練などをとおして連携		

会計区分		会計名	
事業名	自衛隊との連携		
施策の目的	自衛隊との連携については、防災訓練などを通じて防災体制の連携・強化を図りながら災害時における災害復旧支援体制の確立に努める。		
具体的な施策内容	防災訓練において、各防災機関と災害対応合同訓練を実施し、災害発生時における応急対策等が迅速かつ的確に行われるよう連携を図った。		

【経費内訳】

款		項		目		事業		(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額			細節	費目名				金額			
		R6は、経費なし。															
計						0			計						0		

重要業績評価指標 (KPI) R2～R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
生活環境の満足度	目標	20	25	30	35	40	D
	実績	-	-	-	19		

【評価】

・今後もイベントや各訓練などを通じて、緊密な連携を図りながら防災体制の確立に努めていく。

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	総務課	係名	人事行政係	担当者名	勝田
----	-----	----	-------	------	----

基本目標	4	項目	4-1-1
事業概要	○本町の発展に寄与する全国の各郷友会との相互の連携		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	「チームせとうち」としての連携強化		
施策の目的	真の共生・協働によるまちづくりのため、町民・全国の郷友会・職員の連携強化を図る。		
具体的な施策内容	関西奄美会、関西瀬戸内会、関西古高会及び東京瀬戸内会等との意見交換会		

【経費内訳】

款	2	項	1	目	1	事業		(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額			細節	費目名				金額			
9		旅費								一般財源				247			
10		交際費				247											
計						247			計						247		

重要業績評価指標 (KPI) R2～R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
全国の郷友会総会等出席	目標	1	1	3	3	3	A
	実績	1	2	4	7	7	
集落豊年祭等出席	目標	0	0	1	10	10	B
	実績	0	0	0	9	6	
嘱託委員会の開催	目標	0	1	1	1	1	B
	実績	0	1	1	1	1	

【評価】

●令和6年度においては、各郷友会の総会等が開催する傾向となったため、関西奄美会、東京瀬戸内会、中部瀬戸内宇検会、関西古高会、九州古高会、関東古高会、関西瀬戸内会の総会等へ出席し、Iターン誘致のための農業支援等の町施策の説明及びふるさと納税等への協力依頼を行った。今後も全国の郷友会(出身者等)との連携強化に努める。

●集落豊年祭については、6年度は、台風による開催中止(9集落)が多かったため、出席数が減少した。

●嘱託委員会については、現在年1回4月下旬ごろに開催しているところである。

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	社会教育課	係名	生涯学習係	担当者名	泉 重行
----	-------	----	-------	------	------

基本目標	4	項目	4-1-1
事業概要	○多世代交流を図り文化継承・発展に寄与(瀬戸内町文化祭)		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	瀬戸内町文化祭		
施策の目的	学校生活、社会教育諸学級、団体・グループ等で文化活動に取り組んだ成果を持ち寄り、広く町民に発表することによって自己研鑽と文化底辺拡大を目指すとともに郷土の文化発掘、及び継承し、文化のまちづくりに寄与する。		
具体的な施策内容	瀬戸内町文化祭の開催		

【経費内訳】

款	10	項	5	目	1	事業	1	(単位:千円)	款	14	項	2	目	7	節	3	(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名					金額	細節	費目名					金額			
18	59	町文化協会補助金					450		(一般財源)					450			
計							450	計							450		

重要業績評価指標 (KPI) R2～R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
文化祭来場者数(人)	目標	1200	1200	1200	1200	1200	B
	実績	0	0	823	800	600	
展示部門出品者数	目標	23	23	23	23	23	A
	実績	0	0	22	22	23	
舞台発表出演者数	目標	23	23	23	23	23	A
	実績	0	0	23	24	21	

【評価】

●展示部門出品者数や舞台発表者数ともに、ほぼ目標を達成することが出来た。
 来場者数については、目標に遠く及ばなかった。その要因としては、目標の設定が高すぎることと、展示部門の会場を「きゅら島交流館」のホールとしたため、舞台発表時の座席数の減少が影響したと考える。
 なお、舞台発表時の会場には幅広い年齢層が来場し、終日満席状態ではあった。

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	商工交通課	係名	商工交通係	担当者名	竹畑 知世
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	4	項目	4-1-1
事業概要	〇様々なイベントをととして地域を活性化(商工会まつり)		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	令和6年度 瀬戸内町商工会運営費補助金		
施策の目的	町内商工業の振興及び発展を図るため、瀬戸内町商工会へ補助金を交付する。		
具体的な施策内容	1.町民の域内消費喚起の促進(プレミアム商品券の発行) 2.活気ある商店街の推進(商工会祭り等の実施)		

【経費内訳】

款	7	項	1	目	2	事業	1	(単位:千円)	款	21	項	1	目	5	節	1	(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額			細節	費目名				金額			
18	2	036 商工会運営費				2,100			1	過疎債ソフト				2,100			
18	2	126 プレミアム商品券事業				2,500				一般財源				2,500			
計						4,600			計						4,600		

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
商工会が計画する「地域経済活性化に資する取組」の事業数	目標	2	2	3	3	4	C
	実績	1	1	3	3	2	

【評価】

新型コロナウイルス感染症の影響も落ち着き、町内行事やイベントが再開されたことで、商工会祭りやその他の町内イベントへの協力により「地域コミュニティの担い手」として商工会の役割を果たすことが出来た。今後もイベントの開催や協力による「地域経済の活性化に資する取組」を引き続き実践する。

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	社会教育課	係名	生涯学習係	担当者名	脇田 久美
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	4	項目	4-1-1
事業概要	○若い力で地域に活力を与える青年団との連携		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	瀬戸内町青年団連絡協議会育成事業		
施策の目的	瀬戸内町内の青年団体や各種団体との相互連絡強化及び青年活動の場や地域社会貢献活動を通じて、青年団活動の振興と豊かな郷土の発展に寄与する。 また、次世代の地域の指導者・リーダーになる人材の発掘・資質向上に努める。		
具体的な施策内容	町内各種イベントの応援・協力や、大島地区青年団活動への参加		

【経費内訳】

款	10	項	5	目	1	事業	1	(単位:千円)	款	14	項	2	目	7	節	3	(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額			細節	費目名				金額			
18	57	町青年団連絡協議会育成補助金				100				(一般財源)				100			
計						100			計						100		

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
会員の地域ボランティア活動参加率(%)	目標	70	70	70	70	70	B
	実績	50	10	10	50	40	

【評価】

●(連合青年団)コロナ禍を期に年々会員の確保が困難で、ボランティア活動の人員確保が難しい状況にあるため、組織役員編成の必要がある。

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	社会教育課	係名	生涯学習係	担当者名	脇田 久美
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	4	項目	4-1-1
事業概要	○イベントやボランティアに協力くださる地女連との連携		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	瀬戸内町地域女性団体連絡協議会育成補助金		
施策の目的	「絆を大切にする地域活動をめざそう～人と人・誰もが取り残されない社会を～」というテーマを掲げ、単位女性の会の連絡強調を密にし、会員相互の親睦を図り、地域女性連絡協議会の発展に資し、明るく住みよい地域づくりに貢献する。		
具体的な施策内容	子育て支援や各種イベントでの協力等、さらには環境対策などの活動		

【経費内訳】

款	10	項	5	目	1	事業	1	(単位:千円)	款	14	項	2	目	7	節	3	(単位:千円)	
歳出内訳									歳入内訳									
節	細節	費目名				金額			細節	費目名				金額				
18	58	地域女性団体連絡協議会育成補助金				407				(一般財源)				407				
計						407			計						407			

重要業績評価指標 (KPI) R2～R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
会員の地域ボランティア活動等の参加率(%)	目標	70	70	70	70	70	A
	実績	70	88				
研修会・講習会への参加率(%)	目標	70	70	70	70	70	A
	実績	70	49				

【評価】

町全体を見守り、子どもからお年寄りまでサポートしていただいている安定した団体であり、町になくてはならない存在。自走し、安定した組織で通年通、活動している。

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	農林課	係名		担当者名	
----	-----	----	--	------	--

基本目標	4	項目	4-1-1
事業概要	〇ふるさと応援寄付金を活用して地域振興を実施		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	ふるさと応援基金事業		
施策の目的	瀬戸内町ふるさと応援基金(ふるさと納税)に寄附していただいた方へ、本町特産品等を返礼することにより瀬戸内町を全国へPRするとともに、町内事業所の活性化を図る。		
具体的な施策内容	ふるさと納税専門サイトを利用し、寄附者増を図るとともに全国へ本町特産品等をPR。 〇ふるさと納税サイト(ふるさとチョイス・さとふる・楽天・ANA・ふるなび・JRE・旅先納税amazonふるさと納税・KABU&ふるさと納税) 〇JTbによるポータルサイトの活性化と適正管理		

【経費内訳】																	
款	2	項	1	目	19	事業	1	(単位:千円)	款	17	項	1	目	2	節	1	(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額			細節	費目名							
1		報酬				3,390				寄附金							157,301
3		職員手当等				858				繰入金							50,000
7		報償費				58,873											
8		旅費				504				(一般財源)							46,529
10		需用費				759											
11		役務費				657											
12		委託料				880											
13		使用料及び賃借料				30,608											
24		積立金				157,301											
計						253,830			計						253,830		

重要業績評価指標 (KPI) R2～R6							
KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
寄付金件数	目標	5,000	5,000	5,500	5,500	6,000	C
	実績	3,300	3,100	3,495	5,796	5,277	
寄付額(千円)	目標	165,000	165,000	200,000	220,000	250,000	C
	実績	76,307	73,418	77,931	144,853	157,301	
【評価】※重要(“D”を踏まえ、次年度(R4)以降の事業実施にどう活かすか?など)							
寄附金件数:5,227件(前年度5,796件) 寄附額157,301,000円(前年度144,853,000円) 寄付金額は前年度比108.5%であった。 町内各事業者へ声掛けし、返礼品登録数502品目、返礼品登録事業者数51事業者の増に努め、また新たに「旅先納税」「amazonふるさと納税」「KABU & ふるさと納税」の3サイトを追加した。 更に全国の郷友会及び古高会への参加や、せとうち創生プロモーターの緑健児氏のご提案によるふるさと納税説明会の実施を行い、PRを行った。 今後も引き続き返礼品の掘り起こしや、全国へのPRを行っていきたい。							

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	社会教育課	係名	生涯学習係	担当者名	本田 基樹
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	4	項目	4-1-1
事業概要	○コミュニティ助成事業による地域コミュニティ形成を支援		

会計区分	一般会計	会計名															
事業名	コミュニティ助成事業																
施策の目的	一般財団法人自治総合センターは、宝くじの社会貢献広報事業としてコミュニティ活動に必要な備品や集会施設の整備等に対して助成を行い、コミュニティ活動の充実化を図ることで住民福祉の向上に努める。																
具体的な施策内容	●令和6年度は2ヶ所の団体へコミュニティ助成対応を実施した。 ○嘉鉄集落会 会議用テーブル・折り畳みイス・テント・テレビ等 ○佐知克集落会 ブロー成型テーブル・折り畳みイス・テント・掃除機																
【経費内訳】																	
款	10	項	5	目	1	事業	1	(単位:千円)	款	20	項	5	目	5	節	1	(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額			細節	費目名				金額			
18	2	コミュニティ助成事業費補助金				5,000			100	一般コミュニティ助成金				5,000			
計						5,000			計						5,000		

重要業績評価指標 (KPI) R2～R6								
KPI(指標名)			R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
コミュニティ助成事業	目標	100	100	100	100	100	100	A
	実績	100	100	100	100	100	100	
【評価】								
●集落施設が地域運営組織の拠点である為、その施設内のコミュニティ活動に必要な備品等を整備した。								
●コミュニティ活動に必要な備品の整備により、運営や、生涯学習、青少年育成などの充実・強化更に地域の連帯感意識の高揚が図られ、安全性や利便性の向上により福祉の向上と民生の安定が期待できる。								

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	水産観光課	係名	水産振興係	担当者名	禧久 幸太
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	4	項目	4-1-2
事業概要	○希少種や自然を保全する(サンゴ礁、ノネコ・外来種駆除)		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	サンゴ礁保全対策事業		
施策の目的	オニヒトデの食害を最小限にとどめている安脚場、デリキョンマ崎海域のオニヒトデ、シロレイシガイを定期的に駆除することで、世界的にも多様性で高い評価を受けているサンゴ礁の保全を図る。		
具体的な施策内容	瀬戸内漁業協同組合に安脚場、デリキョンマ崎海域のオニヒトデの駆除及び実久海域、デリキョンマ崎、安脚場、黒崎海域のモニタリングを委託し、サンゴ礁海域の保全を図る。		

【経費内訳】																	
款	6	項	3	目	1	事業	2	(単位:千円)	款	15	項	2	目	4	節	1	(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額			細節	費目名				金額			
12	01	068_(奄振)サンゴ礁保全事業委託料				5,806				(奄ソ) サンゴ礁保全対策事業費補助金				3,870			
										一般財源				1,936			
計						5,806			計						5,806		

重要業績評価指標 (KPI) R2～R6							
KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
サンゴ礁被度がH28と比較して5%以上、上昇した箇所数の増加	目標	1	1	1	1	1	B
	実績	0	2	1	1	1	
サンゴ礁被度H28比で5%以上、低下した箇所数の減少	目標	1	1	1	1	1	B
	実績	0	0	0	0	1	
サンゴ礁被度H28比で新たに60%以上となる箇所数の増加	目標	1	1	1	1	1	B
	実績	1	1	1	1	0	
【評価】							
R6年度は海水温の上昇で白化による部分死滅は見られたものの、被度の変化はあまりなかった。R6年度から増殖事業で50本の杭に採捕したサンゴを設置し、追跡調査をしたところ、49本の成長が確認できた。							

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	町民生活課	係名	生活環境係	担当者名	城山 隆志
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	4	項目	4-1-2
事業概要	○希少種や自然を保全する(サンゴ礁、ノネコ・外来種駆除)		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	(奄振)ねこ対策事業		
施策の目的	希少動物を捕食するノネコの森林内からの排除とノネコの発生源であるノラネコのTNR事業を行う事業。		
具体的な施策内容	負担金 ノネコ対策事業(ノネコ一時保管施設運営費ほか) 2,292千円 ネコ対策協議会(協議会運営費・ノラネコTNR事業ほか) 7,584千円		

【経費内訳】

款	4	項	1	目	10	事業	3	(単位:千円)	款	15	項	2	目	3	節	3	(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額			細節	費目名				金額			
7		報償費				83			1	県支出金				6,432			
10		需用費				241				(一般財源)				4,049			
12		委託料				281											
18		負担金				9,876											
計						10,481			計						10,481		

重要業績評価指標(KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
生活環境の満足度 ※(H30→12.7%)	目標	20	25	30	35	40	D
	実績	-	-	-	19		

【評価】

本事業は、奄美大島本島内の5市町村で組織する奄美大島ネコ対策協議会を基に主な事業を推進しています。本町単独の事業として古仁屋市街地のTNR事業や、加計呂麻地区におけるTNR事業の助成を行っています。独自の事業を推進することによって、ノネコの発生源対策に効果を上げています。

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	水産観光課	係名	世界自然遺産せとうち町対策室	担当者名	川畑 公一
----	-------	----	----------------	------	-------

基本目標	4	項目	4-1-2
事業概要	○希少種や自然を保全する(サンゴ礁、ノネコ・外来種駆除)		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	持続可能な自然環境形成事業		
施策の目的	コロナ拡大防止期において自粛せざるを得ないエコツアーガイドや観光業事業者等の世界自然遺産登録後の観光業充実化に向けて、希少種の分布状況の把握、外来種駆除や調査及び希少種観察ルート調査・モニタリング、地域住民等へ情報共有や啓発活動を実施を行い、自然環境生態系の保全と魅力向上を図り、終息期において美しい自然資源を有効活用した自然体験型観光メニュー利用の満足度向上により観光客の誘客・滞在促進を目的とする。		
具体的な施策内容	1 実施計画策定 ①ツアーガイドや観光業者、専門家と連携協議し計画及び参加者作成リスト 2 植物の希少種分布調査 ①ツアーガイドや専門家と連携協力して町内の希少植物を中心とした分布調査の実施 ②調査した希少種の分布図作成 3 特定外来生物及び緊急対策外来生物の問題把握と希少種に与える影響調査 ①令和2年度に作成された外来種分布図と作成する希少種分布図の比較と影響把握の実施 ②令和2年度に実施された外来種の防除モニタリングの確認及び防除の実施 4 自然体験ルートの調査と啓発活動 ①希少種等や山を利用し安全も考慮したガイド付ルートの調査 ②地域住民参加型の啓発活動の実施 5 モニタリングと報告 ①影響把握の考察のレポート作成 ②自然体験ルートのマップ作製		

【経費内訳】																	
款	2	項	1	目	15	事業	1	(単位:千円)	款	14	項	2	目	1	節	2	(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額			細節	費目名				金額			
12	1	委託料				3,549			6	特定外来生物防除等対策事業交付金				1,774			
										一般財源				1,775			
計						3,549			計						3,549		

重要業績評価指標 (KPI) R2～R6							
KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
町内の特定・緊急外来種の分布調査を行う	目標	町内一円	町内一円	町内一円	町内一円	町内一円	B
	実績	町内一円	町内一円	町内一円	町内一円	町内一円	
調査した町内の特定・緊急外来種の駆除を行う	目標	30ヶ所	30ヶ所	30ヶ所	30ヶ所	30ヶ所	B
	実績	30ヶ所	30ヶ所	30ヶ所	30ヶ所	30ヶ所	
外来種分布マップ作成 (R2) 希少種分布パンフレット作成 (R3) 外来種駆除、自然体験ルート調査 (R4)	目標	5,000	5,000	5,000			D
	実績	5,000	5,000	5,484			
【評価】							
令和2～3年度にかけて、国立公園及び町内一円における外来植物の侵入状況の調査や駆除、地域住民等への啓発活動を実施したことにより、自然環境や生態系の保全を図ることができ、希少種分布の調査及びパンフレット作成やツアーガイド事業者等の雇用促進を図ることができた。令和4年度は外来種の駆除等を引き続き実施し、自然体験ルートの調査や設定などを行った。							
令和5年度以降は、令和2～4年度に実施したデータを基により効果的な特定外来種の駆除事業を環境省の交付金を活用し実施継続している。特定外来種の駆除において最重要なのは、モニタリングとその継続性である。今後も交付金等を可能な限り活用しながら、本町の自然環境と生態系の保全に注力していきたい。							
なお、マップやパンフレット作成及びルート調査については、コロナ交付金を活用しR4年度までに事業を完了したため、R6年度の自己評価としては未実施のDとしている。							

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	水産観光課	係名	世界自然遺産せとうち町対策室	担当者名	川畑 公一
----	-------	----	----------------	------	-------

基本目標	4	項目	4-1-2
事業概要	〇こども世界自然遺産博士講座による環境保全の啓発		

会計区分		会計名	
事業名	こども世界自然遺産博士講座		
施策の目的	身の周りの自然や動植物と触れ合いながら学ぶことによって、自然保護の心を育むとともに、「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」世界自然遺産登録に興味を持ち、自ら考え行動できる児童生徒を育成する。		
具体的な施策内容	令和2年度 21名参加 年7回実施し、世界自然遺産について、ロードキル、身近な自然(油井岳・高知山)を探検しよう夜の動物に会いに行こう、ハブ、TNRって何?、外来種バスターズになろう!、バードウォッチングに行こう!、講座で学んだことを発表しよう。など 令和3～4年度は新型コロナウイルスの感染拡大に伴い中止。		

【経費内訳】

款	項	目	事業	(単位:千円)	款	項	目	節	(単位:千円)
歳出内訳					歳入内訳				
節	細節	費目名	金額		細節	費目名	金額		
		経費なし							
計			0		計			0	

重要業績評価指標 (KPI) R2～R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
こども博士育成数	目標	20	20	20	20	20	D
	実績	21	0	21	0	0	

【評価】

平成28年度から実施し、令和2年度までに述べ108人が受講、80人がこども博士として認定となったが、令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止により本事業は中止となった。令和4年度には2回の講座を実施し、延べ21人が受講している。

令和5年度からは、町出前講座にて子ども達に対し世界自然遺産に関する講座を行い、奄美大島自然保護協議会が主催する屋久島への子ども自然遺産講座も継続している。今後も世界自然遺産や奄美の豊かな自然環境に興味をもち、自ら考え行動できる児童生徒の人材育成を図っていきたい。

令和6年度の自己評価としては、こども博士育成事業としては終了したため、未実施のDとしている。

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	水産観光課	係名	観光振興係	担当者名	満 拓也
----	-------	----	-------	------	------

基本目標	4	項目	4-1-2
事業概要	○奄美ならではの自然や文化に触れあえる奄美トレイルの整備		

会計区分		会計名	
事業名	奄美トレイル標識整備事業		
施策の目的	奄美群島固有の自然と文化への理解を促進し、島から島へと人を誘導、人と人の交流を深め、群島全体の活性化に寄与することを目的とする。		
具体的な施策内容	令和元年度～2年度に整備した奄美トレイル標識の維持管理、奄美せとうち観光協会やあまみ大島観光物産連盟でのトレイルマップ販売を行い、利用促進を図った。		

【経費内訳】																	
款		項		目		事業		(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額			細節	費目名				金額			
		経費なし															
計						0			計						0		

重要業績評価指標 (KPI) R2～R6							
KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
トレイルの整備	目標	41	41	41	41	41	D
	実績	41	84				
【評価】							
今後は、個人が自由にコースを歩くのはもちろんだが、ガイドウォークやツアーのひとつのプログラムとして組み込めるよう、島案内人協会と情報共有しながらトレイルルートの活用を図りたい。また、令和4年度に導入したE-bikeでのトレイルコース活用も進めていきたい。 本事業は令和3年度に事業を終了しているため、令和6年度の自己評価としては未実施のDとしている。							

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	水産観光課	係名	観光振興係	担当者名	米田 翔太郎
----	-------	----	-------	------	--------

基本目標	2	項目	2-1-2	※事業No.59と同。(再載)
事業概要	〇環境や文化に配慮したサステナブルツーリズムの実現			

会計区分	一般会計					会計名											
事業名	シェアサイクル事業																
施策の目的	シェアサイクルを利用することにより、加計呂麻島での時間を有効的に活用して、自分のスケジュールで自然を満喫出来るようになり、観光客の増加に繋がることを目的とする。																
具体的な施策内容	町直営で事業を実施。加計呂麻島に電動アシスト付自転車10台を3地点に配置した。瀬相待合所、生間待合所、加計呂麻島展示・体験交流館で貸し出しが可能であり、瀬相待合所と生間待合所については、フェリー受付窓口販売員に貸し出し業務を委託している。																
【経費内訳】																	
款	7	項	1	目	3	事業	5	(単位:千円)	款	20	項	5	目	5	節	1	(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額			細節	費目名				金額			
10	2	需用費（消耗品）				42			74	雑入（E-Bike使用料）				1,375			
10	6	需用費（修繕料）				319			152	雑入（E-Bike保険清算金）				154			
11	1	役務費（車両航送料）				5			163	雑入（E-Bike修繕料）				1			
11	1	役務費（運搬費）				1				一般財源				119			
11	3	役務費(保険料)				372											
12	1	委託料(メンテナンス)				528											
12	1	委託料(貸出業務)				369											
12	1	使用料及び賃借料(船舶借上料)				13											
計						1,649			計						1,649		

重要業績評価指標 (KPI) R2～R6							
KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
利用人数	目標	1,000	1,500	1,800	2,000	2,200	B
	実績	551	871	521	574	414	
【評価】							
総合戦略設定当初のシェアサイクル事業については、R3年度を持って終了し、R4年度からは新たな電動付アシスト自転車「E-Bike」を使用した事業を展開した。故障中であった車両も全て修繕を行い、請島・与路島・加計呂麻島・本島側、計26台の全車両を稼働できるよう改善を行った。今後も、本町の自然・文化に触れ、魅力発信を図るため、観光客や利用する方々の満足度を向上させていきたい。							

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画課	係名	産業立地係	担当者名	早川
----	-----	----	-------	------	----

基本目標	4	項目	4-1-3
事業概要	○世界の一員としての役割と責任(第5次長期振興計画の指針)		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	カーボンニュートラル推進事業		
施策の目的	本町の魅力と質が向上したうえでカーボンニュートラルが実現する将来ビジョンを描き、そこに至るシナリオを検討することを目的とする。単に温室効果ガスの排出量を削減するだけでなく、同時に地域課題の解決を目指し、町民一体となって温室効果ガス排出量の削減に取り組むための道筋を示す。		
具体的な施策内容	瀬戸内町ゼロカーボンシティ実現に向けた再エネ導入目標策定業務報告書に基づき西古見観光拠点施設(西古見GATE)へ太陽光発電及び蓄電池の導入を行う。		

【経費内訳】

款	2	項	1	目	20	事業	1	(単位:千円)	款	14	項	2	目	1	節	1	(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額			細節	費目名							
13	1	機器リース料				1,467			1	クリーンエネルギー自動車導入促進							550
17	1	備品購入費				2,722				(一般財源)							3,639
計						4,189			計						4,189		

重要業績評価指標(KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
生活環境の満足度 ※基準値(H30→12.7%)	目標	18.0%	24.0%	30.0%	35.0%	36.0%	D
	実績				19.0%		

【評価】

令和5年度に新設された西古見GATEは、「地域資源と最新テクノロジーを活用した新たな観光拠点施設」として太陽光発電設備・蓄電池設備(定置型)を導入し、令和6年度には、西古見GATEは避難所としての位置づけもあるため、各種災害発生などの非常時でも更に機能を十分に発揮できるようEV(動く蓄電池として利用可能)を導入し、地域レジリエンスの向上を図った。

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画課	係名	企画振興係	担当者名	渡邊
----	-----	----	-------	------	----

基本目標	3	項目	4-1-3
事業概要	○大学生等が持続可能な町づくりを提案(アクションアワード)		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	大学SDGsアクションアワード協賛事業		
施策の目的	アワードへ瀬戸内町(スタディー賞)を提供し、入賞した大学生がフィールドワークとして本町を訪れ学習する事で、町民へSDGs理念の醸成と浸透を図り、加えて関係人口・交流人口の増へ繋げる。		
具体的な施策内容	大学SDGsアクションアワードは、国連が掲げる「持続可能な開発目標」の達成を目指して活動する学生や若手研究者を支援するもので、朝日新聞が主催となり毎年開催されている。本町は、瀬戸内町賞(スタディー賞)として20万円を協賛金として支出し、この賞に入賞した学生が本町を訪れ、研究内容を実践し、本町の持続可能なまちづくりを提案する。		

【経費内訳】

款	2	項	1	目	17	事業		(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額			細節	費目名				金額			
18	1	大学SDGsアクションアワード協賛負担金				220				一般財源				220			
計						220			計						220		

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
受賞大学生の来町数	目標	5	7	10	10	10	D
	実績	15	0	2	2	1	

【評価】

本事業は平成30年度より実施しており、本年度で7回目である。大学生等による持続可能な町づくりを提案する企画を、本町で実施することにより、持続可能な町づくりへの取組とSDGsの理念の醸成、そして関係人口の増加を図ることを目的としている。今後も本事業(SDGs)を継続することで、世界自然遺産登録の環境へ考慮した取組自治体としてのPRと持続可能な町づくりへ向けての課題解決、並びに関係人口及び交流人口の増を図っていく。

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	保健福祉課	係名	地域支援係	担当者名	仁科 誠
----	-------	----	-------	------	------

基本目標	4	項目	4-2-1
事業概要	○多機関が連携し我が事・丸ごとで取り組む共生社会の実現		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	我が事・丸ごと支え愛事業(包括的支援体制構築事業)		
施策の目的	・福祉分野に限らず、保健医療、雇用、商工観光、農林水産業、教育などの地域の他分野・多機関が連携・協働し、複合化・複雑化した地域課題を包括的に受け止める総合的な相談支援体制を構築し、つながり・支えあう地域共生社会の実現を目指す。		
具体的な施策内容	・地域づくり推進会議 ・相談支援部会 ・住まい部会 ・しごと部会 ・生活支援コーディネーター連絡会		

【経費内訳】

款	3	項	1	目	8	事業	1	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額			細節	費目名				金額			
4		共済費				682				(一般財源)				915			
8		旅費				92											
11		役務費				141											
計						915			計						915		

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
資源開発	目標	30件	35件	35件	35件	35件	A
	実績	45	45	46	57	40	
ニーズと資源のマッチング	目標	50件	55件	60件	60件	60件	A
	実績	145	146	284	149	219	
助け合い活動ネットワーク構築	目標	40件	45件	45件	45件	45件	A
	実績	87	87	153	180	175	

【評価】

・地域の多様な生活支援サービスに係る社会資源を把握し、必要な情報発信や資源開発を行った。
 ・チームせとうち「我が事・丸ごと支え愛地域づくり推進会議」において、町内の困りごとを確認し、解決に向け取組を考える
 ・それぞれの部会ごとの会議等はまだまだ少ない回数でしか実施できなかったが、さまざまな課題に対して連携して対応した
 ・1層、2層の生活支援コーディネーターで定期的に会議を開催し、情報の共有や連携、認知症啓発のためのイベントを行った。

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	保健福祉課	係名	へき地診療所	担当者名	森 純孝
----	-------	----	--------	------	------

基本目標	4	項目	4-2-1
事業概要	○加計呂麻島での相談支援体制の整備(島の保健室)		

会計区分	特別会計	会計名	巡回診療施設特別会計
事業名	出張相談業務		
施策の目的	加計呂麻島における出張相談所へ看護師を派遣することにより地域住民が安心して生活できるまちづくりを推進する。		
具体的な施策内容	火曜日(生間待合所)と木曜日(瀬相待合所)の週2回、へき地診療所から看護師を出張相談員として派遣し、地域住民の健康や福祉に関する相談を受付るとともに役場への代理申請なども行う。		

【経費内訳】

款	1	項	1	目	1	事業		(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額			細節	費目名				金額			
1	1	報酬				963				(一般財源)				963			
計						963			計						963		

重要業績評価指標(KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
相談件数	目標	90人	100人	100人	100人	100人	A
	実績	59人	201人	437人	368人	362	

【評価】

●地域住民の複雑・多様化した生活課題に対応するための有効的な支援方法の検討など地域の困りごとを支援することができている。

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	保健福祉課	係名	地域支援係	担当者名	仁科 誠
----	-------	----	-------	------	------

基本目標	4	項目	4-2-3
事業概要	○高齢者の健康づくりに対して商品券等に交換できるポイントを付与		

会計区分	特別会計	会計名	介護
事業名	地域介護予防活動支援事業(元気高齢者得トクポイント事業)		
施策の目的	地域において介護予防に資する自発的な活動が広く実施され、高齢者自ら要介護状態にならないための健康づくり(健診)や介護予防活動に参加する取り組みを推進する。		
具体的な施策内容	介護認定をうけていない高齢者が、自ら行う健康づくり(健診の受診を含む)や介護予防活動に対してポイントを付与し、ポイントに応じて商品券に交換する		

7

款	5	項	1	目	2	事業	2	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額			細節	費目名				金額			
7		報償費				1,950				国補助金				487			
										県補助金				243			
										一般会計繰入金				243			
										(一般財源)				977			
計						1,950			計						1,950		

重要業績評価指標 (KPI) R2～R6							
KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
参加登録数	目標	1,100	1,200	1,200	1,200	1,200	A
	実績	1,419	1,639	1,519	1,455	1,519	
ポイント交歓者	目標	700	650	650	650	650	B
	実績	649	624	630	522	693	

【評価】
 高齢者が自ら行う健康づくり、介護予防活動に対してポイントを付与し、商品券と交換することで、介護予防教室への参加促進や健康づくりへの意識が広がっている。
 また、要介護認定者が減少することで介護給付費の抑制や地域商品券への交換により地域経済へも還元でき、地域経済への活性化にも貢献できていると考えている。
 今後も自立支援、介護予防、重度化防止への取り組みを推進する

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	保健福祉課	係名	保健福祉係	担当者名	森 純孝
----	-------	----	-------	------	------

基本目標	4	項目	4-2-1
事業概要	○医療福祉等の分野で助言や提案を行う地域政策顧問を設置		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	地域福祉計画		
施策の目的	瀬戸内町地域福祉計画を策定するにあたり、計画書の作成等策定支援(関連業務支援含む)を行うことを目的とする。		
具体的な施策内容	計画の関連実施事業における支援を行う。 アンケート調査結果の報告、評価検証を行う。 計画素案の策定及び計画案の承認。 パブリックコメント結果の報告と対応について検討する。		

【経費内訳】

款	3	項	1	目	1	事業	1	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額			細節	費目名				金額			
1	1	報酬				114											
計						114			計						0		

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
計画策定委員会の開催	目標	3	3	1	2		A
	実績	1	0	1	2		

【評価】

老人福祉計画・介護保険事業計画・子ども子育て支援事業計画・障害福祉計画・健康増進計画等と連携し、保健、福祉に関わる様々な計画の上位計画として瀬戸内町地域福祉計画及び瀬戸内町地域福祉活動計画を策定した。

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	保健福祉課	係名	介護福祉係	担当者名	津留 美智子
----	-------	----	-------	------	--------

基本目標	4	項目	4-2-1
事業概要	○高齢者に敬老の意を表し長寿を祝福するため敬老祝金を支給		

会計区分	一般会計				会計名												
事業名	瀬戸内町敬老祝金支給事業																
施策の目的	本町に居住する高齢者に対し、長寿を祝福するとともに敬老の意を表するため敬老祝金を支給する。																
具体的な施策内容	・85歳:5,000円*63人=315,000円 ・90歳～99歳:15,000円*404人=6,060,000円 ・100歳～:50,000円*20人=1,000,000円 合計:487人=7,375,000円																
【経費内訳】																	
款	3	項	1	目	3	事業	1	(単位:千円)	款	21	項	1	目	2	節	1	(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額		細節	費目名				金額				
19	3	敬老祝金支給事業				7,360		1	(過疎債ソフト分)敬老祝い金				7,300				
									(一般財源)				60				
計						7,360		計						7,360			

重要業績評価指標 (KPI) R2～R6							
KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
未支給者数	目標	0人	0人	0人	0人	0人	A
	実績	2人	1人	1人	0人	1人	
【評価】							
新型コロナウイルス感染症対策として実施した口座振込による支給により、円滑な祝金の支給が行われている。引き続き、漏れのない支給に努める。※未支給者1名は長年行方不明であり、連絡不可能。							

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	保健福祉課	係名	地域支援係	担当者名	仁科 誠
----	-------	----	-------	------	------

基本目標	4	項目	4-2-2
事業概要	○自立した生活が出来るよう介護予防福祉用具と住宅改修を助成		

会計区分	一般会計	会計名															
事業名	介護予防福祉用具等支援事業																
施策の目的	重度の要介護認定者(要介護4・要介護5)を在宅で介護している介護者に対して、紙おむつ等の必要な介護用品を支給し経済的、精神的負担の軽減を図る。																
具体的な施策内容	在宅介護者の紙おむつ等の必要な介護用品を支給し、介護に係る経済的負担の軽減を図り、在宅生活が継続できるように支援する。																
【経費内訳】																	
款	3	項	1	目	3	事業	3	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額		細節	費目名				金額				
19		扶助費				956			(一般財源)				956				
計						956		計						956			

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
介護用品購入券支給実績	目標	10	30	30	30	30	B
	実績	26	31	25	22	24	

【評価】

・在宅介護者の紙おむつ等の必要な介護用品及び住宅改修費を助成し、介護に係る経済的負担の軽減を図る助成を実施し、在宅生活が継続できるように支援する。

・介護用品支給人数 : 24名(介護用品購入券192枚発行)

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	保健福祉課	係名	介護福祉係	担当者名	津留 美智子
----	-------	----	-------	------	--------

基本目標	4	項目	4-2-2
事業概要	○高齢者無料乗車乗船券交付により高齢者の移動機会を促進		

会計区分	一般会計				会計名												
事業名	瀬戸内町高齢者無料乗車・乗船資格者証交付事業																
施策の目的	町内の公共交通機関における無料乗車・乗船資格者証の交付により高齢者の外出機会を増やし、介護予防・健康増進を促進する。																
具体的な施策内容	対象:80歳～ ・フェリーかけろま:1,646,000円 ・せとなみ:688,940円 ・加計呂麻バス:1,488,290円 ・南部交通:4,114,240円 ・海勝丸:0円 合計:7,937,750円																
【経費内訳】																	
款	3	項	1	目	3	事業	1	(単位:千円)	款	21	項	1	目	2	節	1	(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額		細節	費目名				金額				
19	4	高齢者無料乗車・乗船券交付事業				7,937		2	(過疎債ソフト分)高齢者無料乗車・乗船券交付事業				7,900				
									(一般財源)				37				
計						7,937		計						7,937			

重要業績評価指標 (KPI) R2～R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
元気高齢者への発行率(%)	目標		40	40	40	40	A
	実績		46	52	38	62	
年間発券数の維持(人)	目標	100					
	実績	40					

【評価】

高齢者の外出機会を増やし、介護予防・健康増進を促進できた。
 高齢者に適した情報ツールを利用し周知を図ることで、年間発券数を維持していく。

※KPI…令和3年度より、交付対象者(80歳以上の高齢の方)の多くが等事業を活用できるように設定(元気高齢者の増)する。

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	保健福祉課	係名	地域支援係	担当者名	仁科 誠
----	-------	----	-------	------	------

基本目標	4	項目	4-2-2
事業概要	〇ひとり暮らしの高齢者など地域の見守りネットワークで支援		

会計区分	特別会計	会計名	介護保険														
事業名	高齢者地域自立生活支援事業																
施策の目的	・地域の社会資源(宅配給食サービス等)を活用して見守りネットワークを構築し、安否確認や生活相談を行い、できるだけ住み慣れた地域で自立した生活が継続できるように支援する。																
具体的な施策内容	・加計呂麻園宅配見守り :496人 13,700回 ・寿老園見守り : 1,643人 41,084回																
【経費内訳】																	
款	5	項	2	目	5	事業	1	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額			細節	費目名				金額			
12		委託料				2,025				国庫支出金				779			
										県支出金				389			
										一般会計繰入金				389			
										(一般財源)				468			
計						2,025			計						2,025		

重要業績評価指標 (KPI) R2～R6							
KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
加計呂麻園見守り	目標	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	B
	実績	15,631	17,412	16,685	13,062	13,700	
寿老園見守り	目標	35,000	35,000	35,000	35,000	35,000	A
	実績	37,258	39,519	40,684	38,179	41,084	
【評価】							
・地域資源(宅配給食等)を活用し、地域の見守り体制を構築することで住み慣れた地域で生活が継続できるよう支援している。今後も見守り支援体制を深化・推進する。 ・燃料や物価の高騰により受託業者も大変な状況であるが、介護人材が不足する中で食事の提供や見守りは必要であるので、補助金等を活用して事業を継続できるようにしていきたい。							

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	保健福祉課	係名	介護福祉係	担当者名	津留 美智子
----	-------	----	-------	------	--------

基本目標	4	項目	4-2-2
事業概要	○高齢者の健康と生きがいを支援		

会計区分	一般会計					会計名											
事業名	瀬戸内町老人クラブ育成事業																
施策の目的	老人クラブ連合会の活動を支援し(各種イベントのサポート、事務処理等)を支援し、地域活性化を図る。																
具体的な施策内容	・老人クラブ助成事業:30人以上30,000円×20クラブ+30人未満20,000円×8クラブ=760,000円 ・老人クラブ連合会助成事業:基礎額380,000円+10,000円×28クラブ=660,000円 合計:1,420,000円																
【経費内訳】																	
款	3	項	1	目	3	事業	1	(単位:千円)	款	15	項	2	目	2	節	1	(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額			細節	費目名				金額			
18	2	補助金				1,420			1	老人クラブ育成事業費補助金				889			
										(一般財源)				531			
計						1,420			計						1,420		

重要業績評価指標 (KPI) R2～R6							
KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
老人クラブ会員数	目標	1,200人	1,200人	1,200人	1,200人	1,200人	B
	実績	915人	948人	950人	902人	862人	
【評価】							
老人クラブの活動を支援し、地域活性化を図ることができた。 未設置地区の解消、既存クラブの年間2名の加入増等、会員数増を目指し、引き続き支援を行う。							

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	保健福祉課	係名	介護福祉係	担当者名	津留 美智子
----	-------	----	-------	------	--------

基本目標	4	項目	4-2-2
事業概要	○シニア元気生き生き活動体制づくりで健康を支援		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	瀬戸内町シニア元気生き生き活動体制づくり支援事業		
施策の目的	高齢者の健康づくり、介護予防や生きがいづくり等の取り組みを拡大することにより、高齢者が住み慣れた地域で、健やかで安心して暮らせる社会づくりをさらに推進する。		
具体的な施策内容	健康づくり等の活動立ち上げを行う団体に対し、予算の範囲内において補助金を交付する。(老人クラブ連合会による健康づくり活動立ち上げ支援)		

【経費内訳】

款	3	項	1	目	3	事業	1	(単位:千円)	款	15	項	2	目	2	節	1	(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額			細節	費目名				金額			
		R3以降経費なし															
計						0			計						0		

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
実施事業数	目標	1事業	1事業				D
	実績	1事業	未実施				

【評価】

県の補助金を受けて令和2年度に実施したが、事業廃止に伴い、単独の事業としてではなく、事業No.160の「瀬戸内町老人クラブ育成事業」に組み込む形で評価・検証をしていく。

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	保健福祉課	係名	地域支援係	担当者名	仁科 誠
----	-------	----	-------	------	------

基本目標	4	項目	4-2-2
事業概要	○高齢者の健康状態や相談事の支援を実施(高齢者地域自立生活支援事業)		

会計区分	特別会計	会計名	介護保険														
事業名	高齢者地域自立生活支援事業																
施策の目的	・地域の社会資源(宅配給食サービス等)を活用して見守りネットワークを構築し、安否確認や生活相談を行い、できるだけ住み慣れた地域で自立した生活が継続できるように支援する。																
具体的な施策内容	・加計呂麻園宅配見守り :496人 13,700回 ・寿老園見守り : 1,643人 41,084回																
【経費内訳】																	
款	5	項	2	目	5	事業	1	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額			細節	費目名				金額			
12		委託料				2,025				国庫支出金				779			
										県支出金				389			
										一般会計繰入金				389			
										(一般財源)				468			
計						2,025			計						2,025		

重要業績評価指標 (KPI) R2～R6							
KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
加計呂麻園見守り	目標	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	B
	実績	15,631	17,412	16,685	13,062	13,700	
寿老園見守り	目標	35,000	35,000	35,000	35,000	35,000	A
	実績	37,258	39,519	40,684	38,179	41,084	
【評価】							
・地域資源(宅配給食等)を活用し、地域の見守り体制を構築することで住み慣れた地域で生活が継続できるよう支援している。今後も見守り支援体制を深化・推進する。 ・燃料や物価の高騰により受託業者も大変な状況であるが、介護人材が不足する中で食事の提供や見守りは必要であるので、補助金等を活用して事業を継続できるようにしていきたい。							

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	保健福祉課	係名	地域支援係	担当者名	仁科 誠
----	-------	----	-------	------	------

基本目標	4	項目	4-2-2
事業概要	○一人暮らしや家の中で過ごしがちな高齢者を支援(サロン)		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	高齢者地域支えあいグループポイント事業		
施策の目的	・地域において助け合い活動やボランティア活動などの地域の「互助活動」を促進することで、高齢者社会に対応する地域づくり、地域包括ケアシステム構築を推進する。		
具体的な施策内容	・65歳以上の方を含むグループが互助活動等を行った場合にポイントを付与し、ポイントに応じて商品券に交換する。		

【経費内訳】

款	3	項	1	目	3	事業	2	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額			細節	費目名				金額			
1		報償費				1,839				老人福祉費補助金				1,234			
10		消耗品				96				(一般財源)				701			
計						1,935			計						1,935		

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
グループ登録数	目標	40	40	40	40	40	A
	実績	42	40	36	41	46	

【評価】

・地域において助け合い活動やボランティア活動などの地域の「互助活動」を促進することで、高齢社会に対応する地域づくり、地域包括ケアシステム構築を推進することを目的としています。ポイントを付与し、商品券と交換することで、サロン活動に必要な物品の購入等ができる。

また、地域商品券への交換により地域経済へも還元でき、地域経済への活性化にも貢献できていると考える。

今後も地域での助け合い活動「互助活動」の取り組みを推進する。

構成員延べ人数 : 15,868名 グループ数 46グループ

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	保健福祉課	係名	福祉係	担当者名	登島 純一
----	-------	----	-----	------	-------

基本目標	4	項目	4-2-3
事業概要	○重度心身障害者医療費の助成による早期治療を徹底		

会計区分	一般会計				会計名												
事業名	重度心身障害者医療費扶助																
施策の目的	重度心身障害者の医療に係る経済的負担の軽減																
具体的な施策内容	本町に住民登録を有する、障害手帳・療育手帳2級以上の資格者に対し自己負担額の払い戻しを受ける支援。																
【経費内訳】																	
款	3	項	1	目	4	事業	7	(単位:千円)	款	15	項	2	目	2	節	2	(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額		細節	費目名				金額				
19	8	重度心身障害者医療費扶助				21,515		3	重度心身障害者医療費補助金				10,755				
									一般財源				10,760				
計						21,515		計						21,515			

重要業績評価指標 (KPI) R2～R6							
KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
新規登録者・新規助成者数	目標	50	50	50	50	50	B
	実績	25	21	17	29	20	
【評価】							
障害者・障害児の負担軽減を図る為、今後も引き続き周知支援を行う。							

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	保健福祉課	係名	福祉係	担当者名	登島 純一
----	-------	----	-----	------	-------

基本目標	4	項目	4-2-3
事業概要	○居住の場の確保や日常生活の援護等を図り自立した生活を支援		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	地域生活支援事業扶助		
施策の目的	障害者・障害児の地域における日常生活の負担軽減を図る。		
具体的な施策内容	本町に住民登録を有する、障害者手帳保持者の資格者に対し日常生活の負担軽減を図る為、ストマ(人工肛門)や、移送サービス等の生活を支援。		

【経費内訳】

款	3	項	1	目	4	事業	5	(単位:千円)	款	14 15	項	2	目	2	節	1 2	(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細 節	費目名				金額			細節	費目名				金額			
7	85	意思疎通支援事業				0			1	地域生活支援事業費補助金(国)				1,755			
12	112	基幹相談支援センター等機能強化事業				2,200			2	地域生活支援事業費補助金(県)				877			
12	226	手話養成講座事務委託料				280				一般財源				3,194			
19	24	地域生活支援事業扶助				3,346											
計						5,826			計						5,826		

重要業績評価指標(KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
申請者数	目標	5	5	5	5	5	B
	実績	2	1	1	3	3	

【評価】

障害のある方の屋外での移動を容易にするため、移動支援事業や、障害者の施設に通う方を支える為の日中一時支援等、生活の不便さを解消するために今後も継続し支援していく。

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	保健福祉課	係名	福祉係	担当者名	登島 純一
----	-------	----	-----	------	-------

基本目標	4	項目	4-2-3
事業概要	○住み慣れた地域で生活を営めるよう在宅福祉を支援		

会計区分	一般会計			会計名													
事業名	身体障害者補装具給付扶助																
施策の目的	身体に障害のある方が地域で、自立と社会参加が出来るよう負担軽減を図る。																
具体的な施策内容	補聴器・車椅子・義足・義手などの社会生活に援護が必要な方たちの、体の部分的な補助的補装具にて支援。																
【経費内訳】																	
款	3	項	1	目	4	事業	4	(単位:千円)	款	14	項	1	目	1	節	3	(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額		細節		費目名				金額			
19	6	身体障害者補装具給付扶助				1,344		3		障害者自立支援給付費負担金(国)				671			
								6		障害者自立支援給付費負担金(県)				335			
										一般財源				338			
計						1,344		計						1,344			

重要業績評価指標 (KPI) R2～R6							
KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
申請者数	目標	50	50	50	50	50	B
	実績	24	18	10	9	17	
【評価】							
新規障害者手帳発行時に、身体障害者の手帳等級に応じて補装具が申請可能かどうか、具体的に説明をする上で、地域共生できるように、自立も含め就労活動を援護し今後も継続して支援していく。							

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画課	係名	企画振興係	担当者名	渡邊
----	-----	----	-------	------	----

基本目標	4	項目	4-4-3
事業概要	○Society5.0実現のための整備		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	Society5.0実現のための取組		
施策の目的	サイバー空間(仮想空間)とフィジカル空間(現実空間)を高度に融合させ、AIやロボット技術など最新テクノロジーを活用し、社会システム全体を最適化し、より良い未来社会実現を目指す。		
具体的な施策内容	AIやロボット技術など、最新テクノロジーを活用し、社会システム全体を最適化していく。		

【経費内訳】

款	項	目	事業	(単位:千円)	款	項	目	節	(単位:千円)
歳出内訳					歳入内訳				
節	細節	費目名	金額		細節	費目名	金額		
		経費なし							
計			0		計			0	

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
生活環境の満足度 ※基準値(H30→12.7%)	目標	18.0	24.0	30.0	35.0	36.0	D
	実績				19.0		

【評価】

R6年度における具体的な取組は、ドローン運航により、本町の物流配送の一躍を担う仕組みを構築した。今後も社会の急速な変容に取り残されない取組を推進していく。

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画課	係名	産業立地係	担当者名	茂野
基本目標	4	項目	4-4-3		
事業概要	〇ドローン技術を活用した農業や物流等の分野への展開				

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	ドローンを活用した持続可能なまちづくり事業		
施策の目的	ドローンの技術を活用し、防災から生活物流にわたる「地域課題の解決」と「新たな生活スタイルの確立」を図ることを目的としています。		
具体的な施策内容	奄美アイランドドローン株式会社(以下「AID社」)に対する補助。 AID社は、災害時にドローンを活用して物資輸送や調査(偵察)を安全確実に実行できるようにするために、平時においては隔週で請島与路島へ物資輸送(新聞、医薬品、給食材料)を行っている(物資輸送は「せとなみ」の補完であり代替ではない)。その他、町防災訓練への参加など。		

【経費内訳】

款	2	項	1	目	20	事業	2	(単位:千円)	款	14	項	2	目	1	節	1	(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額			細節	費目名							
11	1	運搬費				2				ドローン運送サービス収入					13		
11	3	ドローン保険料				256			20	(奄ソ)ドローン活用によるスマートタウン推進事業					23,100		
18	1	ドローン活用によるスマートタウン推進事業				1,737				(一般財源)					11,882		
18	1	ドローン活用サービス事業				33,000											
計						34,995			計						34,995		

重要業績評価指標(KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
生活環境の満足度 ※基準値12.7%(H30)	目標	18.0	24.0	30.0	35.0	36.0	D
	実績				19.0%		

【評価】

ドローン事業の評価として、飛行のノウハウとなる安全管理や訓練管理、運行管理などについては日本航空の知見もあり、経年ごとに充実した内容となっている。現状で改善を必要とするのは、①契約や人事におけるコンプライアンスの課題と、②住民の現状の評価を確認し再構築を図る。①については事業開始時点で「懸案」のあぶり出しが不十分であったことが原因であり、現段階において、早急に整合性を確立する実行を行っている。②については、アンケートや事業説明会で住民意向を確認し、丁寧かつ早急に意義や趣旨の再周知を行いたい。現状課題に対する対応は毎週開催している定例会で共有し、具体的な対応の実行へと展開している。

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	保健福祉課	係名	へき地診療所	担当者名	森 純孝
----	-------	----	--------	------	------

基本目標	4	項目	4-3-1
事業概要	○医療や教育の分野における遠隔地からの最先端技術の習得		

会計区分	特別会計	会計名	巡回診療施設特別会計
事業名	離島遠隔医療支援対策事業		
施策の目的	請島・与路島・加計呂麻島等での遠隔診療等を可能とし島民の安心・安全を確保する。		
具体的な施策内容	・iPad等を活用し、遠隔診療を行う 悪天候時や救急対応時に遠隔診療ができるようにする。		

【経費内訳】

款	1	項	4	目	1	事業	1	(単位:千円)	款	1	項	2	目		節		(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額			細節	費目名							
11	1	電話料 (iPad巡回)				60			1	診療報酬収入						60	
計						60			計						60		

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
遠隔診療の実施	目標	10件	10件	10件	10件	10件	B
	実績	10人	41人	25人	16人	6人	

【評価】

医師と看護師・島民をつなぐツールとして今後も活用していく。
R5遠隔診療(与路診療所7件、池地診療所9件)

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	水産観光課	係名	観光振興係	担当者名	満 拓也
----	-------	----	-------	------	------

基本目標	4	項目	4-3-1
事業概要	○世界自然遺産を契機とした外国人観光客に対する多言語対応		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	観光誘致宣伝事業		
施策の目的	世界自然遺産登録後の国内外からの観光客の増加が見込まれるため、特に外国人観光客向けの多言語対応を目的とした情報発信を行う。		
具体的な施策内容	鹿児島県や奄美大島4市町村、あまみ大島観光物産連盟等の関係機関と連携し、英訳の案内板を設置したほか、多言語のパンフレットやホームページ等で情報発信を行った。		

【経費内訳】

款	7	項	1	目	3	事業	1	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額			細節	費目名				金額			
18	1	負担金(あまみ大島観光物産連盟)				2,179				一般財源				2,179			
計						2,179			計						2,179		

重要業績評価指標 (KPI) R2～R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
案内看板設置数	目標	0	5	5	5	5	D
	実績	0	3	0	0	0	

【評価】

令和3年度に英訳の案内板を3箇所設置し、既存のパンフレットと合わせPRを行った。また、令和4年度には、多言語対応アプリがダウンロードできるQRコードステッカーを各施設窓口や看板等に設置した。

今後とも、奄美大島4市町村及び(一社)奄美せとうち観光協会、奄美群島観光物産協会、あまみ大島観光物産連盟と広域的な連携を行いながら、インバウンド向けに多言語での情報発信や案内板等設置に取り組んでいきたい。

あまみ大島観光物産連盟が主となった案内板設置事業については、令和3年度に終了しているため、令和6年度の自己評価としては未実施のDとしている。

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	建設課	係名	危険空家等対策室	担当者名	保
----	-----	----	----------	------	---

基本目標	4	項目	4-4-1
事業概要	○空家等対策計画策定による危険空き家等除去の促進		

会計区分	一般会計				会計名												
事業名	老朽危険空き屋等除去促進事業																
施策の目的	老朽化し危険な空家の除去を行う所有者等に対し、その工事に要する費用の一部補助を行い、町民の生活環境の保全及び安心・安全なまちづくりの推進を図る。																
具体的な施策内容	・空家等の適切な管理を促進するため、所有者等に対し、情報の提供や助言等を行う。 ・老朽化して倒壊等のおそれのある危険な空き家等を解体する場合、一定の要件に該当するものに対しその工事費に要する費用の一部を補助する。																
【経費内訳】																	
款	8	項	1	目	1	事業	2	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額			細節	費目名				金額			
18	2	老朽危険空き家等除去促進事業				4,000				一般財源				4,000			
計						4,000			計						4,000		

重要業績評価指標 (KPI) R2～R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
協議会実施回数	目標	1回	1回	1回	1回	1回	D
	実績	0回	0回	0回	0回	0回	
老朽危険空き家除去件数	目標	2件	2件	2件	2件	2件	B
	実績	5件	2件	6件	4件	6件	

【評価】

●住民等からの情報提供や相談等により、適切な管理が行われていない空き家等は、現地確認を行うとともに、所有者等を確認するための調査を行い、文書等により所有者等に適正な管理を行うよう促した。
 また、老朽危険空き家等除去促進補助事業を活用して、6件の危険空き家を撤去することができた。

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画課	係名	企画振興係	担当者名	十倉
----	-----	----	-------	------	----

基本目標	2	項目	2-3-1
事業概要	○集落にある空き家を集落主体で改修するための経費を助成		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	集落等支援対策強化事業(空き家利活用)		
施策の目的	集落の維持継続や地域の活性化を図るため、集落が運営する定住促進のための住宅整備の経費に対する助成を実施する。		
具体的な施策内容	交付金1件あたり1,300千円を上限に、総経費の8/10以内の額を補助。 空き家の改修や民泊等施設への改修費用を助成。		

【経費内訳】

款	2	項	1	目	12	事業	1	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額			細節	費目名				金額			
17		集落等支援対策強化事業				4,756				一般財源				4,756			
計						4,756			計						4,756		

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
交付決定数	目標	2	2	2	2	2	A
	実績	5	4	4	5	4	

【評価】

●令和6年度実績 4件

これまでの実績として合計21件(薩川3件・西阿室3件・瀬武2件・池地2件・網野子2件・篠川2件・阿木名2件・節子・須手・西古見・請阿室・秋徳・節子)の空き家を改修し、今年度新たに4件(阿木名・節子・池地・勝能)改修された。

事業活用集落において地域活性化に資する事業となっており、今後も継続して空き家対策の展開を拡充し集落の活性化に繋げていきたい。

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	総務企画課	係名	財産・契約管理係	担当者名	佐々木
----	-------	----	----------	------	-----

基本目標	4	項目	4-4-1
事業概要	○公共施設等の再編と財政健全化を両立させた整備計画の実施		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	瀬戸内町公共施設等総合管理計画		
施策の目的	過去に建設された公共施設等の老朽化が進んでおり、今後修繕・建替え・処分に多額の費用が見込まれることから、公共施設等の更新に係る費用の適正化を図る。		
具体的な施策内容	瀬戸内町公共施設等総合管理計画を基に、公共施設マネジメントシステムを活用して、各課で所管している公共施設の費用等を見える化し全体の最適化を図る。		

【経費内訳】

款	2	項	1	目	4	事業	1	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額			細節	費目名				金額			
13	1	公共施設マネジメントシステム				1,298				一般財源				1,298			
計						1,298			計						1,298		

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
瀬戸内町公共施設等総合管理計画(単位:%)	目標	1	1	1	2	2	C
	実績	0	0	0	0	0	

【評価】

公共施設の新設・建替え・処分等を行い30年間で10%の縮減を目標としているが、令和6年度までの目標数値の縮減はできていない。

今後、公共施設に係る新規事業の実施計画について、瀬戸内町公共施設等総合管理計画に基づき関係各課と協議し目標に向けて推進していく。

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	商工交通課	係名	船舶交通係	担当者名	伊丹 悟
----	-------	----	-------	------	------

基本目標	4	項目	4-4-2
事業概要	○加計呂麻島・請島・与路島と本島側を結ぶ海上交通の運行		

会計区分	特別会計	会計名	船舶交通事業特別会計
事業名	町営定期船「せとなみ」の代替船建造事業		
施策の目的	町営定期船「せとなみ」の代替船建造計画は、現在運航している「せとなみ」は、耐用年数も過ぎており、近年では修繕費も増加傾向にあるため、経費削減等を考慮した安心、安全で利用者の利便性を重視した新造船を計画する。		
具体的な施策内容	プロポーザル、審査会、議会の承認を経て墨田川造船株式会社と令和6年12月13日に契約を結び、新造船建造に着手した。令和7年6月頃に進水、令和7年12月頃から運航に向けた諸試験を行い、令和8年2月頃に引渡、令和8年4月からの新船就航を予定している。		

【経費内訳】

款	1	項	4	目	1	事業	2	(単位:千円)	款	2	項	1	目	1	節	1	(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額			細節	費目名				金額			
7	1	せとなみ新船建造審査選定委員会				21			4	離島航路構造改革補助金				39,017			
8	3	普通旅費				595											
13	1	車両船舶借上料				33											
計						649			計						39,017		

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
新造船建造進捗度(%)	目標		10	20	20	40	B
	実績		10	10	20	40	

【評価】

- 町営定期船「せとなみ」の新造船建造は、令和6年12月に墨田川造船株式会社に決定し、建造着手しており、令和8年4月に、就航を予定しております。
- 建造が年度を跨ぐ為、歳入は2年に分けて支払われることとなっております。
- 利用者のニーズに沿った新造船を計画し、安心、安全で現在の航路を維持していく。

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	商工交通課	係名	商工交通係	担当者名	清田 武司
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	4	項目	4-4-2
事業概要	○本町内の集落をくまなく結ぶ生活路線としての路線バスの役割促進		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	廃止路線代替バス運行費補助事業		
施策の目的	バス運行事業者へ補助することにより、地域住民の日常生活に必要な交通手段の確保を図る。		
具体的な施策内容	地域住民の日常生活に必要な交通手段の確保を図るため、廃止路線代替バス等の公共交通の運行に要する費用について予算の定めるところにより、補助対象事業者に対し予算の範囲内において補助金を交付するもの。		

【経費内訳】

款	7	項	1	目	1	事業	2	(単位:千円)	款	15	項	2	目	5	節	1	(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額			細節	費目名				金額			
18	2	負担金、補助金及び交付金				81,864			1	バス運行費補助金				8,988			
										(一般財源)				72,876			
計						81,864			計						81,864		

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
平均乗車密度 ※14路線中、1人以上の路線	目標	6路線	5路線	5路線	5路線	5路線	C
	実績	5路線	5路線	5路線	3路線	3路線	

【評価】

●本島側(補助事業者:南部交通)補助額 39,750千円、加計呂麻側(補助事業者:加計呂麻バス)補助額 42,114千円を支出することにより、当該路線地区住民の必要不可欠な生活路線を存続することができた。
また、新型コロナウイルスの5類への移行により、観光客や帰省者の増加等もあり、バス利用者も増加傾向にある。そのため、バス利用者は昨年度比約3%増まで回復してきている。
今後も補助事業者と連携を図り、バス利用の啓発活動に努めたい。

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画課	係名	産業立地係	担当者名	早川
----	-----	----	-------	------	----

基本目標	4	項目	4-4-3
事業概要	○本町の地方創生に応援する企業と連携(企業版ふるさと納税)		

会計区分	一般会計	会計名													
事業名	企業版ふるさと納税事業														
施策の目的	本町が実施する持続可能なまちづくりを目的とした様々な施策に対し、ご賛同いただき、また、企業版ふるさと納税を通じて応援くださる企業の皆様を募集する。														
具体的な施策内容	JTbの「ふるさとコネクト」で募集を行っている。企業誘致・雇用創出促進事業やデジタルネットワークラボプロジェクト事業、ブルーカーボン推進事業に活用した。														
【経費内訳】															
款		項	目	事業	(単位:千円)	款	17	項	1	目	2	節	2	(単位:千円)	
歳出内訳						歳入内訳									
節	細節	費目名			金額	細節	費目名								
		(以下の事業に充当)				001	(地方創生応援税制)企業版ふるさと応援寄附金			8,083					
		企業誘致・雇用創出促進事業			5,083										
		デジタルネットワークラボプロジェクト事業			1,100										
		ブルーカーボン推進事業			1,900										
計					8,083	計					8,083				

重要業績評価指標 (KPI) R2～R6							
KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
企業版ふるさと納税寄附額 (千円)	目標	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	B
	実績	300	8,400	22,150	31,550	8,083	
【評価】							
R6年度は県内外から8事業所8,083千円の寄附金をいただくことができた。R7年度もさらに本町が実施する地方創生に資する事業に対し、応援していただける企業を獲得できるよう働きかける。							

(令和6年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画課	係名	企画振興係	担当者名	渡辺
----	-----	----	-------	------	----

基本目標	4	項目	4-4-3
事業概要	○公共施設等の建設から資金調達まで民間が提案 (PPP/PFI)		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	PPP/PFI事業		
施策の目的	PPP/PFIとは、官民が連携して公共サービスの提供を行うスキームのことで、地域や社会の効率性や質の向上を目的として実施するもの。		
具体的な施策内容	国及び県により発出された通知等により事業内容の確認。		

【経費内訳】

款	項	目	事業	(単位:千円)	款	項	目	節	(単位:千円)
歳出内訳					歳入内訳				
節	細節	費目名	金額		細節	費目名	金額		
		経費なし							
計			0		計			0	

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
生活環境の満足度 ※基準値(H30→12.7%)	目標	18.0	24.0	30.0	35.0	36.0	D
	実績				19.0		

【評価】

PPP/PFI事業に対する理解やノウハウの不足、また実施する民間事業者が確保できるかの不安、更には導入が有効と考えられる事業の見込みがないなど、課題が多いため、引き続き、研修会等へ参加し知識を深めながら、国県の指導等により活用について検討していく。